

Vol. II.

AUGUST 25TH, 1902.

No. 5.

CRYPTOGAMÆ JAPONICÆ  
ICONIBUS ILLUSTRATÆ;

OR,  
FIGURES WITH BRIEF DESCRIPTIONS AND REMARKS  
OF THE MUSCI, HEPATICÆ, LICHENES,  
FUNGI, AND ALGÆ OF JAPAN.

EDITED BY J. Matsumura, D. Sc.,  
Professor of Botany in the Science College, Imperial University, Tokyo.

AND  
M. Miyoshi, D. Sc.,  
Professor of Botany in the Science College, Imperial University, Tokyo.

TŌKYŌ:  
KEIGYŌSHA & CO., 1, Urazimbōchō, Kanda.  
(All rights reserved.)

東京

合資  
會社 敬業社發兌

下等隱花類部

新撰日本植物圖說

理學博士松村任三  
理學博士三好學 編纂

自第一卷第一集  
至第二卷第五集

發行日五月八年五十三治明至

○社告

本集ヨリ定期刊行トシテ毎月二十五日ニ發行ス

今回從來ノ定價ヲ改メテ第一卷第一集ヨリ每集金貳拾五

錢トス

RA5  
7



470.38

771382

○第一圖版

Plate I.

理學博士 松村任三著

Dr. J. Matsumura.

おうやのまんねんぐさ

*Gimnadium japonicum*, Lindl. (Vet. soci. Penn. N. 1872, p. 232)

蕨類 *Mitsi* 高野萬年草科 *ORTHOTHECACEAE*

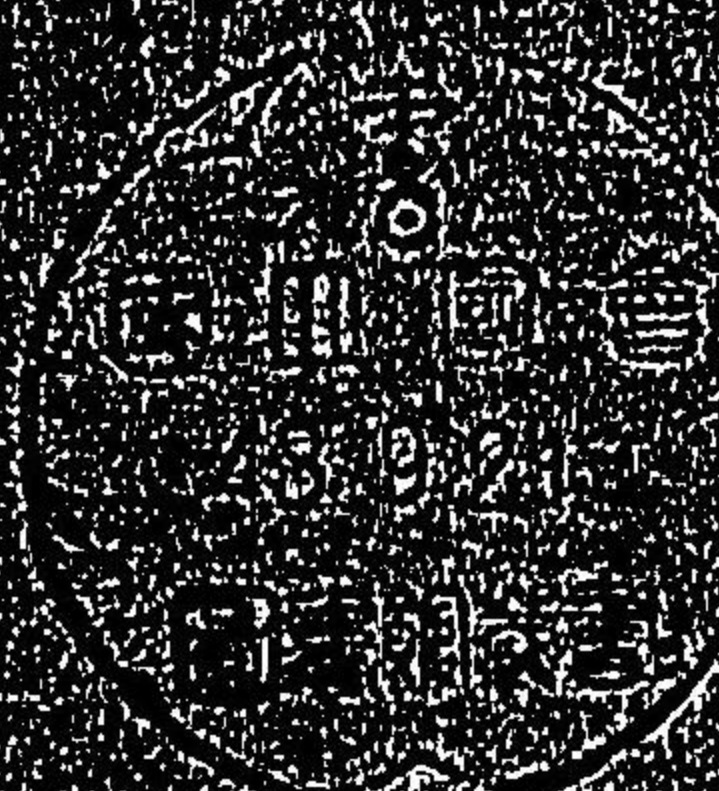
子葉ハ長柄ヲ有シ形略平等ニシテ直立シ其上部ニ莖ト縁齒(Peritome)トヲ具シ莖ノ上ニ不平等ノ笠ヲ被フル縁齒ハ二重ニシテ内外ノ別アリ片ハ六個ヨリ成レリ但シ内者ハ外者ニ附着セズ子葉内ニ小柱アリ  
草高ツ四五寸許土馬蹄中長大ノモノタリ長キ根葉アリ地下ニ延キテ處々ニ莖ヲ直上シ枝ヲ分ツノ狀喬木ニ彷彿タリ無枝ノ莖ニ生ズルノ葉ハ拾モ鋸片ノ如シ其形廣卵圓全縁ニシテ鈍頭其中央ニ一脈ノ細脈アリ有枝ノ莖ニ生ズルノ葉ハ略上ニ似テ頭ニ微凸アリ枝ニ生ズルノ葉ハ卵圓或ハ長橢圓披針狀ニシテ銳頭ナリ扁平ナラズシテ面ニ彎滿アリ葉縁ハ其上半ニ鋸齒アリ一任ノ細脈殆ト上邊ニ遠ス細胞ハ細微ニシテ線形ナリ穂苞ヲ成スノ葉ハ廣橢圓或ハ

◎社告

本集ヨリ定期刊行トシテ毎月二十五日ニ發行ス

今回從來ノ定價ヲ改メテ第一卷第一集ヨリ每集金貳拾五

錢トス



497-38

○第一圖版

Plate I.

理學博士 松村任三著

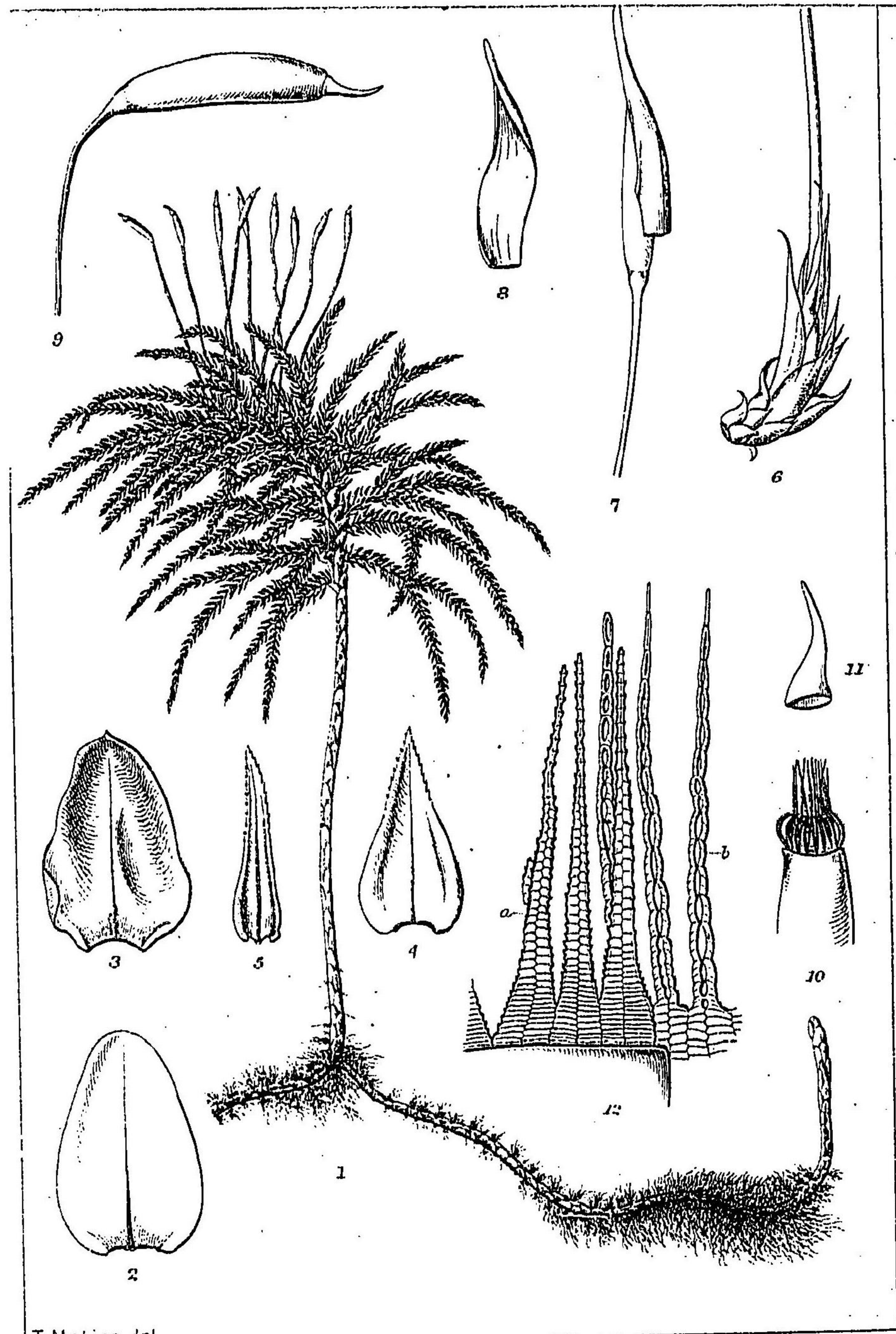
By J. Matsumura.

かとうのまんねんぐさ

*Gimacium japonicum*, Lindb. (Act. soci. Penn. X. 1872. p. 232.)

(附所) 蘚類 MUSCI. 高野萬年草科 ORTHOTHECIAE.

子囊ハ長柄ヲ有シ形略平等ニシテ直立シ其上部ニ蓋ト綠齒(Peristome)トヲ具シ蓋ノ上ニ不平等ノ笠ヲ被フル綠齒ハ二重ニシテ内外ノ別アリ各十六個ヨリ成レリ但シ内者ハ外者ニ附着セズ子囊内ニ小柱アリ  
草高サ四五寸許土馬蹄中長大ノモノタリ長キ根葉アリ地下ニ延キテ處々ニ莖ヲ直上シ枝ヲ分ツノ狀喬木ニ彷彿タリ無枝ノ莖ニ生ズルノ葉ハ恰モ鱗片ノ如シ其形廣卵圓全縁ニシテ鈍頭其中央ニ一條ノ細脈アリ有枝ノ莖ニ生ズルノ葉ハ略上ニ似テ頭ニ微凸アリ枝ニ生ズルノ葉ハ卵圓或ハ長橢圓披針狀ニシテ銳頭ナリ扁平ナラズシテ面ニ皺溝アリ葉縁ハ其上半ニ鋸齒アリ一條ノ細脈殆ド上邊ニ達ス細胞ハ細微ニシテ線形ナリ總苞ヲ成スノ葉ハ廣橢圓或ハ



T. Makino del.

*Climacium japonicum*, Lindb.

かうやのまんねんぐさ

長楕圓形全縁ニシテ頭頗カニ尖鋭トナル細微ナル一條脈其中央ニ走ル  
 深山樹陰ニ生ズ高野山民此草并ニこぼのかうやのまんねんぐさヲ採リ乾カシテ守護札ノ如  
 ク箱ニ藏メ寺院ノ傍ニ販ゴトアリ而シテ他處ニ於テモ亦然ルコトアリ此處ニ圖セルモノ  
 ハ冬月箱根山中ノ採品ニ係ル  
 此種ハ北米産ノ *C. Americana* ニ近似ス歐洲産ノ *C. dendroides* ト異ナル點ハ子囊廣楕圓形ナルニ  
 アリ

一種こぼのかうやのまんねんぐさアリ小枝ヲ別ツコト殊ニ多ク莖ニ生ズルノ葉ハ差小ニシ  
 テ鈍頭ナリ略披針形ヲナシテ邊緣ニ鋸齒アリ

(圖解) 1 ハ全圖 2 ハ無枝ノ莖ニ生ズル葉 3 ハ子囊ノ下部ニ生ズル葉  
 4 ハ枝ノ下部ニ生ズル葉 5 ハ子囊ノ上部ニ生ズル葉 6 ハ子囊ノ下部ニ生ズル葉  
 7 ハ子囊ノ上部ニ生ズル葉 8 ハ子囊ノ下部ニ生ズル葉 9 ハ子囊ノ上部ニ生ズル葉  
 10 ハ子囊ノ下部ニ生ズル葉 11 ハ子囊ノ上部ニ生ズル葉 12 ハ子囊ノ下部ニ生ズル葉

(明治三十二年二月五日)

○第二圖版

Plate II.

理學博士 三好學 著

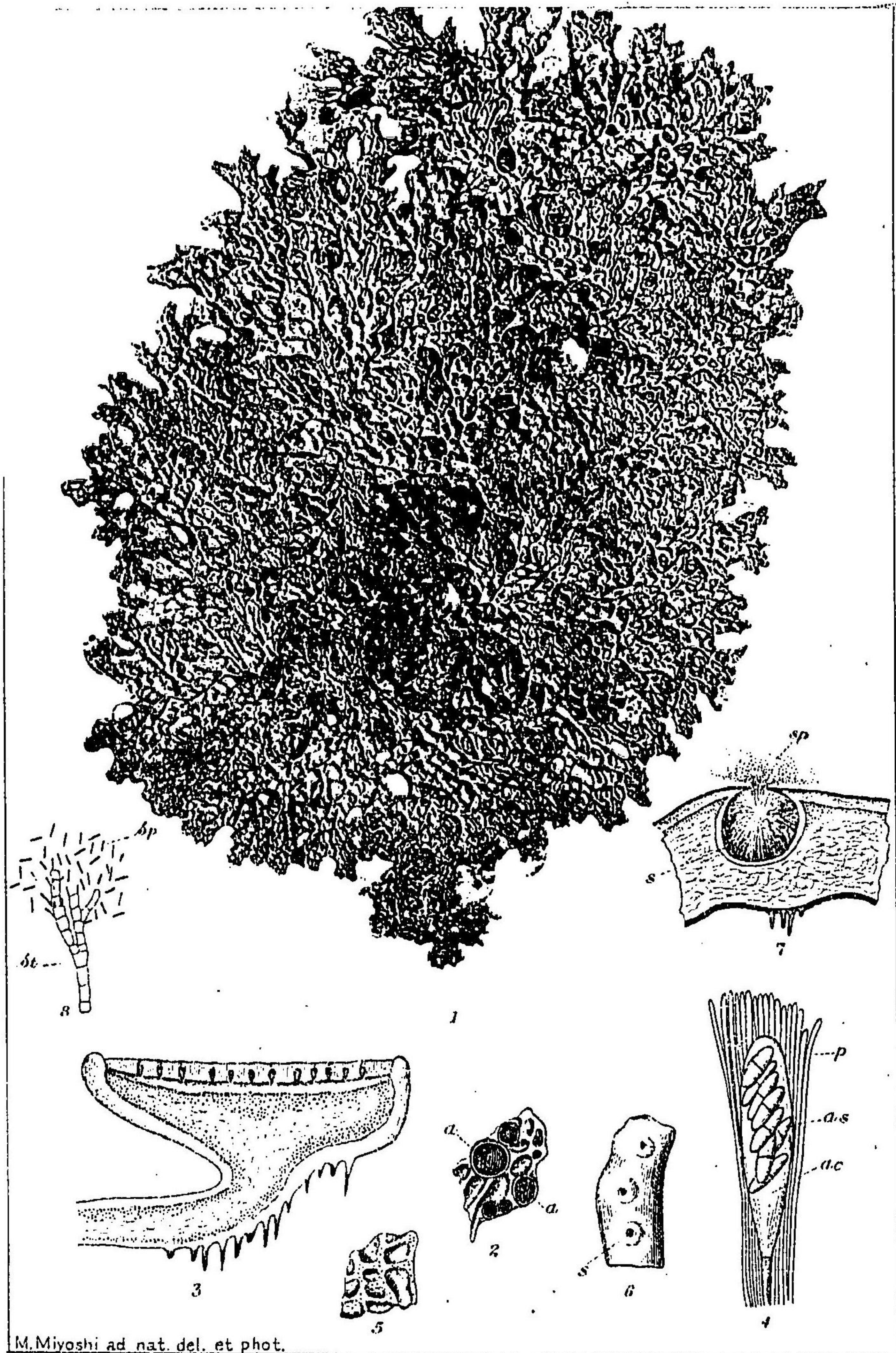
By M. Miyoshi.

かぶつかけ

*Sticta pulmonacea*, Ach. (Lich. Univ. p. 449.)

(屬所) 地衣類 LICHENES. 梅樹地衣科 PARMELIACEAE.

全體扁平皮狀ヲ成シ滑澤、硬靱、直徑三十仙迷以上ニ達ス、幾多ノ裂片ヨリ成リ、各片ノ長サ十仙迷幅五仙迷以上ニ及ブ、表面帶黃褐色、凹凸ノ小區劃アリ、恰モ肺組織ノ如シ、裏面ニモ亦表面ノ凹凸區劃ニ準ジ隆起及ビ陷落アリ、隆起部ハ淡褐色若シクハ白色ニシテ滑澤ナレドモ、陷落部ニハ黑色ノ密毛アリ、子器(Apothecium)ハ表面ノ隆起部ニ着生シ、扁平盤狀、直徑七密迷以上ニ及ブ、表面平滑、紅褐色、周邊ハ少シク内屈ス、子囊(Ascus)ハ棍棒狀、八子ヲ容ル、胞子(Spore)ハ無色、橢圓形、中央ニ横區劃アリ、二胞トナル、長十八「ミュー」、幅六「ミュー」、線狀體(Paraphyses)ハ明瞭、直生ナリ、雄器(Spermatogonium)ハ主トシテ表面ノ隆起部ニ着キ、黑色ノ小突起ヲ成シ、肉眼ヲ以テ尙ホ明カニ見ルヲ得ヘシ、全體毬狀、深ク葉狀體(Thallus)内ニ沈在シ、上部ニ小孔ヲ穿テ外面ニ通ズ、支柱體



M. Miyoshi ad nat. del. et phot.

*Sticta pulmonacea*, Ach.

かぶとぶけ

(Seriinata)ハ數多ノ小胞ヨリ成リ分岐シ上端ニ雄子ヲ若生ス、雄子(Spermatia)ハ直線狀ヲ成シ長サ凡ソ六、ミューヲ算ス、  
 (産地)世界各地ニ産シ、我邦ニテハ深山樹陰ニ普通ナリ、本圖ニ示スモノハ下野日光山中、太郎山麓、宇光徳ニ於テ採集セルモノナリ、  
 かぶとぶけハ形態上種々ノ異狀ヲ呈スルモノアリ、

(圖解)

1 全體  
 2 雄子  
 3 雄器  
 4 雄器ノ一部分  
 5 雄器ノ一部分  
 6 雄器ノ一部分  
 7 雄器ノ一部分  
 sp 雄器ノ一部分  
 s 雄器ノ一部分  
 p 雄器ノ一部分  
 a.s 雄器ノ一部分  
 a.c 雄器ノ一部分

(明治三十二年二月五日)

○第三圖版

理學士 白井光太郎著

Plate III.

By M. Shinji.

ひらたけ

(異名)

もぎたけ

きはびたけ

*Pleurotus ostreatus*, Fries (Syst. Myc. I. p. 182.)

(名異) *Agaricus ostreatus* Jacq. (Fl. austr. t. 288.)

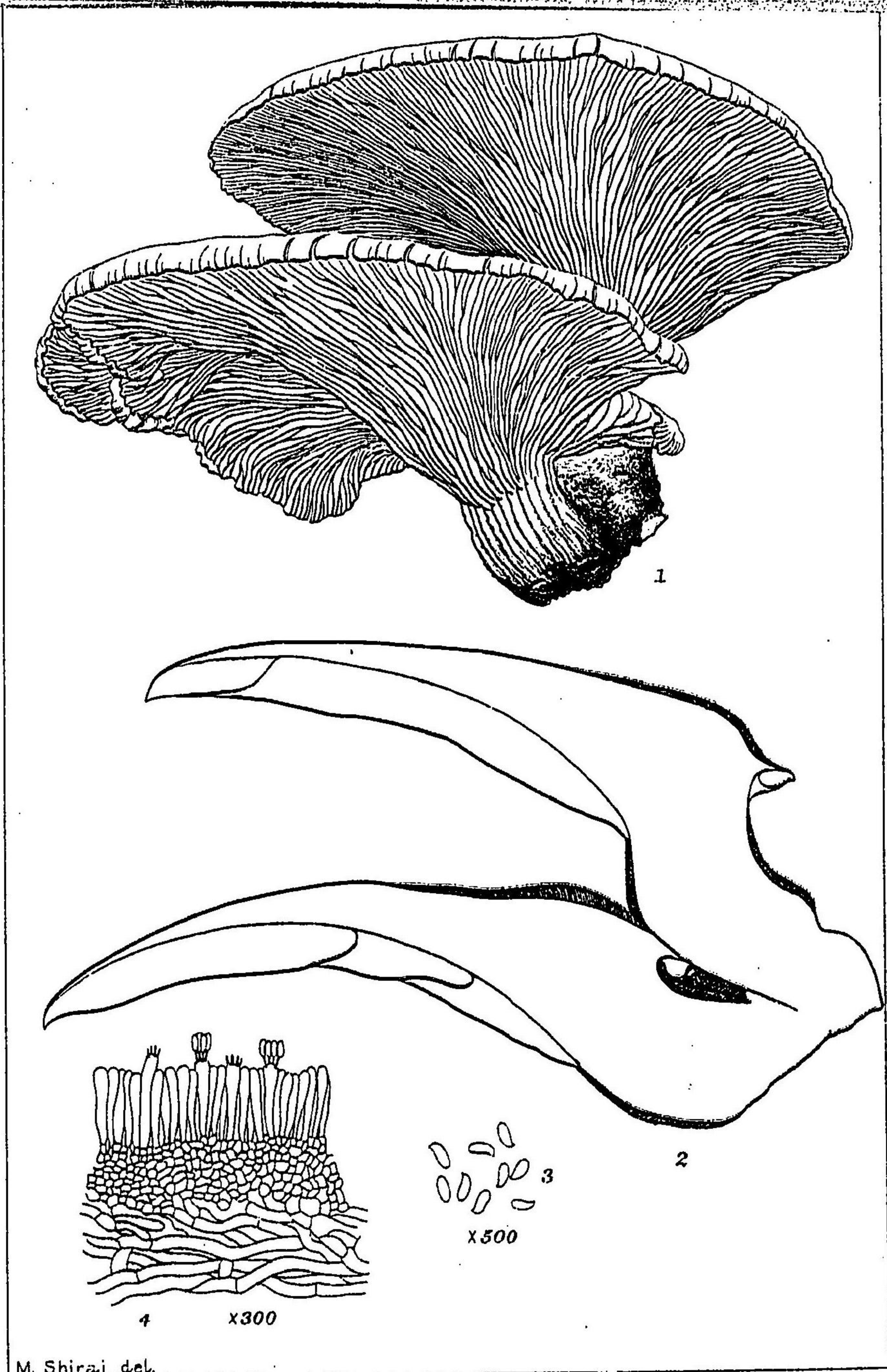
(屬所) 菌類 FUNGI. 繖菌科 AGARICINEAE.

蓋(Pileus)ハ一處ニ簇生シ、肉質柔軟、貝殻狀ヲ成シ斜ニ上向シテ生ジ水平ニ出ヅルコト稀ナリ  
大小及色澤ハ種々ナリ小ナルハ幅二三寸大ナルハ五六寸ニ至ル鼠色濃灰黑色淡褐色茶褐色  
等ヲ呈シ漸次褪色ス又黄色ナルモアリ邊緣下反ス莖ハ通例短又ハ甚短ニシテ不明ナリ時ト  
シテ長大ノ發育ヲナスコトアリ本細ク末大ナリ外面ニ縱溝アリテ補ノ終ニ連リ溝ト溝ノ間  
ニハ白柔毛アリテ密生ス補ハ莖上ニ沿附(accumbent)シ白色ニシテ長短アリ下端ヲ以テ相連リ  
分岐狀ヲナス

產地歐洲、西比利亞、蒙古北部、南部、亞非利加等ニ分布ス

八九月ヨリ春ニ至リ山林中諸闊葉樹ノ枯木幹ニ重リテ生ズ又えのきならしではんのきぶな、  
 かぢのきくるみ等ヲ用テ作り木トシ之ヲ作ルベシ蓋ノ大小肥瘠莖ノ長短ハ所生ノ樹種榮養  
 ノ良否簇生スル蓋ノ員數等ニヨリ一様ナラズ通例蓋ノ上皮ヲ剝キ柔キ内部ノ肉ヲ食用トス  
 故ニもきたけノ名アリ其味淡甘滑美頗ル多はびニ似タリ故ニ多はびたけト云フ一種ひらた  
 けニ似テ蓋ノ外面赤褐色ニシテ夜燐光ヲ發スル者アリ東國ニテくまびら紀州邊ニテわたり  
 ト云フぶなノ木ニ生ズ山人ひらたけ又しひたけト誤食シ死ニ至ルコト往々アリ宜シク辨識  
 スベシ

(圖解) 1 柱實體ノ全形(自然大) 2 同體断面(自然大) 3 同體断面(三百倍) 4 芽胞(五百倍)



M. Shirai del.

Pleurotus ostreatus, Fries.

ひらたけ



(明治三十三年二月五日)

○第四圖版

理學博士 三好 學 著

Plate IV.

By M. Miyoshi.

さるむむせ (漢名) 松蘿

*Usnea longissima*, Ach. (Lich. Univ. p. 626.)

(圖所) 地衣類 LICHENES. 松蘿科 USNEACEAE.

全體淡黄色、絲狀ヲ成シ分岐シテ數多ノ枝條トナリ、先端ハ繊細ナル毛茸狀ヲ呈ス、絲狀體ノ根部ニテ樹梢ニ懸垂シ、長サ三十仙迷以上ニ達ス、絲狀體ノ最モ太キ部分ハ直徑一密迷餘、又最モ細キハ十分一密迷ニ過ギズ、老成ノ部分ハ表面ニ數多ノ輪狀裂紋ヲ生ジ區別セラル、ヲ以テ著ルシ子器ハ枝條ノ頂端ニ近キ部分ニ着キ、扁平盤狀ニシテ直徑七密迷以上ニ達シ、周縁ヨリ細枝ヲ出ダス、表面ハ褐色若シクハ暗褐色ニシテ平滑ナリ、子囊ハ楕木狀ニシテ中ニ八子ヲ容ル、胞子ハ無色、橢圓形長八「ミュー」幅三「ミュー」、線狀體ハ繊細ナリ、

該地衣ハ體ノ中央部ニ強靱緻密ナル菌絲體アリテ中軸ヲ形成シ、其周圍ニハ稀粗ナル髓絲層 (Medullary layer) 及ビ綠顆體層 (Gonidial layer) ヲ有シ、其外圍ハ更ニ一層ノ外皮部 (Cortical layer) ヲヨリ



○第五圖版

理學博士 松村任三 著

Plate V.

By J. Matsumura.

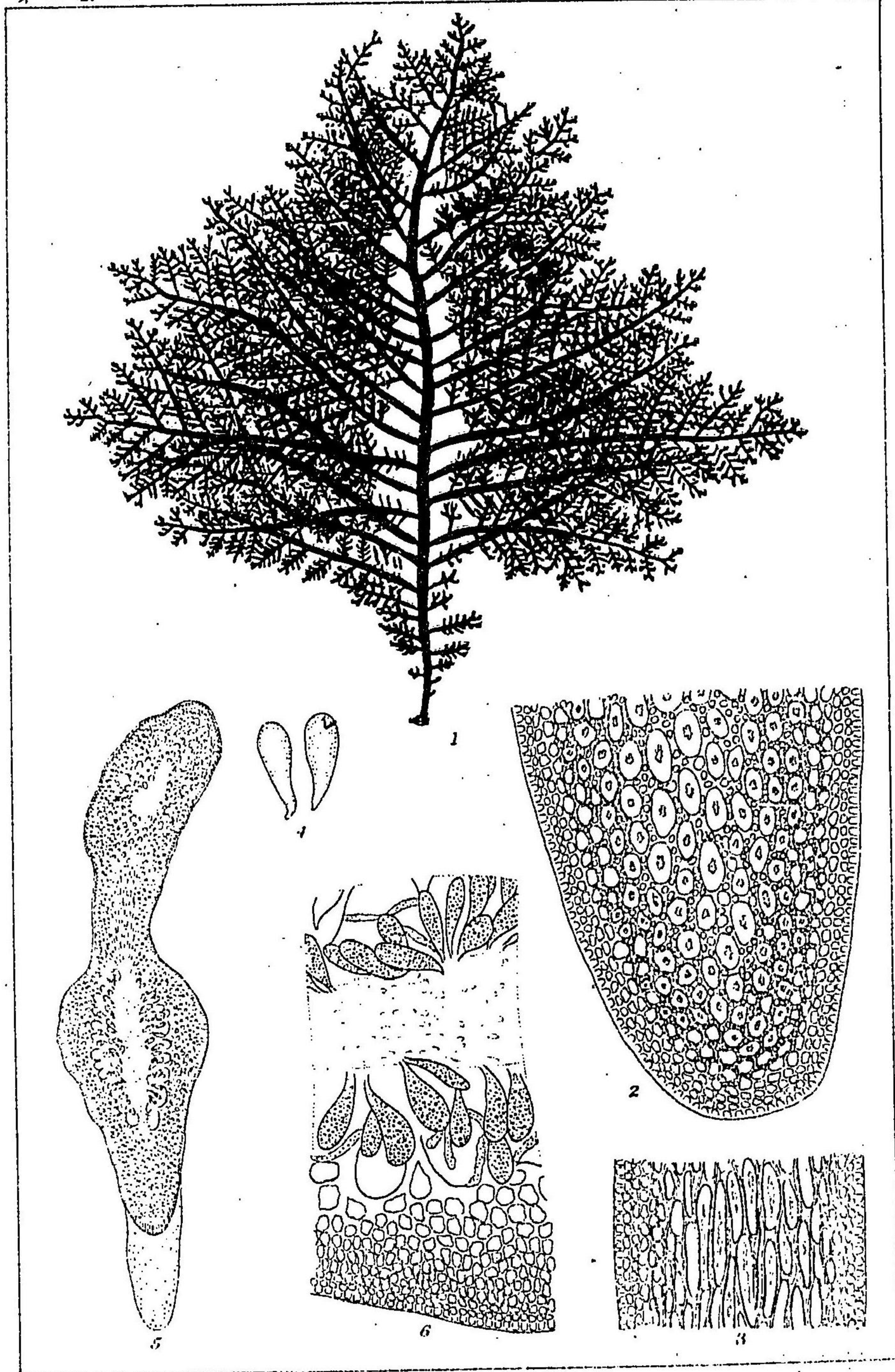
シコノアテシトク (異名) テンクウ

*Gelidium corneum*, Lamour. (Ess. p. 41)

(名異) *Fucus cornuus*, Huds. (Fl. Ang. p. 585.)

(屬所) 藻類 ALGAE 石花菜科 GELIDIACEAE

葉莖(Front)ハ堅キガ如ク軟カナルガ如ク其中間ノ質ニシテ略扁平ナリ枝ハ長クシテ左右ニ  
排列ス皆線形ニシテ兩端ニ殺ゲ羽狀或ハ再羽狀ヲナス其片ハ鈍頭ニシテ對生スルモノアリ  
互生スルモノアリテ一定セズ  
葉莖ノ中央ハ長キ無色ノ細胞相錯雜シ外圍ハ小ニシテ紅色ナル圓形或ハ多角形ナル細胞數  
層ヨリ成レリ結實ニニ様アリ一ハ膨脹セル小枝ノ内ニ二室ヲ割シテ倒卵長橢圓形ノ孢子許  
多ヲ生ズ此果實ヲ總ジテ藻果(Systocarp)トスニハ先太ナル枝ノ内ニ合マルニ裂乃至三裂セル  
紅色ノモノ是ナリ之ヲ四裂子(Tetraspore)トス



*Gelidium corneum*, Lamour.

本邦寒暖ノ諸州海中石上ニ生ズ潮ノ干ルトキハ手以テ之ヲ採集スルヲ得ベシ紅色藻類中有  
 用ノ一種ニシテ高ツニ至五、六寸許ニ及ビ多ク分岐シテ暗紅色ヲ呈ス此全草ヲ曝シ乾シ  
 黄白色トナリタルモノヲ煮テトコロチンヲ製シ又凍乾シテ「カンチン」ヲ作ル故ニとてん  
 ぐさ并ニてんぐさノ名アリ余ガ此處ニ圖セルモノハ冬月相州江ノ島ニ於テ採集セルモノナ  
 リ島民之ヲてんぐさト呼ブ

此種ハ大平、大西、印度諸洋ニ散布ス

(圖解) ○1ハ全圖 ○2ハ莖ノ一部ヲ横斷シテ内部ノ細胞組織ヲ示ス ○3ハ同ナリ ○4ハ全ヒノ縦斷面  
 ○5ハ藻果ノ胞子二個ヲ示ス ○6ハ藻果ヲ含メル枝ヲ示ス ○7ハ同ナリ ○8ハ全ヒノ縦斷面

(明治三十二年二月廿五日)

○第六圖版

理學博士 三好 學 著

Plate VI.

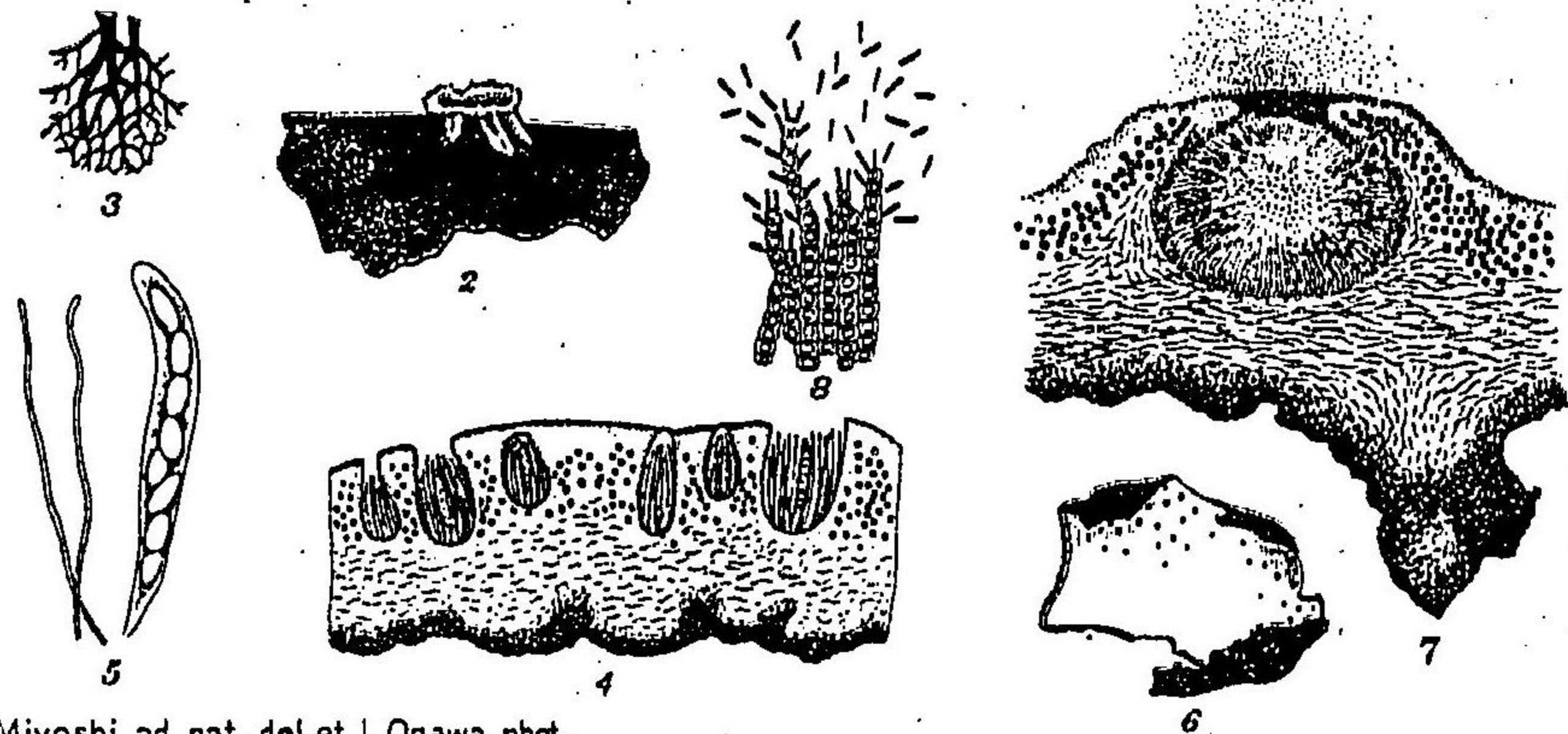
By M. Miyoshi.

いはたけ (漢名) 石耳

*Gyrophora esculenta*, Miyoshi (Botan. Centralb. Bd. LVI. 1893, p. 161.)

(屬所) 地衣類 *LICHENES*. 石耳科 *UMBILICARIEAE*.

全體扁平葉狀圓形若シクハ不規則ナル橢圓形ヲ成シ直徑三仙達乃至十三仙達裏面ノ一點ヨリ出ヅル黑色ノ索狀體ニヨリ岩石ニ固着ス葉狀體ハ周縁ニテ少シク内方ニ卷屈シ其質強韌革狀ヲ呈ス上面ハ帶綠色若シクハ暗褐色平滑ナリ處々ヨリ屢無性芽ヲ發ス裏面黑色假根密生毛茸ハ短厚ニシテ分岐シ且ツ數多一處ニ叢生シテ小群束ヲ形ヅクル子器ハ沈在シ囊狀ヲナシ小口ニヨリ外面ニ開ク子囊層ハ無色ナレドモ下子囊層ハ暗黑色ナリ線狀體ハ短細ニシテ分岐セズ子囊ハ棍棒狀八子ヲ容ル胞子ハ單胞白色橢圓長二五「ミユ」幅八「ミユ」雄器ハ褐色點狀ヲ呈シ葉狀體ノ上面ノ周縁ニ群存ス器殼ハ卵形若シクハ橢圓形ニシテ固有ノ被膜アリ核ハ分劃セズ支柱體ハ分岐シ關節ヲ有ス雄子ハ微小棒狀一端ニテ支柱體ニ著ク



M. Miyoshi ad nat. del. et I. Ogawa phot.

*Gyrophora esculenta*, Miyoshi.

いはたけ

該地衣ハ外看頗ソル *Gyrophora vella*, *Ach* 及 *V. Umbilicaria*, *Dillenii*, *Fuck.* ニ類似スレドモ仔細ニ檢ス  
 レバ假根毛茸ノ群生ノ状態ノ子器體ノ形狀胞子ノ大小等ニヨリ互ニ區別シ得ベシ  
 産地本邦各地ノ深山ニ産シ、花崗石等ノ岩壁ニ密著ス、本圖ニ示スモノハ武州秩父山中ニ於テ  
 採取セルモノナリ

本地衣ハ食用トナルヲ以テ、多ク採取シテ市ニ鬻グ、又貿易品トナル

(圖解) 1ハ實物寫眞圖ニシテ、凡ソ三分ノ一ニ縮寫セリ、上方ニアルモノハ裏面、下方ノモノハ表面、  
 多ク子器ヲ示ス。2ハ子器體ノ切斷面ニシテ、凡ソ三分ノ一ニ縮寫セリ、上方ニアルモノハ裏面、下方ノモノハ表面、  
 多ク子器ヲ示ス。3ハ子器體ノ切斷面ニシテ、凡ソ三分ノ一ニ縮寫セリ、上方ニアルモノハ裏面、下方ノモノハ表面、  
 多ク子器ヲ示ス。4ハ子器體ノ切斷面ニシテ、凡ソ三分ノ一ニ縮寫セリ、上方ニアルモノハ裏面、下方ノモノハ表面、  
 多ク子器ヲ示ス。5ハ子器體ノ切斷面ニシテ、凡ソ三分ノ一ニ縮寫セリ、上方ニアルモノハ裏面、下方ノモノハ表面、  
 多ク子器ヲ示ス。6ハ子器體ノ切斷面ニシテ、凡ソ三分ノ一ニ縮寫セリ、上方ニアルモノハ裏面、下方ノモノハ表面、  
 多ク子器ヲ示ス。7ハ子器體ノ切斷面ニシテ、凡ソ三分ノ一ニ縮寫セリ、上方ニアルモノハ裏面、下方ノモノハ表面、  
 多ク子器ヲ示ス。8ハ子器體ノ切斷面ニシテ、凡ソ三分ノ一ニ縮寫セリ、上方ニアルモノハ裏面、下方ノモノハ表面、  
 多ク子器ヲ示ス。

(明治三十三年二月廿五日)

○第七圖版

Plate VII.

理學博士 松村任三著

By J. Matsumura.

おくびりひ

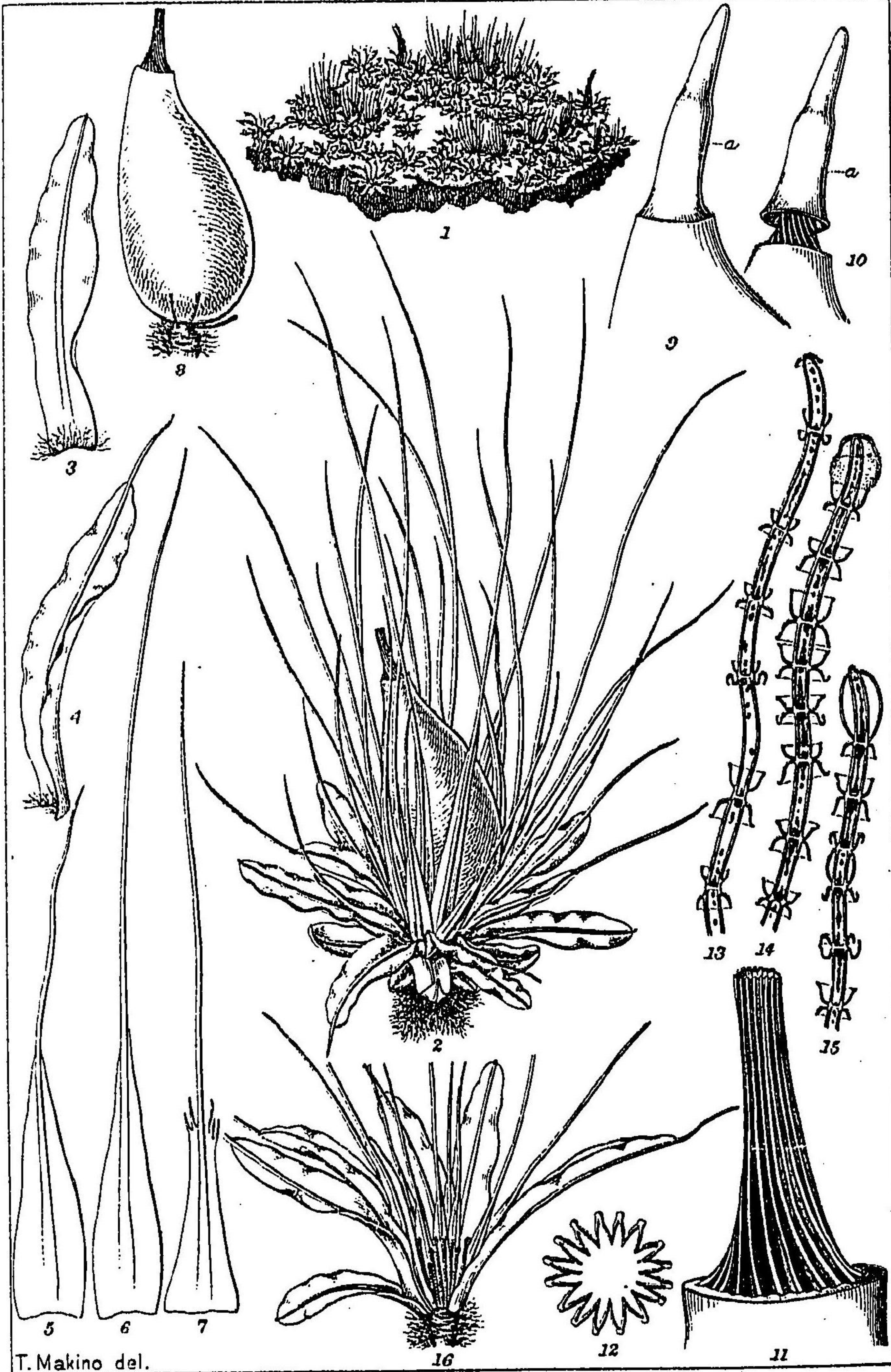
*Diphyseium fulvifolium*, Mitt. (in Trans. Linn. Soc. Lond. Vol. III. Part 3, p. 193.)

(圖所) 蘚類 *MUSCI.* 猪首苔科 *BUNBAUMIÆ.*

雌雄異株ナリ

莖ハ圓筒狀ニシテ小ク早ク脱ス子囊ハ長橢圓卵形ニシテ傾斜シ基底稍囊狀ヲ呈ス無柄、緣齒ハ白色圓筒狀ニシテ螺旋シ十六ノ稜ヲナシ稜角厚シ、雄花ハ頂生ニシテ芽狀ヲ呈ス、藏精器許多ヲ含ム

莖極テ短クシテ分岐セズ葉ハ展開シ長橢圓線形全縁ニシテ鈍頭ヲ有シ細胞組織ハ長形ナリ中央ニ一條ノ脈アリ其脈頭ヨリ抽テ長刺ヲナス總苞ヲナスノ葉ハ披針狀ニシテ刺甚長ク子囊ヨリモ長ク秀ツ或ハ葉頭刻ミテ線毛狀ヲ呈ス而シテ葉ハ刺ヲ合シテ其長サ四分ニ盈タズ、樹下地上ニ群ヲナシテ生ズル小苔ナリ莖ナクシテ展開セル葉ト共ニ子囊ヲ生ズルガ故ニ猪



T. Makino del.

*Diphyscium fulvifolium*, Mitt.

首昔ノ名ヲ命ゼリ常陸多賀郡武州大箕谷日光東照宮地内等ニ採集セリ  
 此種ニ肖似メルモノ歐米ニ *D. foliosum*, *Web. et Mohr.* アリ而シテ此レト異ナルハ總苞ヲナメ  
 ノ葉稍長キト莖ニ生ズル葉ノ細胞組織ガ彼ノ如ク密ナラザルニアリトス殊ニ此種ノ顯著ナ  
 ルハ隨伴絲ガ特異ノ生長ヲナスニアリ(13 14 15 圖此ハ白井理學士ガ其未刊論文ニ詳論セル所  
 ナリ)

(圖解) 1 全圖 2 葉ノ外圍ノ形 3 葉ノ基部ノ形 4 葉ノ基部ノ形 5 葉ノ基部ノ形 6 葉ノ基部ノ形 7 葉ノ基部ノ形 8 葉ノ基部ノ形 9 葉ノ基部ノ形 10 葉ノ基部ノ形 11 葉ノ基部ノ形 12 葉ノ基部ノ形 13 葉ノ基部ノ形 14 葉ノ基部ノ形 15 葉ノ基部ノ形 16 葉ノ基部ノ形



○第八圖版

理學士 白井光太郎著

Plate VIII.

By M. Shimai.

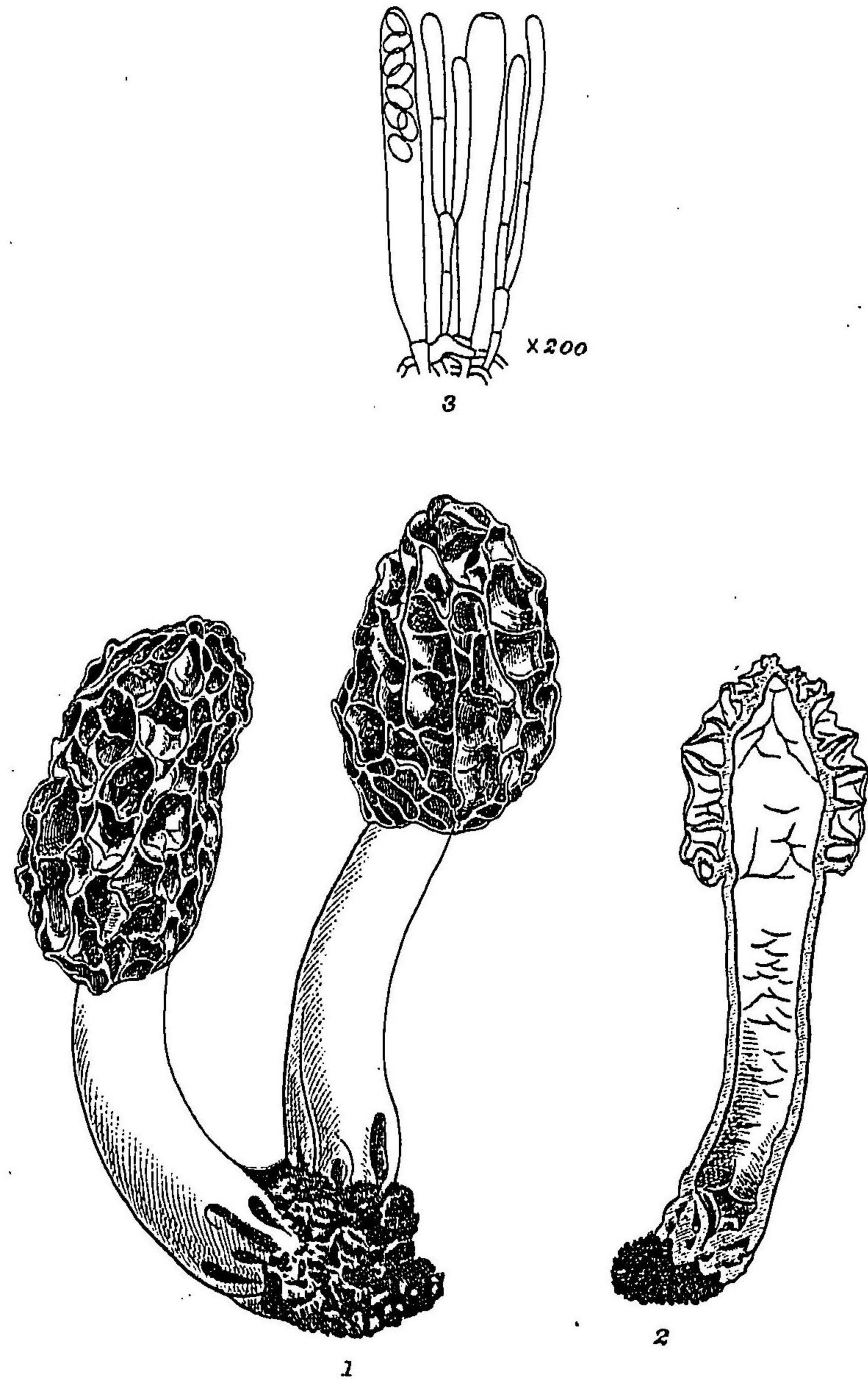
あみがさたけ 本草圖譜

*Morchella esculenta*, Pers. (Syn. p. 618.)

(名異) *Phallus esculentus*, Linn. (Succ. 1262.)

(屬所) 菌類 FUNGI. あみがさたけ科 HEVELLEAE.

結實體ノ頭部ハ橢圓形若クハ卵圓形ヲナシ外方ニ突出スル縱横ノ隆起ニヨリ其外面ニ許多ノ不等方形若クハ似圓形ノ小房ヲ形成スルノ狀宛モ蜂窠ノ子房ニ似タリ長サ大約六センチメートル以下幅大約三センチメートルヲ超エズ中心空洞ヲナシ其色淡褐色若クハ黃褐色ニシテ下端ヲ以テ莖ニ接續ス莖ハ圓長中空ニシテ木ノ太キ處ニ褶襞アリ淡褐色若クハ類白色ニシテ外面ニ縮緬ノ如キ皺紋アリ長大約九センチメートル幅大約三センチメートル以下ナリ子囊層ハ頭部ノ小房ノ内面ニアリ子囊ハ圓壜形ニシテ頭四ク中ニ八箇ノ芽胞ヲ生ズ芽胞ハ各一箇ノ細胞ヨリ成リ橢圓形ニシテ無色平滑長二〇乃至二二ミ幅一〇乃至一二ミアリテ



M. Shirai del.

*Morchella esculenta*, Pers.

あみがさたけ

一行ニ聯列ス

此菌ハ歐米、西比利亞等ニモ産シ五月頃竹藪芝原等ノ陰地ニ生ズ頭部ノ大小小房ノ形狀莖ノ長短ノ差違ニヨリ數種ノ變種ヲ區別ス我邦ニテハ窮民稀ニ採食フニ過ギザレモ歐米諸洲ニテハ専ラ食用ニ供シ美味ヲ稱ス然レモ此種ハ全ク無毒ノ品ニ非ザレバ充分煮熟シ壓搾シテ煮汁ヲ去リ數回洗淨シタル後ニ調食セザレバ中毒ノ恐アリ我邦ニテハ通常之ヲ食用ニ供セザルヲ以テ中毒ノ報ヲ聞クコト罕ナルモ彼邦ニテハ調理法ニ注意セズシテ濫リニ多食シ爲ニ悲惨ノ死ヲナスモノ往々ニアリト云フ誠メザルベケンヤ

(圖解) 1結實體(自然大) 2結實體ノ縱断面(自然大) 3子囊及絲狀體ヲ見ル

(明治三十三年二月廿五日)

○第九圖版

Plate IX.

三宅 驥 一 著

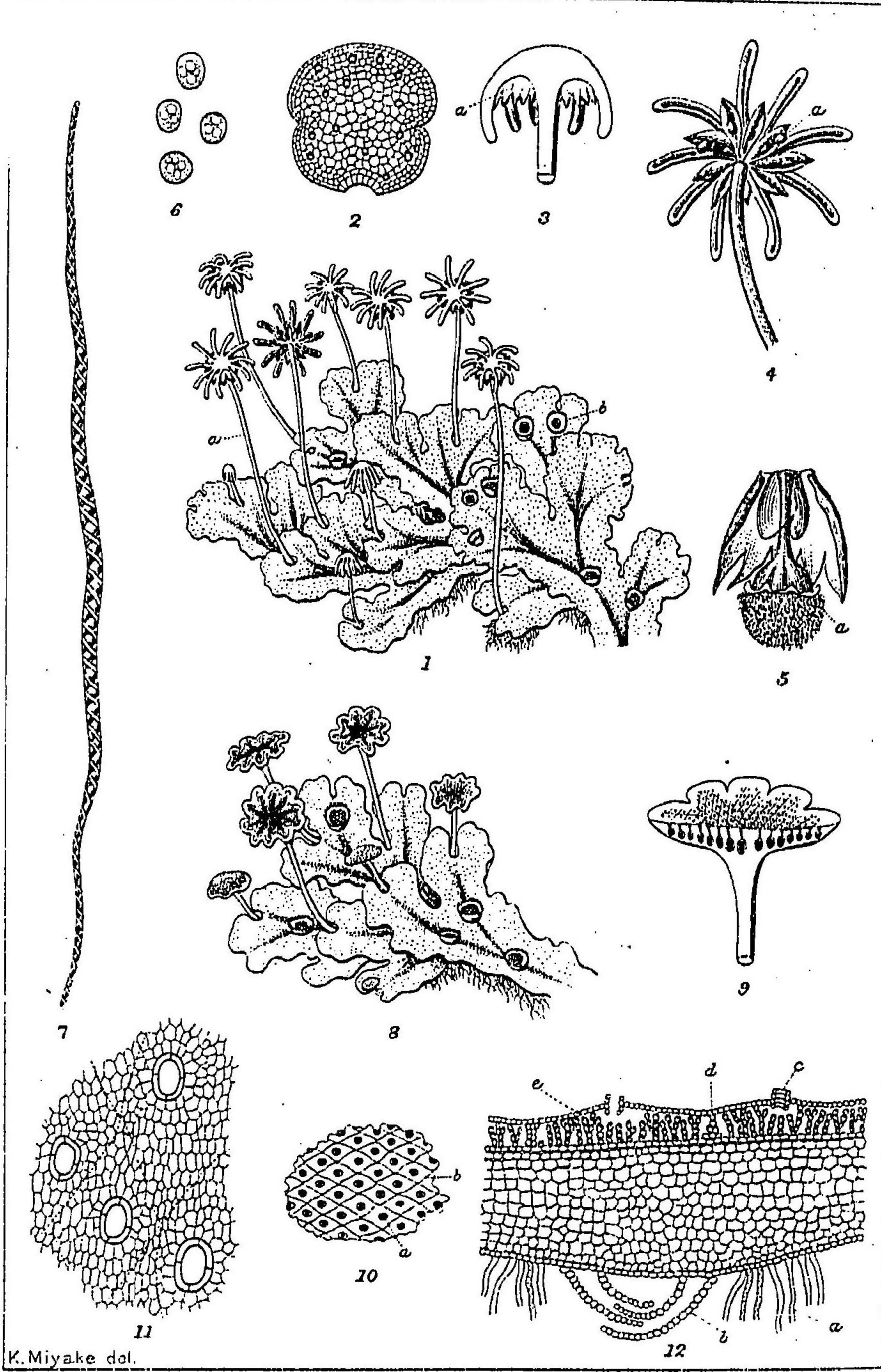
By K. Miyake.

まにまにけ

*Marchantia polymorpha*, Linn. (Sp. pl. p. 1603.)

(屬新) 苔類 *HEPATICA*. 地錢科 *MARCHANTIACEAE*.

葉狀體(Thallus)ハ扁平ニシテ分枝ス、表面ハ暗綠色ニシテ數多ノ氣孔ヲ有ス、而シテ其中肋ニ沿テ梳狀體アリテ其中ニ無性芽(Gemmae)ヲ藏ス、表面ハ淡綠色ヲ呈シ、中肋部ニ紫黑色ヲ帯ヘル鱗片(Scale)覆瓦狀ニ相重ナリテ列生シ、又多クノ根毛(Rhizoid)ヲ生ジ以テ土砂ニ着生ス、雌雄異株(Dioecious)ニシテ、各生殖器ハ植物體ノ先端ヨリ直生セル特別ナル體ノ上ニ生ズ、雌器體(Lemale receptacle)ハ星芒狀ニ射出セルモノニシテ、直生セル柄ヲ有シ、其中下部ニ多クノ雌器(Archegonium)ヲ生ズ、即チ指ノ如キ射軸ト交互シテ包膜(Involucere)アリテ其内ニ數個ノ雌器ヲ包藏スルナリ、雌器ハ受精シテ後子囊體(Sporogonium)ヲ生ズ、子囊體ハ橢圓形ニシテ柄ヲ有シ、成熟スルニ及ビ柄ノ延長ト共ニ内被膜(Calyptre)ヲ破リ終ニ外被膜(Perianth)ノ外ニ出ヅルナリ、後子囊體ノ頂端破裂シテ内部ヨリ黄色ノ含有物ヲ飛散ス、是レ孢子(Spore)及ビ彈絲(Elater)ナリ、孢子ハ比較的ニ小ニシテ稍球形ヲ呈シ、其膜薄クシテ黄色ヲ帯ビ、内ニ油滴ヲ含ム、彈絲ハ長クシテ兩端尖リ二條ノ螺旋ヲ有ス、雌器體(Male receptacle)ハ柄ヲ有スル盤狀體ニシテ、外縁ハ七八ノ鈍齒ニ分ルルヲ常トス、而シテ其上面ヨリ以下ニ陥没セル數多ノ德利形ノ小穴アリ、其中ニ各個ノ雄器



K. Miyake del.

Marchantia polymorpha, Linn.

(Antheridium)ヲ微ス

せにこけノ表面ヲ蟲目鏡ニテ檢スレバ第十圖ニ示スガ如ク數多ノ菱形ノ區劃アリテ其中央ニ各一個ノ氣孔アルヲ見ルベシ而シテ此菱形ノ區劃ハ表皮ノ上ニ存スルガ如ク見ユルモ實ハ然ラズシテ其下ニ菱形ニ區劃セラレタル多クノ氣腔アルガ故ニ斯ク見ユルナリ今其橫斷面ヲ顯微鏡下ニ窺ヘバ第十二圖ニ示スガ如ク表皮ノ直下ニハ葉綠粒ヲ有スル細胞ノ層アリテ此層ハ葉綠粒ヲ含マザル細胞ノ隔壁ニヨリテ數多ノ菱形ノ小室ニ分割セラレタリ而シテ氣孔ハ恰モ天窗ノ如ク其各小室ノ中央ニ開ケリ氣孔ハ四重ノ細胞相重ナリテ内部筒狀ヲナシ其各層ハ亦四個宛ノ細胞ヨリ成ルモノトス

此種ハ池澤ノ石垣及ビ處々ノ濕地ニ生ジ本邦隨在到ル處ニ之ヲ産ス且ツ世界ニ於テ最モ普通ノ一品ニ屬シ全世界ヲ通ジテ廣ク各地ニ分布セリ

此 Marchantia ナル屬名ハ佛國ノ植物學者マルシヤン(Marsh)氏ノ名譽ノ爲メニ命名シタルモノニシテ有名ナル林氏既ニ之ヲ用キタリ此屬ハ地鏡料中最モ高等ナルモノニ屬シ其諸器官ノ構造等從テ此ニ複雜ヲ致セルナリ本屬ニ屬セルモノ全世界ヲ通ジテ五十餘種アリ是レ今日ニ知ラレタル全數ナリ而シテ本邦ニ在リテモ亦從來既ニ記載セラレタルモノ概シテ七八種ヲ下ラズ

(圖解) 1. 雌性植物自然大ニハ雌器體ハ無性芽ヲ藏セル筒狀體ニシテ葉綠粒ヲ含マザル細胞ノ隔壁ニヨリテ數多ノ菱形ノ小室ニ分割セラレタリ而シテ氣孔ハ恰モ天窗ノ如ク其各小室ノ中央ニ開ケリ氣孔ハ四重ノ細胞相重ナリテ内部筒狀ヲナシ其各層ハ亦四個宛ノ細胞ヨリ成ルモノトス

2. 雌器體ハ無性芽ヲ藏セル筒狀體ニシテ葉綠粒ヲ含マザル細胞ノ隔壁ニヨリテ數多ノ菱形ノ小室ニ分割セラレタリ而シテ氣孔ハ恰モ天窗ノ如ク其各小室ノ中央ニ開ケリ氣孔ハ四重ノ細胞相重ナリテ内部筒狀ヲナシ其各層ハ亦四個宛ノ細胞ヨリ成ルモノトス

3. 雌器體ハ無性芽ヲ藏セル筒狀體ニシテ葉綠粒ヲ含マザル細胞ノ隔壁ニヨリテ數多ノ菱形ノ小室ニ分割セラレタリ而シテ氣孔ハ恰モ天窗ノ如ク其各小室ノ中央ニ開ケリ氣孔ハ四重ノ細胞相重ナリテ内部筒狀ヲナシ其各層ハ亦四個宛ノ細胞ヨリ成ルモノトス

4. 雌器體ハ無性芽ヲ藏セル筒狀體ニシテ葉綠粒ヲ含マザル細胞ノ隔壁ニヨリテ數多ノ菱形ノ小室ニ分割セラレタリ而シテ氣孔ハ恰モ天窗ノ如ク其各小室ノ中央ニ開ケリ氣孔ハ四重ノ細胞相重ナリテ内部筒狀ヲナシ其各層ハ亦四個宛ノ細胞ヨリ成ルモノトス

5. 雌器體ハ無性芽ヲ藏セル筒狀體ニシテ葉綠粒ヲ含マザル細胞ノ隔壁ニヨリテ數多ノ菱形ノ小室ニ分割セラレタリ而シテ氣孔ハ恰モ天窗ノ如ク其各小室ノ中央ニ開ケリ氣孔ハ四重ノ細胞相重ナリテ内部筒狀ヲナシ其各層ハ亦四個宛ノ細胞ヨリ成ルモノトス

6. 雌器體ハ無性芽ヲ藏セル筒狀體ニシテ葉綠粒ヲ含マザル細胞ノ隔壁ニヨリテ數多ノ菱形ノ小室ニ分割セラレタリ而シテ氣孔ハ恰モ天窗ノ如ク其各小室ノ中央ニ開ケリ氣孔ハ四重ノ細胞相重ナリテ内部筒狀ヲナシ其各層ハ亦四個宛ノ細胞ヨリ成ルモノトス

7. 雌器體ハ無性芽ヲ藏セル筒狀體ニシテ葉綠粒ヲ含マザル細胞ノ隔壁ニヨリテ數多ノ菱形ノ小室ニ分割セラレタリ而シテ氣孔ハ恰モ天窗ノ如ク其各小室ノ中央ニ開ケリ氣孔ハ四重ノ細胞相重ナリテ内部筒狀ヲナシ其各層ハ亦四個宛ノ細胞ヨリ成ルモノトス

8. 雌器體ハ無性芽ヲ藏セル筒狀體ニシテ葉綠粒ヲ含マザル細胞ノ隔壁ニヨリテ數多ノ菱形ノ小室ニ分割セラレタリ而シテ氣孔ハ恰モ天窗ノ如ク其各小室ノ中央ニ開ケリ氣孔ハ四重ノ細胞相重ナリテ内部筒狀ヲナシ其各層ハ亦四個宛ノ細胞ヨリ成ルモノトス

9. 雌器體ハ無性芽ヲ藏セル筒狀體ニシテ葉綠粒ヲ含マザル細胞ノ隔壁ニヨリテ數多ノ菱形ノ小室ニ分割セラレタリ而シテ氣孔ハ恰モ天窗ノ如ク其各小室ノ中央ニ開ケリ氣孔ハ四重ノ細胞相重ナリテ内部筒狀ヲナシ其各層ハ亦四個宛ノ細胞ヨリ成ルモノトス

10. 雌器體ハ無性芽ヲ藏セル筒狀體ニシテ葉綠粒ヲ含マザル細胞ノ隔壁ニヨリテ數多ノ菱形ノ小室ニ分割セラレタリ而シテ氣孔ハ恰モ天窗ノ如ク其各小室ノ中央ニ開ケリ氣孔ハ四重ノ細胞相重ナリテ内部筒狀ヲナシ其各層ハ亦四個宛ノ細胞ヨリ成ルモノトス

11. 雌器體ハ無性芽ヲ藏セル筒狀體ニシテ葉綠粒ヲ含マザル細胞ノ隔壁ニヨリテ數多ノ菱形ノ小室ニ分割セラレタリ而シテ氣孔ハ恰モ天窗ノ如ク其各小室ノ中央ニ開ケリ氣孔ハ四重ノ細胞相重ナリテ内部筒狀ヲナシ其各層ハ亦四個宛ノ細胞ヨリ成ルモノトス

12. 雌器體ハ無性芽ヲ藏セル筒狀體ニシテ葉綠粒ヲ含マザル細胞ノ隔壁ニヨリテ數多ノ菱形ノ小室ニ分割セラレタリ而シテ氣孔ハ恰モ天窗ノ如ク其各小室ノ中央ニ開ケリ氣孔ハ四重ノ細胞相重ナリテ内部筒狀ヲナシ其各層ハ亦四個宛ノ細胞ヨリ成ルモノトス

○第十圖版

大野直枝 著

Plate X.

By N. Ono.

かばもぐく

*Batrachospermum moniliforme*, Hass. (Hist. Brit. Freshw. Alg. I. 1857, p. 108.)

(名異)

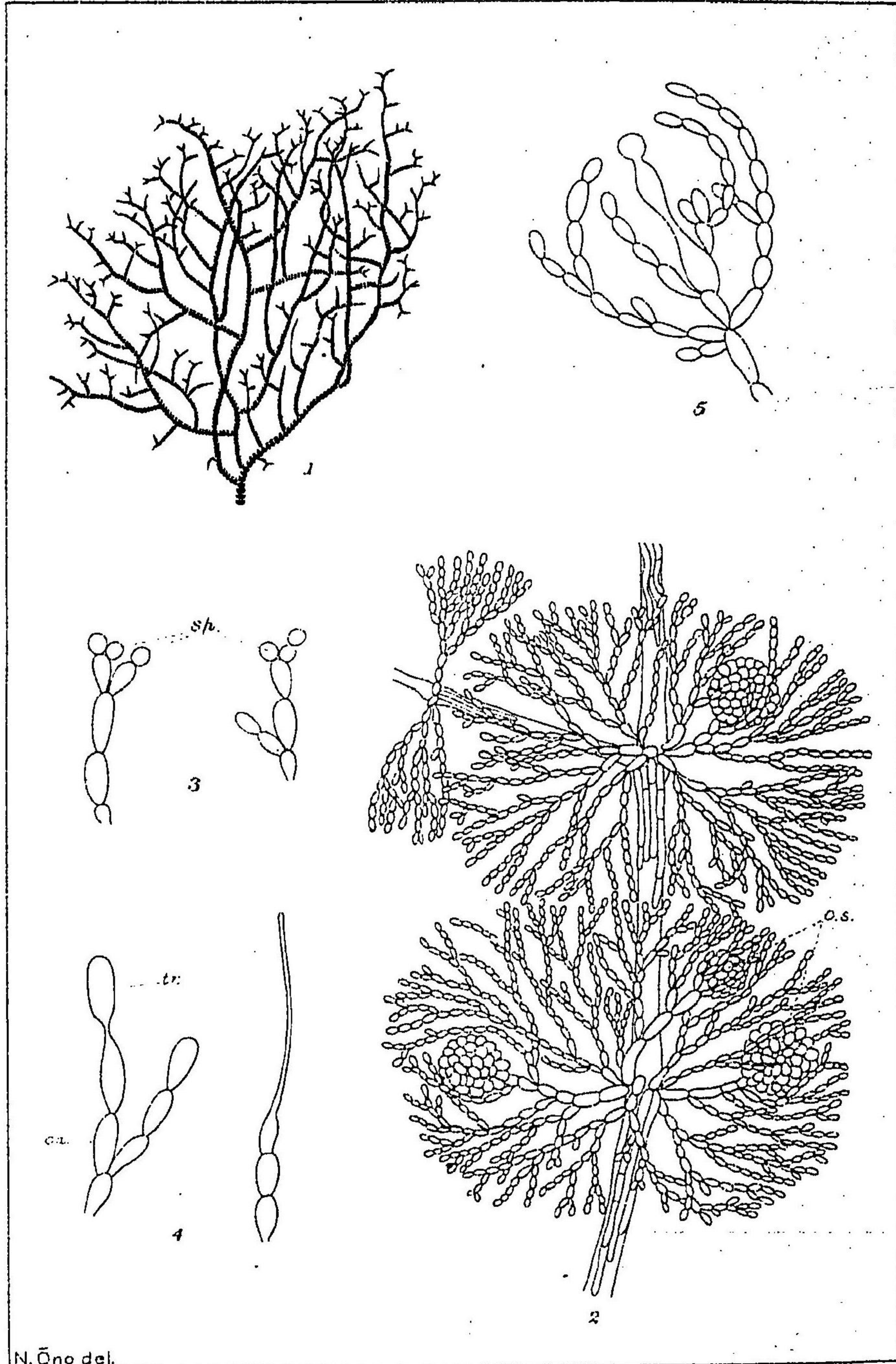
*Batrachospermum laddianum moniliforme*, Boyr (in Ann. du Mus. XII. p. 322, pl. 30, fig. 1.) — *Conferva fontana, nodosa, etc.*, Dill. (Musc. p. 36, t. VII. fig. 42.) — *Chara gelatinosa frontibus gelatinosis filamentosis, etc.*, Roth. (Cat. I. p. 125.) — *Conferva gelatinosa*, Linn.

(Sp. plant. p. 1635.) — *Chara batrachosperma*, Weis (Gott. p. 33, t. I.) — *Batrachospermum moniliforme filis ramosis, etc.*, Roth. (Cat. bot. III. p. 160.) — *Batrachospermum moniliforme*, Vauch. (Conf. p. 112, t. 1, fig. 5, et tab. IX. fig. 4.)

(屬所)

藻類 ALGÆ. 紅色藻門 RHODOPHYCEÆ. かばもぐく科 HELMINTHO-CLADIACEÆ.

全植物體ハ不規則ニ分岐セル絲狀體ヨリ成リ一寸乃至數寸ニ及ビ各絲ハ椀形ノ顆粒密ニ相連リテ成レルガ如ク褐色綠褐色紫褐色等ノ色ヲ呈シ甚軟柔ニシテ精液質ニ富ミ之ヲ把取セントヌルニ往々手ヨリ滑脱シ去ル外觀トイヒ粘滑ノ狀トイヒ酷ク能ク蛙卵ニ似タリ屬名ノ



Batrachospermum moniliforme, (Roth.)

かばみづく

因テ起ル所以ナリ枝ノ一部ヲ取り廓大シテ檢スルニ先ヅ圓柱狀ノ細胞一行ニ相連リテ中軸ヲ成シ各細胞ノ相接スル部ヨリ數多ノ小枝ヲ發シ其若干ハ絲狀ノ細胞列ヨリ成リ垂レテ中軸ヲ擁シ所謂皮層(Cortex)ヲ形成ス其他ハ軸ノ周圍ニ放射シ總狀ヲ成ス肉眼ニヨリ顆粒ト見ユルハ其實ハ節ヨリ放射セル小枝ノ一群ニ外ナラズ放射小枝ハ倒卵形乃至橢圓形ノ小細胞ノ連鎖ヨリ成リ數回分枝セリ其最尖ニ位スル細胞ハ或ハ毛狀ニ延長セルコトアリ然レモ甚多カラズ、

雌雄同株ニシテ雄性生殖器ハ小枝ノ尖端ニ生ズル球形ノ細胞ニシテ其内容一雄精ト成リ成熟スル時ハ外膜破レテ雄精(Spermata)ヲ放出ス球形ニシテ自動ノ能ナクタゞ水流ニ隨テ雌器ニ達ス雌器ハ棍棒狀若クハ德利狀ノ細胞ニシテ特別ノ枝端ニ生ジ二部ヲ區別ス尖端ノ部ハ即受精絲(Fecundine)ニシテ基部部ハ即子實部(Carpogone)ナリ雄精ノ水ニ送ラレテ雌器ノ受精絲ニ接スルヤ一定時ノ後子實部ハ分割シテ果胞子(Carpogone)ヲ形成ス同時ニ雌器ノ基部ニ接スル二三ノ細胞ヨリ多數ノ分枝ヲ生ジ遂ニ密ニ雌器ヲ包ミ所謂果胞子囊(Cystocarp)ヲ成ヌ果胞子ハ發芽シテ直ニかはもづくト成ルコトナク一先ヅ一種ノ前芽ヲ生ズルモノナリ

冬期春期中諸處小流ノ木石等ニ著キテ生ジ夏日ニ至レバ其跡ヲ絶ツニ酢ニ醗シテ食用ニ供ス

(圖解) 1 全植物(自然大) 2 枝ノ一部(放大) 3 果胞子囊 4 雄器ヲ有スル小枝 5 雌器ノ周圍ニ小枝生ラ之ヲ包ムニ至ル圖

(明治三十一年三月廿五日)

○第十一圖版

理學博士 松村 任三 著

Plate XI.

By J. Matsumura.

はみずこけ

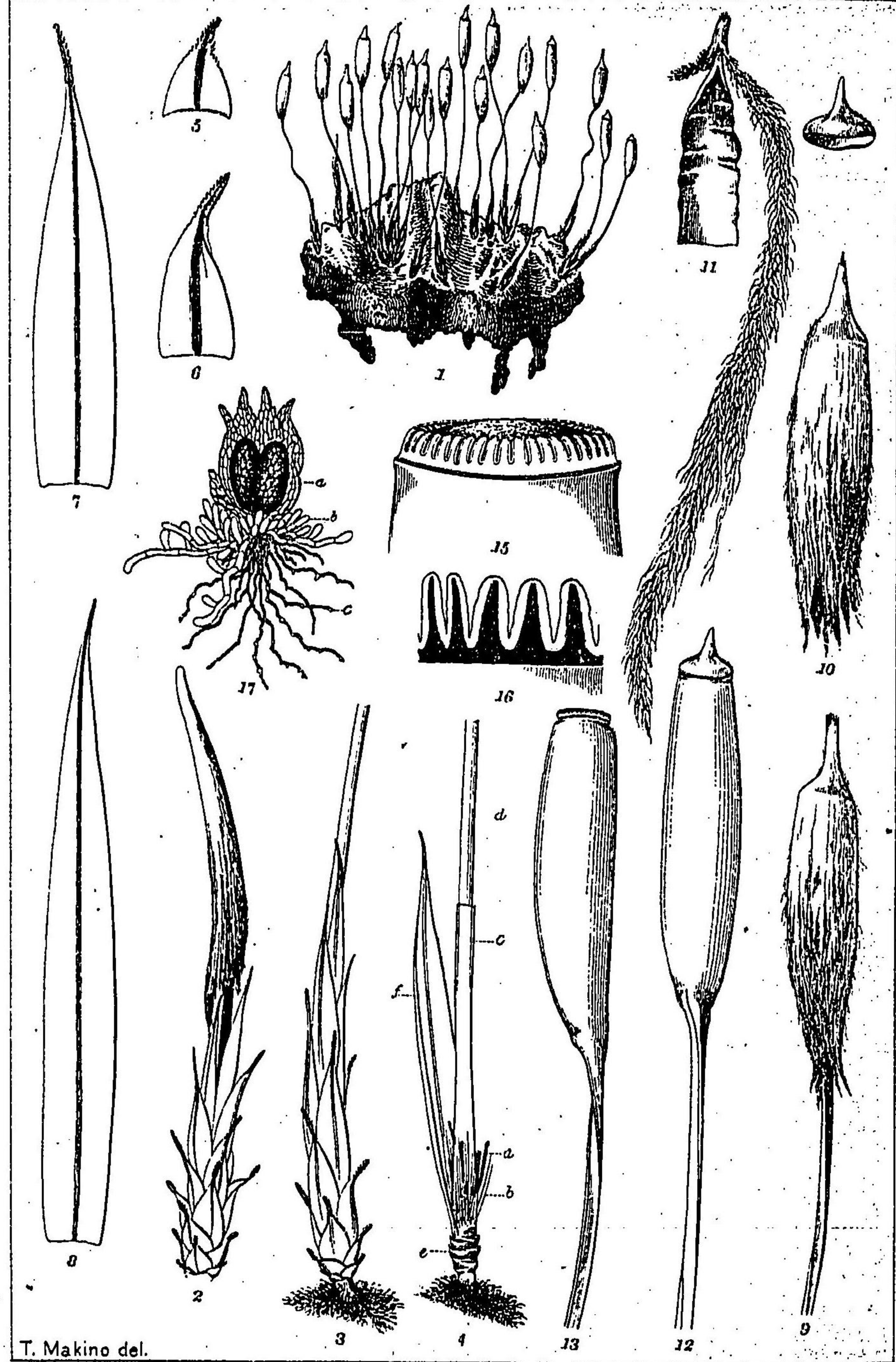
*Pogonatum pellucens*, Besch. (in Ann. Sc. Nat. XVII. 1893, p. 351.)

(屬所) 蘚類 MUSCI.

土馬騮科 POLYTRICHEAE.

莖カニ寸許ノ苔ニシテ殆ド莖ナク數個ノ直立セル葉ヲ壘生メ下部ノ葉ハ鱗片狀ニシテ卵形ヲナシ頭ニ刺アリ其刺縁及ビ葉背ニ小鈍齒ヲ有ス中脈頗ル闊シ上部ノ葉ハ膜ノ如ク薄ク長橢圓披針形ニシテ其細胞組織ハ長形ナリ總苞ヲ成ヌノ葉ハ上部ノ葉ニ似テ長ク兩縁内ニ卷ク

萌ハ不正圓筒狀ニシテ滿面粟粒狀ノ小突起アリ柄長サ寸許長鞘アリテ其本ヲ圍ム鞘ノ本ニ數個ノ腋卵器ト許多ノ隨伴絲トヲ生ズ蒴線ニ三十二ノ小齒アリ短クシテ鈍シ笠ハ不平等ニシテ上端ニ長毛ヲ密生シ以テ其外圍ヲ掩ヒ而シテ其毛ハ笠ヨリモ遙カニ長シ  
東京近道ノ樹陰其他諸國ノ地上ニ綠色ヲ呈シテ其上ニ毛茸アル萌ヲ抽ンツルモノハ即チ此



T. Makino del.

Pogonatum pellucens, Besch.

苔ナリ一見緑葉ヲ觀ザルヲ以テ葉不見苔ノ名ヲ命ゼリ而シテ此ハ是レ雌本ナリ雄本ハ株ヲ  
 異ニシテ別ニ生シ常ニ綠色ノ絲狀體ヲ伴フ其體細微ニシテ赤褐色ノ鱗葉之レヲ擁シ中ニ一  
 乃至二個ノ藏精器ヲ生ス  
 本邦之レト同屬ノ品類ヲ産スルコト頗ル多シ然レ他ハ皆綠葉ヲ多ク生ズルモノナリ即チ左  
 ノ如シ

*Pogonatum asperinum*, Besch. (ウツクシクサ) *P. akitsuense*, Besch. (ウツクシクサ) *P. alpinum*, Brid.  
*P. otariense*, Besch. (ウツクシクサ) *P. sphaerotherium*, Besch. (ウツクシクサ) *P.*  
*unigerum*, L. (ウツクシクサ) *P. grandifolium*, Mich. (ウツクシクサ)

(圖解)

1 幼葉ノ狀 ○ 1 幼葉ノ狀 ○ 1 幼葉ノ狀 ○ 1 幼葉ノ狀 ○  
 2 葉ノ狀 ○ 2 葉ノ狀 ○ 2 葉ノ狀 ○ 2 葉ノ狀 ○  
 3 幼葉ノ根 ○ 3 幼葉ノ根 ○ 3 幼葉ノ根 ○ 3 幼葉ノ根 ○  
 4 幼葉ノ根 ○ 4 幼葉ノ根 ○ 4 幼葉ノ根 ○ 4 幼葉ノ根 ○  
 5 葉ノ先端 ○ 5 葉ノ先端 ○ 5 葉ノ先端 ○ 5 葉ノ先端 ○  
 6 葉ノ先端 ○ 6 葉ノ先端 ○ 6 葉ノ先端 ○ 6 葉ノ先端 ○  
 7 葉ノ先端 ○ 7 葉ノ先端 ○ 7 葉ノ先端 ○ 7 葉ノ先端 ○  
 8 葉ノ先端 ○ 8 葉ノ先端 ○ 8 葉ノ先端 ○ 8 葉ノ先端 ○  
 9 幼葉ノ先端 ○ 9 幼葉ノ先端 ○ 9 幼葉ノ先端 ○ 9 幼葉ノ先端 ○  
 10 幼葉ノ先端 ○ 10 幼葉ノ先端 ○ 10 幼葉ノ先端 ○ 10 幼葉ノ先端 ○  
 11 幼葉ノ先端 ○ 11 幼葉ノ先端 ○ 11 幼葉ノ先端 ○ 11 幼葉ノ先端 ○  
 12 幼葉ノ先端 ○ 12 幼葉ノ先端 ○ 12 幼葉ノ先端 ○ 12 幼葉ノ先端 ○  
 13 幼葉ノ先端 ○ 13 幼葉ノ先端 ○ 13 幼葉ノ先端 ○ 13 幼葉ノ先端 ○  
 14 幼葉ノ先端 ○ 14 幼葉ノ先端 ○ 14 幼葉ノ先端 ○ 14 幼葉ノ先端 ○  
 15 幼葉ノ先端 ○ 15 幼葉ノ先端 ○ 15 幼葉ノ先端 ○ 15 幼葉ノ先端 ○  
 16 幼葉ノ先端 ○ 16 幼葉ノ先端 ○ 16 幼葉ノ先端 ○ 16 幼葉ノ先端 ○  
 17 幼葉ノ先端 ○ 17 幼葉ノ先端 ○ 17 幼葉ノ先端 ○ 17 幼葉ノ先端 ○



(明治三十二年三月廿五日)

○第十二圖版

Plate XII.

醫學博士 三好 學 著

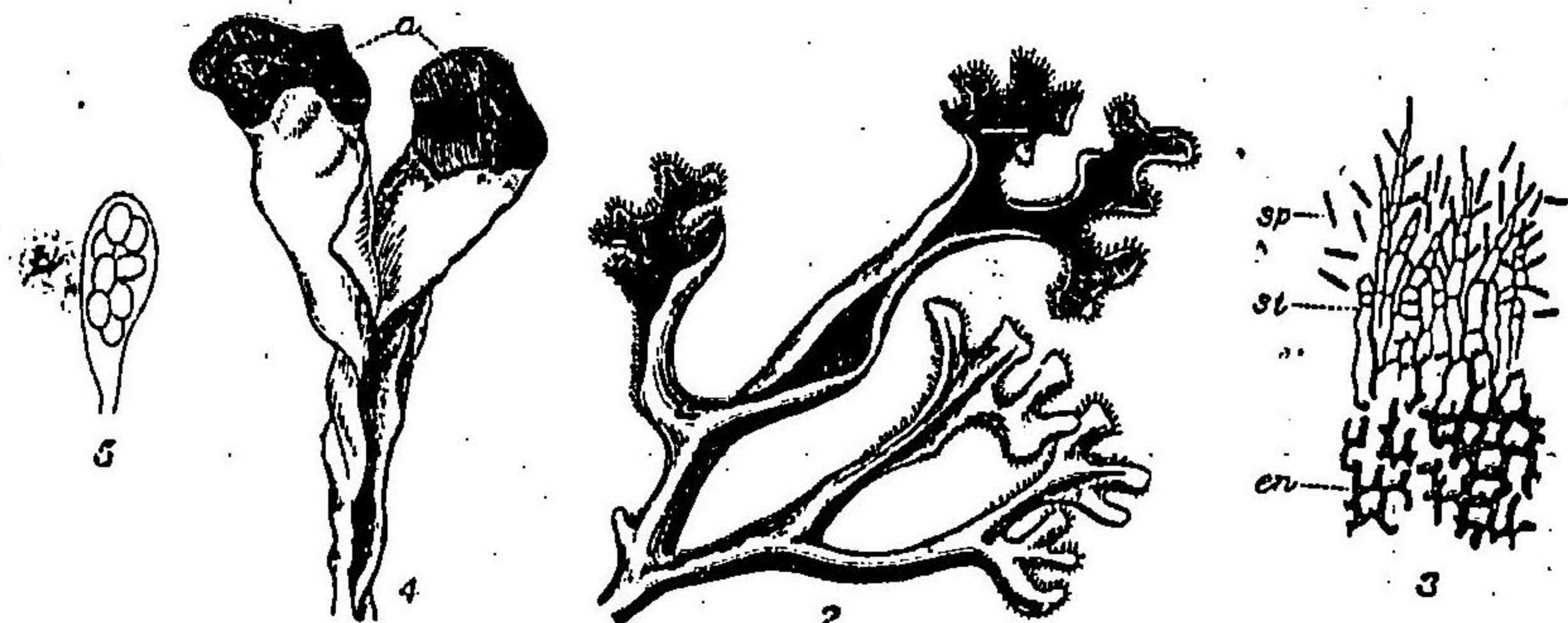
By M. Miyoshi.

こばのえーらんたい 依蘭苔

*Cetraria islandica*, Ach. f. *angustifolia*, Krph. (Lichenfl. Bay. p. 121.)

(圖所) 地衣類 LICHENES. 苔珊瑚科 RAMALINEAE

全體灌木狀直立、叢生、下部ニテ土砂若シクハ岩上ニ着ク、高サ四乃至七仙迷、諸處ヨリ分岐又出ス、枝端再三岐出シ小又形ヲ成ス、葉狀體ハ扁平帶狀、幅三乃至一五密迷、邊緣ハ捲屈シ屢、内部ニ溝道ヲ形ツクル、其質硬韌、平滑、淡褐色或ハ暗褐色ヲ呈ス、子器ハ不規則ナル盤狀ヲ成シ、廣闊ナル葉狀體ノ枝端ニ着ク、扁平若シクハ多少ノ凹凸アリ、黒褐色、滑澤、大サ一仙迷以上ニ達スルコトアリ、子囊長卵形、八子ヲ容ル、胞子ハ無色、單胞、橢圓形、長徑五ミ、短徑三ミ、線狀體ハ絲狀、分岐セズ、雄器ハ短小ナル線狀ヲナシ、主トシテ葉狀體上部ノ邊緣ニ羅列シ着生ス、褐色、圓柱狀、長サ〇五乃至一密迷、核ハ橢圓形、分岐セズ、支柱體ハ分岐シ關節アリ、節部ニ雄子ヲ着ク、雄子ハ微小ニシテ短線狀ヲ成ス、



M. Miyoshi ad nat. del. et. I. Ogawa phot.

*Cetraria islandica*, Ach. f. *angustifolia*, Krph.

おむのえしらんたい

○第十二圖版

三

該地衣ハ通常ノえしらんたいヨリモ葉狀體ノ幅狭小ナルニヨリ特ニ前記ノ名アリ子器雄子  
 其他部ニ形能何ツレモえしらんたいニ於ケルモノト差異ナシ  
 (産地)本邦各地ノ高山頂ニ産シ『地衣帶』ニ固有ノ種類ナリ又世界各地ニ蕃布ス本圖ニ示スモノ  
 ハ下野國日光白根山頂ニ於テ採集セルモノナリ  
 本地衣ハえしらんたいト同成分ヲ有シ薬用トナスヘシ  
 (圖解) 1. 小葉狀體ノ大體ヲ示スニシテ雄器ヲ切斷シ包莖(即)支柱體(即)及ビ雄子(即)ヲ示ス(凡ソ五百四十倍) 2. 雄器狀體并ニ雄器實物大ヨリ少  
 性葉狀體并ニ雄器實物大ヨリ少シク切斷シ包莖(即)支柱體(即)及ビ雄子(即)ヲ示ス(凡ソ五百四十倍) 3. 雄器狀體并ニ雄器實物大ヨリ少  
 雄器大ヨリ五百四十倍) 4. 雄器狀體并ニ雄器實物大ヨリ少シク切斷シ包莖(即)支柱體(即)及ビ雄子(即)ヲ示ス(凡ソ五百四十倍)

第十三圖版

Plate XIII.

草野俊助著

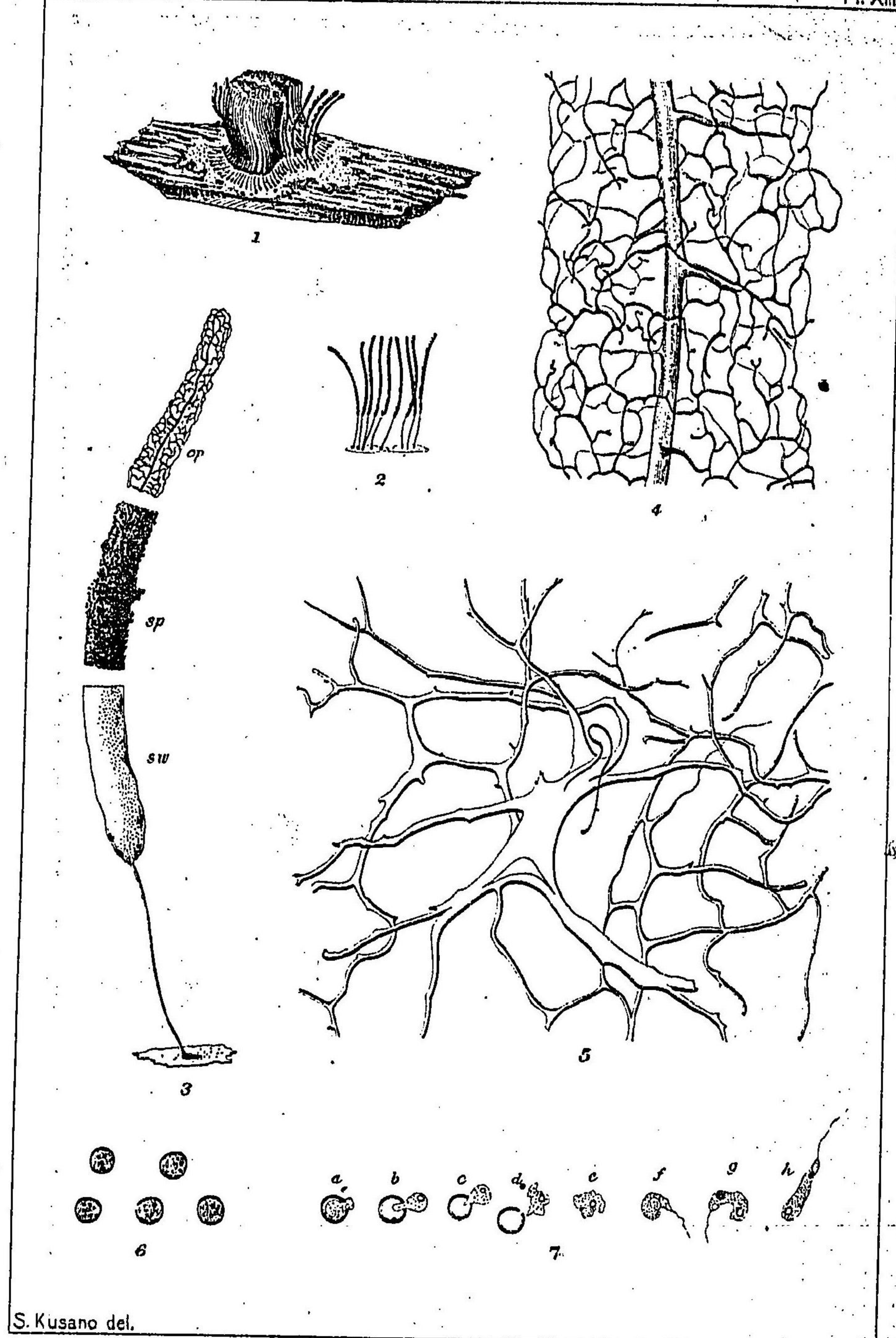
By S. Kusano.

むらさきほりかび (異名びろうたけ)

*Stemonitis fusca*, Rehm (in Röm. u. Ust. Mag. Bot. I. 1787, p. 26.)

(圖所) 菌類 FUNGI. 變形菌類 MYXOMYCETES. ほりかび科 STEMONITACEAE.

變形體(Plasmodium)ハ白色ナリ芽胞癭ハ圓柱狀尖鈍ニシテ有柄ナリ全體紫褐色ヲ呈シ其始メハ密着シテ集合體ヲナス芽胞飛散シタル後ハ柔カキ獸毛ノ觀アリ柄ハ黒色ニシテ光輝アリ  
 褐色ノ膜狀假葉狀體(Hypothallus)ヨリ出ツ芽胞癭ノ全長柄ヲ合シテ十五密迷ニ達ス藻膜(Peridium)ハ早ク離散シテ殆ド其痕跡ヲ留メズ細毛管體(Capillium)ハ絲狀ニシテ柱狀體(Columella)ノ周圍ニ射出シ分枝シテ表面ニ走り相結合シテ多角形ノ粗網ヲ形成ス網眼ノ徑六乃至十六  
 「ミュー」ヲ算ヌ芽胞ハ褐色又ハ紫褐色ニシテ表皮ハ平滑ナラズ而シテ多少ノ網狀斑紋ヲ有ス  
 其大サ六乃至十「ミュー」ニシテ細毛管體間ニ滿ツ  
 該菌ハ朽腐セル樹木ノ幹或ハ枯葉等ノ濕潤ナル場處ニ繁殖スル死物寄生類ニシテ最モ普通



S. Kusano del.

Stemonitis fusca, Roth.

スレモンティス フスカ

ノ品種ニ屬シ海外ニ在テハ全歐洲南北亞米利加タヌマニア并ニニュージーランドニ分布ス  
 本圖ハ夏時理科大學附屬植物園内ニ採集シタル標品ニ據ル

(圖解) 1 集合セル芽胞群(自然大) 2 分離セル芽胞(自然大) 3 芽胞(自然大) 4 芽胞(顯大) 5 芽胞(顯大) 6 芽胞(顯大) 7 芽胞(顯大) 8 芽胞(顯大) 9 芽胞(顯大) 10 芽胞(顯大) 11 芽胞(顯大) 12 芽胞(顯大) 13 芽胞(顯大) 14 芽胞(顯大) 15 芽胞(顯大) 16 芽胞(顯大) 17 芽胞(顯大) 18 芽胞(顯大) 19 芽胞(顯大) 20 芽胞(顯大) 21 芽胞(顯大) 22 芽胞(顯大) 23 芽胞(顯大) 24 芽胞(顯大) 25 芽胞(顯大) 26 芽胞(顯大) 27 芽胞(顯大) 28 芽胞(顯大) 29 芽胞(顯大) 30 芽胞(顯大) 31 芽胞(顯大) 32 芽胞(顯大) 33 芽胞(顯大) 34 芽胞(顯大) 35 芽胞(顯大) 36 芽胞(顯大) 37 芽胞(顯大) 38 芽胞(顯大) 39 芽胞(顯大) 40 芽胞(顯大) 41 芽胞(顯大) 42 芽胞(顯大) 43 芽胞(顯大) 44 芽胞(顯大) 45 芽胞(顯大) 46 芽胞(顯大) 47 芽胞(顯大) 48 芽胞(顯大) 49 芽胞(顯大) 50 芽胞(顯大) 51 芽胞(顯大) 52 芽胞(顯大) 53 芽胞(顯大) 54 芽胞(顯大) 55 芽胞(顯大) 56 芽胞(顯大) 57 芽胞(顯大) 58 芽胞(顯大) 59 芽胞(顯大) 60 芽胞(顯大) 61 芽胞(顯大) 62 芽胞(顯大) 63 芽胞(顯大) 64 芽胞(顯大) 65 芽胞(顯大) 66 芽胞(顯大) 67 芽胞(顯大) 68 芽胞(顯大) 69 芽胞(顯大) 70 芽胞(顯大) 71 芽胞(顯大) 72 芽胞(顯大) 73 芽胞(顯大) 74 芽胞(顯大) 75 芽胞(顯大) 76 芽胞(顯大) 77 芽胞(顯大) 78 芽胞(顯大) 79 芽胞(顯大) 80 芽胞(顯大) 81 芽胞(顯大) 82 芽胞(顯大) 83 芽胞(顯大) 84 芽胞(顯大) 85 芽胞(顯大) 86 芽胞(顯大) 87 芽胞(顯大) 88 芽胞(顯大) 89 芽胞(顯大) 90 芽胞(顯大) 91 芽胞(顯大) 92 芽胞(顯大) 93 芽胞(顯大) 94 芽胞(顯大) 95 芽胞(顯大) 96 芽胞(顯大) 97 芽胞(顯大) 98 芽胞(顯大) 99 芽胞(顯大) 100 芽胞(顯大)

○ 芽胞(顯大) 1 集合セル芽胞群(自然大) 2 分離セル芽胞(自然大) 3 芽胞(自然大) 4 芽胞(顯大) 5 芽胞(顯大) 6 芽胞(顯大) 7 芽胞(顯大) 8 芽胞(顯大) 9 芽胞(顯大) 10 芽胞(顯大) 11 芽胞(顯大) 12 芽胞(顯大) 13 芽胞(顯大) 14 芽胞(顯大) 15 芽胞(顯大) 16 芽胞(顯大) 17 芽胞(顯大) 18 芽胞(顯大) 19 芽胞(顯大) 20 芽胞(顯大) 21 芽胞(顯大) 22 芽胞(顯大) 23 芽胞(顯大) 24 芽胞(顯大) 25 芽胞(顯大) 26 芽胞(顯大) 27 芽胞(顯大) 28 芽胞(顯大) 29 芽胞(顯大) 30 芽胞(顯大) 31 芽胞(顯大) 32 芽胞(顯大) 33 芽胞(顯大) 34 芽胞(顯大) 35 芽胞(顯大) 36 芽胞(顯大) 37 芽胞(顯大) 38 芽胞(顯大) 39 芽胞(顯大) 40 芽胞(顯大) 41 芽胞(顯大) 42 芽胞(顯大) 43 芽胞(顯大) 44 芽胞(顯大) 45 芽胞(顯大) 46 芽胞(顯大) 47 芽胞(顯大) 48 芽胞(顯大) 49 芽胞(顯大) 50 芽胞(顯大) 51 芽胞(顯大) 52 芽胞(顯大) 53 芽胞(顯大) 54 芽胞(顯大) 55 芽胞(顯大) 56 芽胞(顯大) 57 芽胞(顯大) 58 芽胞(顯大) 59 芽胞(顯大) 60 芽胞(顯大) 61 芽胞(顯大) 62 芽胞(顯大) 63 芽胞(顯大) 64 芽胞(顯大) 65 芽胞(顯大) 66 芽胞(顯大) 67 芽胞(顯大) 68 芽胞(顯大) 69 芽胞(顯大) 70 芽胞(顯大) 71 芽胞(顯大) 72 芽胞(顯大) 73 芽胞(顯大) 74 芽胞(顯大) 75 芽胞(顯大) 76 芽胞(顯大) 77 芽胞(顯大) 78 芽胞(顯大) 79 芽胞(顯大) 80 芽胞(顯大) 81 芽胞(顯大) 82 芽胞(顯大) 83 芽胞(顯大) 84 芽胞(顯大) 85 芽胞(顯大) 86 芽胞(顯大) 87 芽胞(顯大) 88 芽胞(顯大) 89 芽胞(顯大) 90 芽胞(顯大) 91 芽胞(顯大) 92 芽胞(顯大) 93 芽胞(顯大) 94 芽胞(顯大) 95 芽胞(顯大) 96 芽胞(顯大) 97 芽胞(顯大) 98 芽胞(顯大) 99 芽胞(顯大) 100 芽胞(顯大)

明治三十二年三月廿五日

○第十四圖版

柴田桂太著

Plate XIV.

By K. Shibata.

うちはちゅうちんこけ

*Mnium punctatum*, Hedw. (Sp. Musc. p. 193.)

(屬所) 蘚類 MUSCI. 提灯苔科 MNIEAE.

子囊ハ長柄ヲ有シ、卵圓乃至長橢圓形ニシテ、長サ五、ミ、メニ至ルモノアリ、概點頭ス、蓋ハ圓錐形ニシテ、短嘴ヲ具ヘ、小ナル笠ヲ戴ク、外縁齒ハ十六個、披針形ニシテ尖レリ、内縁齒ハ同數ニシテト交互ニ、橙黃色ニシテ各齒ノ間ニ二若クハ三個ノ纖絲(Cilia)ヲ見ル、胞子ハ橢圓形ニシテ、緑褐色ナリ、雌雄異株ニシテ、莖ハ直立シ、高サ概一、五、セ、メ許新芽ハ常ニ其下部ヨリ生ズ、葉ハ廣クハ圓形若クハ橢圓形、微尖アリ、莖頂ニアルモノハ較大ニシテ倒卵形、數個相簇リテ總苞狀ヲナス、葉緣ハ太クシテ鋸齒ヲ缺ク、中肋ハ時ニ尖端ニ達シ、時ニ其下ニ終ル、葉ノ色ハ濃緑ニシテ、纒ニ光澤アリ、但葉緣ト中肋トハ赭色ヲ呈ス、葉ノ細胞ハ略六角形ヲナセ、葉脚ニアルモノハ較長シトス、子囊ハ二月ノ頃成熟ス。



(明治三十三年三月廿五日)

○第十五圖版  
Plate XV.

理學士 白井光太郎著  
By M. Shirai.

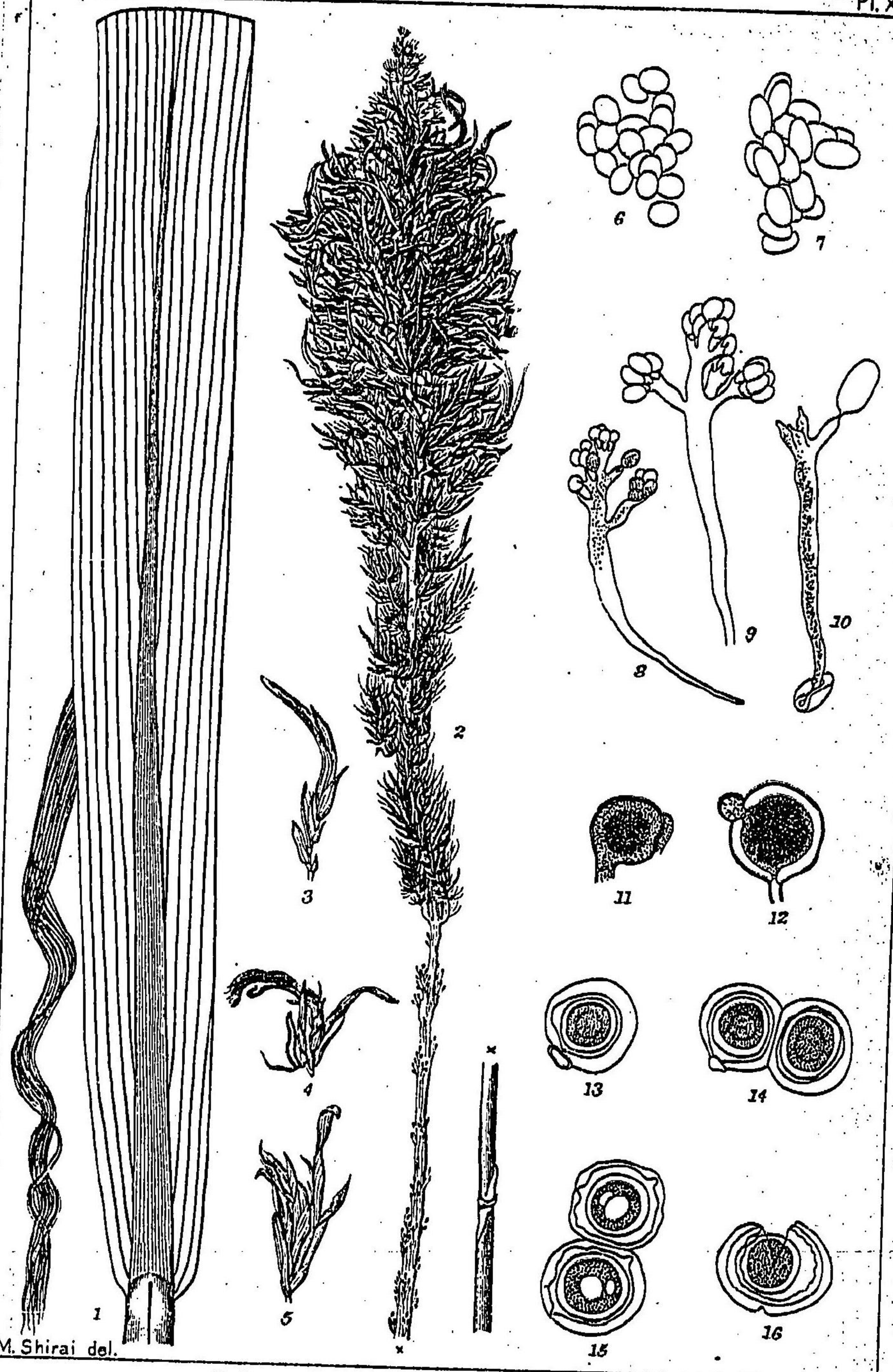
あはのさゝら病菌

*Sclerospora graminicola*, Schroet. (Krypt. Flor. Schles. p. 236.)

(各属) *Peronospora graminicola*, Sacc. (in Michelia II. p. 586.)

(圖所) 菌類 FUNGI. 藻菌族 PHYCOMYCETES. べん病菌科 PERONOSPORACEÆ.

菌絲ハ寄生ノ葉莖花部等ノ細胞間隙ニ蔓延シ細小粒狀ノ吸器ヲ具シ其コニデヤ芽胞ノ結實  
枝ハ綠葉ノ下面ニ出テ一呼吸孔ヨリ通例一莖稀ニ數莖ヲ叢生シ莖端若干枝ヲ分チ更ニ分岐  
シテ枝梢ニハ二種若クハ三種ヲ分出シ其極短直ニシテ先尖リ尖端ヨリコニデヤ芽胞ヲ分生ス  
結實枝ハ頗ル凋萎シ易シ其長矢抵一〇〇乃至二四〇 $\mu$ 其幅一二乃至一九 $\mu$ アリ芽胞ハ卵  
圓若クハ橢圓ニシテ短小ナルハ長二四乃至二八 $\mu$ 幅一九二乃至一六八 $\mu$ 長大ナルハ長三八四  
乃至五七六 $\mu$ 幅一九二乃至二四〇 $\mu$ アリテ歐洲産ヨリヤ、大ナリ  
卵芽胞ハ葉ノ莖頭ノ變色葉及花穂ノ變形鱗片ノ細胞間隙ニ生シ其數甚夥シテ一葉中ニ生ズ



M. Shirai del.

*Sclerospora graminicola*, Schrt.

此總數大概三百萬ニ下ラズ卵芽胞ハ三層ノ被膜ヲ具ス其中外部ノ一層ハ藏卵器ノ膜ト卵芽  
 胞ノ膜ト合着シテ成リタルモノナリ卵芽胞ノ直徑ハ三三六乃至五七六ミクリ  
 此菌ハ粟稗等ニ寄生シ、ら病又でずほ病ト稱スル恐ルベキ病害ヲ起スモノニシテ本邦ノ  
 各地ニ蔓延シ年々非常ノ損害ヲ被ラシムルモノナリ其損害ハ屢收穫ノ過半ニ及ビ其甚シキ  
 場合ニハ殆ンド收穫皆無ノ慘狀ヲ呈スルニ至ル、ら病ノ名ハ神奈川縣下藤澤在ニテ呼ブ  
 所ニシテ病害ノ漸次細分シテ、ら狀ヲナスヲ形容セルモノナリ此病菌ノ寄生ヲ受ケタル  
 粟ハ其花穂變シテ畸形ヲナシ又ハ全ク穂ヲ出サズシテ枯死ス此病菌ハ卵芽胞ニヨリテ越年  
 シ翌年發生シテ更ニ粟ノ新苗ニ寄生スルモノナレバ同地ニ連作セザレバ之ヲ豫防スルヲ得  
 ベキナリ

(圖解) 1 病葉(自然大) 2 花穂(自然大) 3, 4, 5 變形セル花(三倍) 6, 7, 8 卵芽胞(原大) 9, 10 卵芽  
 胞(原大) 11 幼嫩ナル卵芽胞(原大) 12 幼嫩ナル卵芽胞(原大) 13, 14, 15 成熟セル卵芽胞(原大) 16 成熟セル卵芽  
 胞(原大) 17 卵芽胞(原大) 18 卵芽胞(原大) 19 卵芽胞(原大) 20 卵芽胞(原大)

〇 第十五圖版  
 Sclerospora graminicola, Schrt.



(明治三十一年三月廿五日)

○第十六圖版

Plate XVI.

理學博士 三好 學 著

By M. Miyoshi.

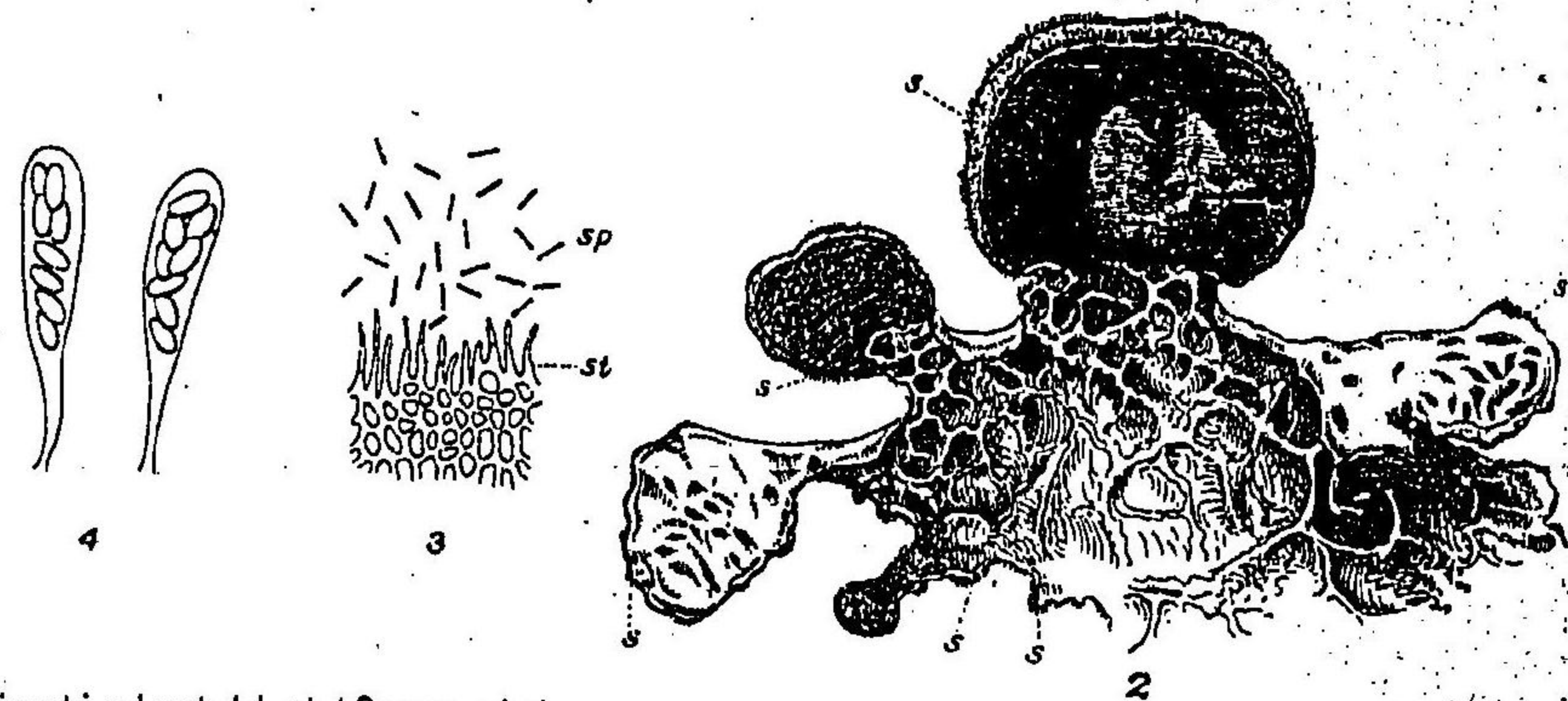
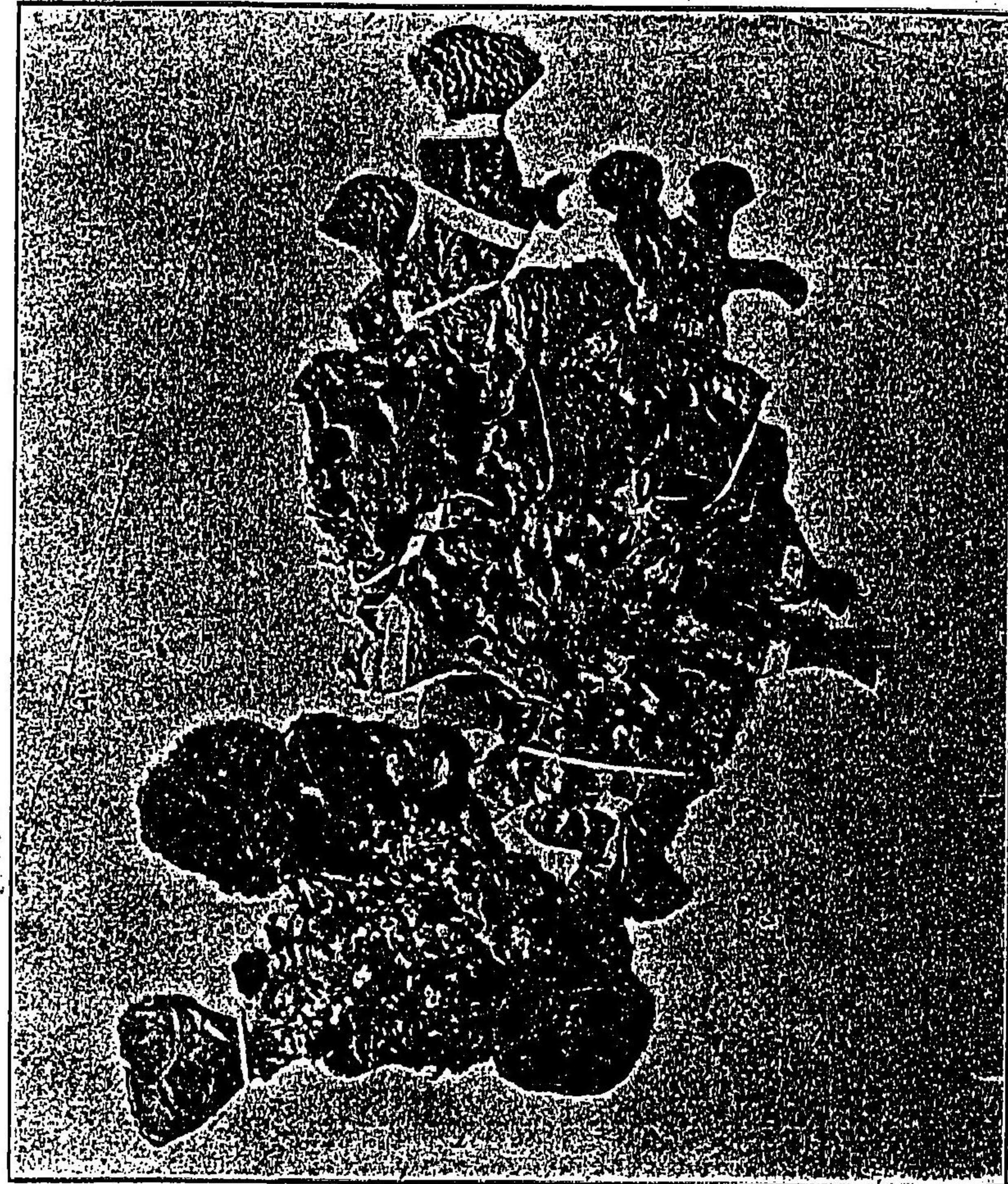
あはびこけ

*Cetraria ornata*, Mill. Arg. (Lich. Miyos. no. 42.)

(屬所) 地衣類 LICHENES. 苔珊瑚科 RAMALINEAE.

全體葉狀、硬厚革質、表面枸櫞色若シクハ、帶綠黃色、滑澤ニシテ光輝アリ、處々ニ小溝狀ノ陷落ヲ有ス、全體數多ノ裂片ニ分岐シ、各片長ニ乃至五仙迷、幅一乃至二仙迷、裏面黑褐色、黑色ノ毛茸ヲ以テ蔽ハル、子器ハ裂片端ノ裏面ニ着キ、稍、橢圓形ヲ呈シ、表面栗色、邊緣黑色、長徑一乃至三仙迷ニ及ブ、子囊ハ棍棒狀、八子ヲ容ル、孢子ハ單胞、無色、橢圓形、長八、ミユ、幅四、ミユ、雄器ハ細微ナル黒線狀ヲ呈シ、葉狀體及ビ子器ノ邊緣ニ着生ス、雄子ハ小桿狀ナリ、  
(產地) 該地衣ハ本邦深山ノ樹皮ニ附着シ、其葉狀體ノ枸櫞色ナルト子器ノ著大ナルトニヨリ容易ニ認識シ得ベシ、

本圖ニ示スモノハ下野國日光山中ニ於テ採集セルモノナリ、



M. Miyoshi ad nat. del. et I. Ogawa. phot.

*Cetraria ornata*, Müll. Arg.

岩藻目 地衣科

(圖解)  
 1 實物  
 2 柱物  
 3 體部(縮小)  
 4 雄器(縮小)  
 5 葉狀體  
 6 子部表面及胞子(大)  
 7 雄器(縮小)

(明治三十二年三月廿五日)

○第十七圖版

Plate XVII.

理學博士 松村任三 著

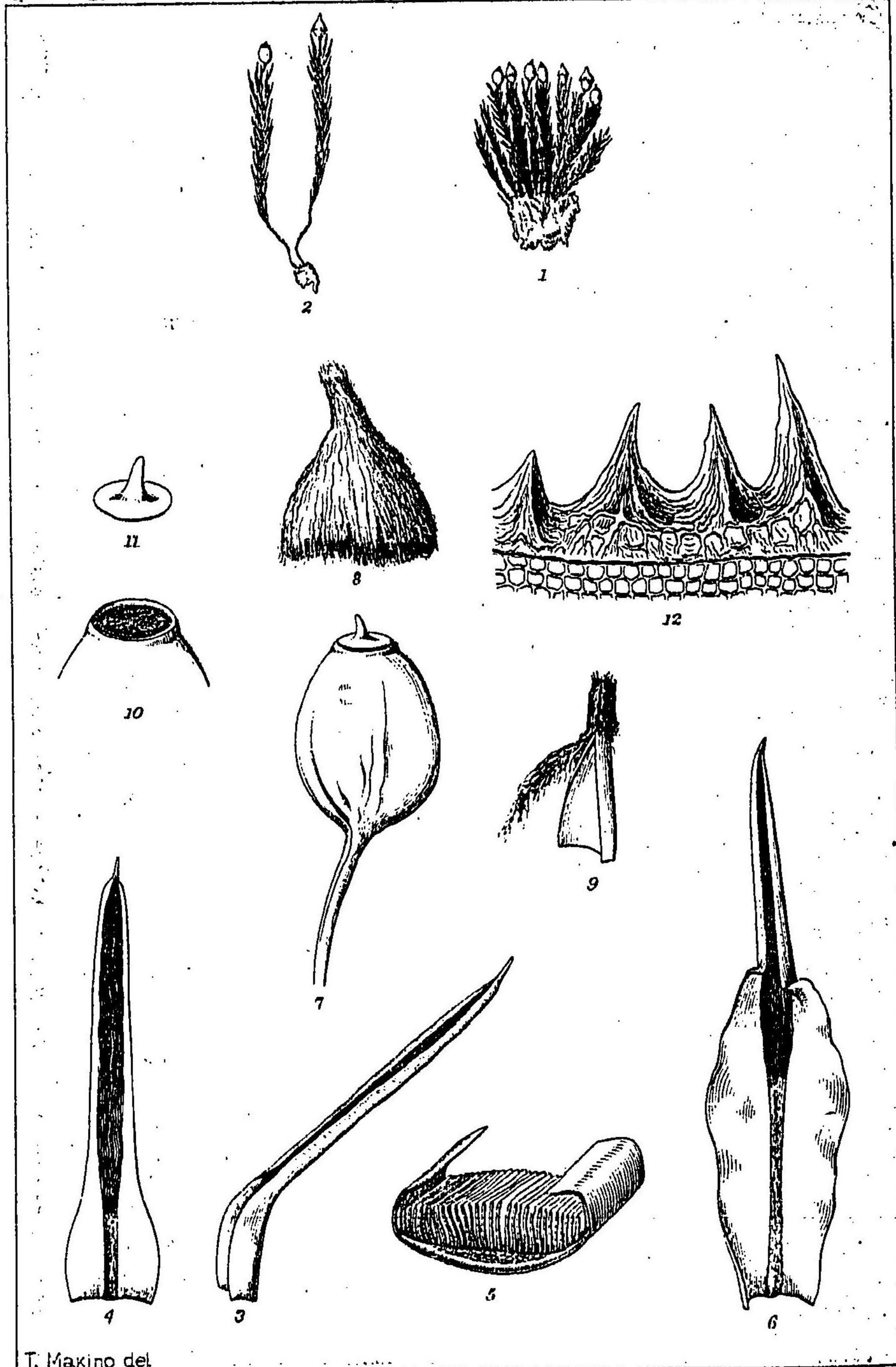
By J. Matsumura.

たかねすぎこけ

*Pogonatum spherothecium*, Besch. (in Ann. Sc. Nat. XVII. 1893, p. 353.)

(屬所) 蘚類 MUSCI. 土馬騾科 POLYTRICHEAE.

本邦ノ高山ニ産スル小苔ナリ雌雄異株ニシテ高サ二十乃至二十五「ミリメ」許一處ニ叢生スル  
 コト(1)ニ於ケル全圖ノ如シ本ノ方ノ葉ハ幅闊クシテ鱗ノ如ク中葉ハ細長ニシテ唯本ニノミ  
 卵形ヲ呈シ頂ニ針ノ如キ尖アリ通例葉縁内ニ卷ク上面ニ二十五乃至三十個ノ薄板アリテ密  
 ニ縦走ス其断面ヲ見ルコト(5)ノ如シ  
 總苞ヲ成スノ葉ハ其本中葉ヨリモ闊ク薄板ハ上半ニノミアリ(6)ノ如シ蒴ハ略卵圓形ニシテ  
 蓋ニ短嘴アリ蒴口ノ齒ハ短クシテ鋭ク而シテ長短不同ナリ  
 「ベシニール」氏曰ク蒴柄ノ短キト葉ニ鋸齒ナキトハ此屬中他ニ比類ナキ所ナリト而シテ此處  
 ニ圖セルモノハ今ヲ距ル十八年前富士ノ頂上ニ於テ採集セルモノナリ又佛人「フョオリ」氏ハ十



T. Makino del.

*Pogonatum sphaerothercium*, Besch.

たかぬすぎびけ

三年前之レヲ陸奥ノ岩木山ニ採レリ

(圖解)  
 示個日薄 1ハ全圖 5ハ2  
 スサリ板 ノルノハ 10ハ大形  
 毛麻生ノ大ズ在ノルルナシ  
 ナシテノナシテノナシテノナシ  
 狀示ハ2ハ大形ノ全シモ  
 口ハ横形ノ全シモ  
 小全シモ  
 齒體ヲノ  
 ナチ麻○  
 生麻大○  
 ズ大スハ  
 ルスル申  
 全○モ葉  
 圖8ノニ  
 麻毛ナシ  
 大茸リテ  
 ○笠○邊  
 11ヲ6緣  
 筋織ハノ  
 上フ總内  
 ノノ苞卷  
 蓋狀チス  
 ヲ成ル  
 麻○ス狀  
 大毛ノ○  
 シ茸茸4  
 テチ申ハ  
 示除央上  
 ス法ニ面  
 ○シ脈ニ  
 12ヲア薄  
 口織リ板  
 齒ニ上チ  
 ノ笠半生  
 數頂ニズ

(明治三十二年六月廿五日)

○第十八圖版

Plate XVIII.

理學士 安田篤著  
By A. Yasuda.

かむりたけ

*Mitrella phalloides*, Chev. (Par. p. 114.)

(名異) *Clavaria phalloides*, Bull. (Champ. p. 214, t. 463, f. 3.) — *Mitrella pulchosa*, Fr. (Syst. Myc. 1. p. 491.)

(場所) 菌類 FUNGI. 囊菌門 ASCOMYCETES. かむりたけ科 GYOGLOSSACEAE.

かむりたけハ獨逸ノ方言ニテ之ヲ「Lindenschitz」ト云フ、明治三十二年五月二日、之ヲ陸前國仙臺  
龜岡ニ得タリ、此菌ハ湿地ニ於ケルまつノ葉ノ腐敗シタル者ヨリ生ジ、決シテ孤雌スルコトナ  
ク、常ニ簇生シテ束狀ヲ爲ス、高サ平均三「セ、メ」、帽部ト柄トヲ具ヘ、帽部ハ柄ヨリ明カニ區劃セラ  
レテ、鮮美ナル橙黃色ヲ帯ビ、通常卵形ヲ呈ス、小ナル者ハ、長徑三「ミ、メ」、短徑二「ミ、メ」、ニ過ギズト雖  
ドモ、大ナル者ニ至テハ、長徑一〇「ミ、メ」、短徑七「ミ、メ」、アリ、帽部ノ表面ハ平滑ニシテ、全面ハ子囊層  
(Hymenium) ヨリ成リ、隨テ子囊ハ全ク裸出セリ、柄ハ垂直ニシテ、上ニ帽部ヲ戴キ、白色ヲ呈ス、小



○第十九圖版

Plate XIX.

理學士 白井光太郎 著

By M. Shirai.

しゅうろ

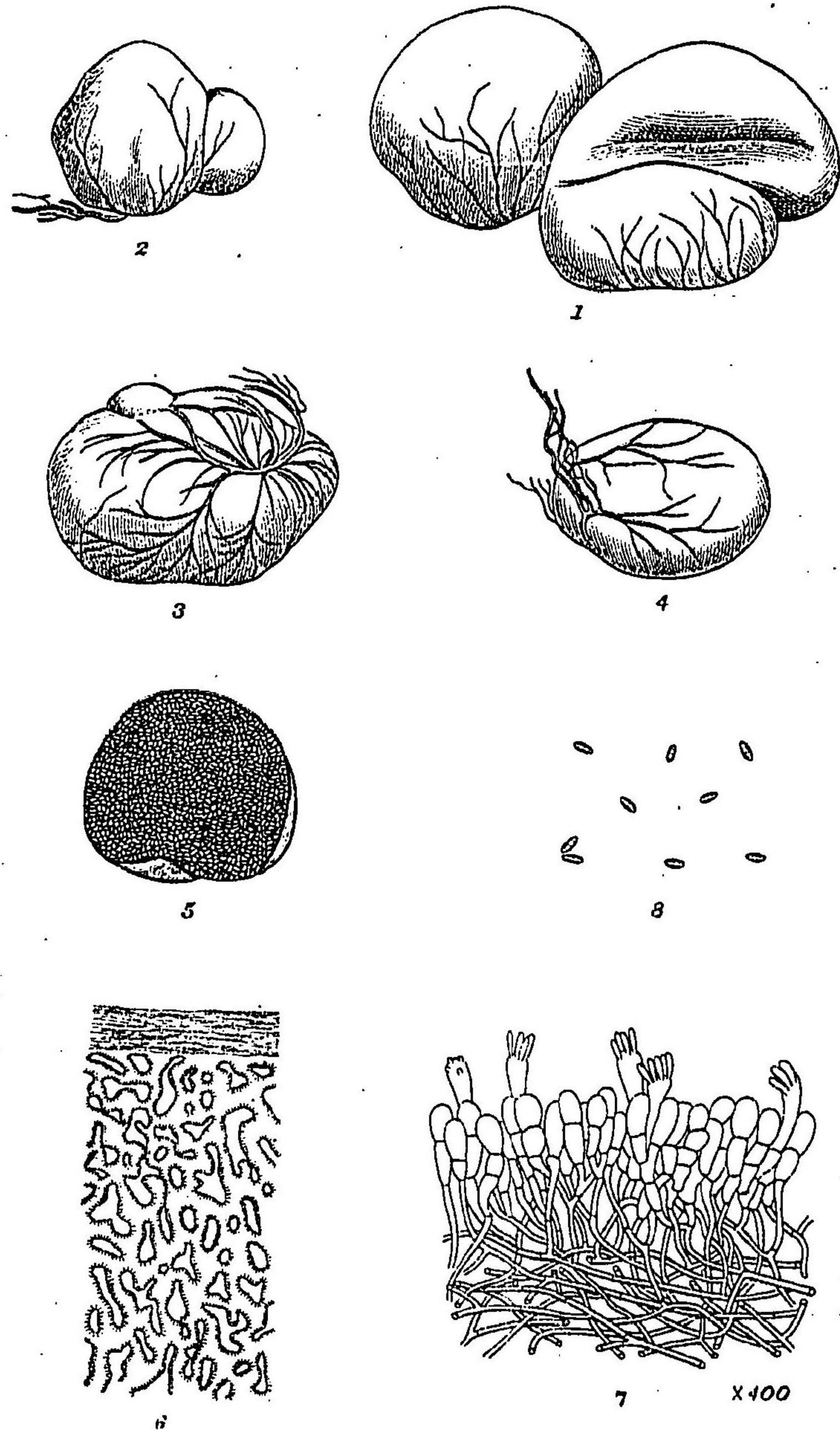
(異名)ほゞ 駿州三保

*Rhizopogon rubescens*, Tul. (Fungi Hypog. p. 89, t. II. f. 1, et t. XI. f. 4.)

(場所) 菌類 FUNGI. しゅうろ科 HYMENOGASTRACEAE.

形状大小種々ニシテ大ナル者ハ六センチメートルニ達ス初メ白色空氣中ニ出セバ紅色ヲ發  
ス老熟セル者ハ灰黄色若クハ暗褐色ニシテ根狀ヲナシタル菌絲ノ細線アリテ其外ヲ纏ヘリ  
外皮(Peridium)ハ甚薄ニシテ往々破裂シテ内部ノ露ハル者アリ髓質(Gleba)ハ種々ニ屈曲セ  
ル多數ノ空房ヨリ成リ初メ白色後ニ暗褐色トナリ遂ニハ軟化シテ流出シ外皮ノミ殘留スル  
ニ至ル芽胞ハ一擔子囊毎ニ二乃至八ヲ生ズ長橢圓形ニシテ兩端尖リ長ツ七<sup>乃至</sup>九<sup>乃至</sup>ミ巾三<sup>乃至</sup>ミ  
アリ

四五月ノ候海邊及内地松樹下ノ砂壤中ニ生ズ土中ニアル者ハ白色土ヲ出ヅル者ハ淡褐色採  
テ暫クスレバ皮ニ紅色ヲ發ス新稚ニシテ内部ノ純白色ナル者ヲこめしゅうろト云フ一名もち



M. Shirai del.

Rhizopogon rubescens, Tul.

しょうろ一名ねばりしょうろ最食用ニ佳ナリ其稍老タル者ハ内部黄褐色トナル之ヲむぎしょうろ  
 又あはしょうろト云フ味純白ノ者ニ劣ル其久シキヲ經タル者ハ内部黄黑色ニ變ジ軟化シテ食  
 フ可ラズ本邦産ノ者ハ其尙新稚ナル者ハ味甘美ニシテ諸處名品アリ然ルニ歐洲産ノ者ハ味  
 香美ナラズト云フ是風土ノ異ナルニ由ルカ或ハ種類ノ異ナルニ由ルカ未ダ詳ナラズト雖ド  
 モ然ドモ形状ノ記載ハ全ク相一致スルヲ以テ姑ク此羅丁名ヲ充ツ

歐洲西部利亞北米合衆國等ニ分布ス

(圖解) 1, 2, 3, 4 ハ天然形 ○ 5 ハ縱断面ニシテ即チ髓質ヲ示ス ○ 6 ハ同断面ノ  
 一部ヲ擴大シテ示ス ○ 7 ハ擔子囊ノ群集ヲ示ス四百倍 ○ 8 ハ芽胞廣大



○第二十圖版

Plate XX.

三宅 驥一 著

By K. Miyake.

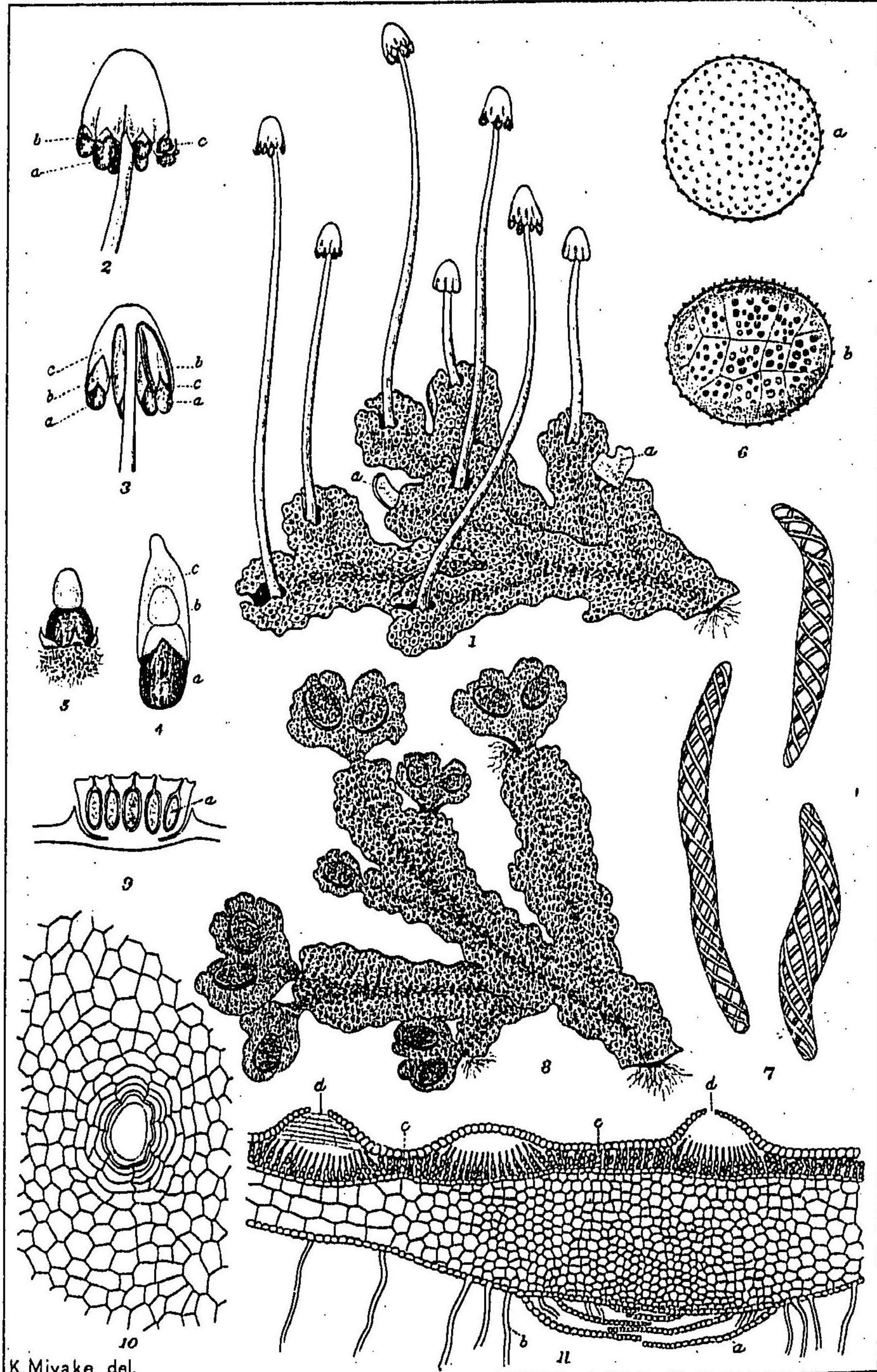
じせいのけ

*Conocephalum conicum*, Necker (Elem. bot. III. p. 344.)

(名異) *Marchantia conica*, Linn (Sp. pl. p. 1604.)—*Pegedalu conica*, Raddi (in Opusc. se II. p. 356)

(屬所) 苔類 *HEPATICEAE*. 地鏡科 *MARCHANTIACEAE*.

葉狀體ハ扁平ニシテ大ナリ、表面ハ蛇鱗又ハ網眼ニ似タル紋アリ、此菱形小眼ノ中ニ各一個ノ小點存スルアルヲ見ル是レ即チ氣孔ナリ、此種通例無性芽 (*Vegetative*) ヲ生ゼズ、而シテ表面ノ表皮層下ニハ短棒狀ニ相連結シ以テ葉綠粒ヲ有スル細胞ノ層アリ、又氣孔ノ部ニ於テハ表皮特ニ凸起シテ以テ其直下ニ多少ノ空腔ヲ生ゼリ、腔内ニハ綠色ノ細胞絲アリテ其先端ニ各德利形ノ無色細胞ヲ着ク、雌雄異株ニシテ雌器體ハ圓錐形ヲナシ其下底部ニ雌器ヲ生ズ、雌器受精シテ子囊體ヲ生ジ而シテ其胞子成熟スルヤ乃チ白色ノ長柄ヲ生ジテ高ク葉狀體ノ上ニ抽出ス、柄頂通例五乃至八ノ子囊體ヲ着ク、子囊體ハ各一個宛ノ包膜 (*Involucre*) ニヨリテ包マレ、外被



Conocephalum conicum, Necker.

膜 (Perianth) ヲ闕ク、子囊體 (Sporogonium) ハ、稍長橢圓形ニシテ黒褐色ノ子囊ト白色ノ短キ柄トヨ  
 リ成リ成熟スルニ及ンデ柄ハ容易ニ母體ヲ離レ圖中 (4) ニ示セル如ク内被膜 (Endothecium) ニヨリ  
 テ支ヘラレタルマ、其外方ニ突出シ後其先端破裂シテ内部ノ孢子ヲ飛散セシム (5) 孢子ハ大  
 ニシテ其外膜ニ多クノ小山起アリ而シテ飛散セザル前ニ於テ既ニ數個ノ細胞ニ分列ス (6) 彈  
 絲ハ太クシテ短シ、雄器體ハ雌性植物ノ新芽ノ先端ニ橢圓盤狀ヲナシテ生ズ  
 此植物ハ山野ノ湿地、水邊ノ岩石等ニ生ジ本邦到ル處ニ之ヲ見ザルハナシ世界ニ於ケル分布  
 ハ頗ル廣クシテ宛モせに (7) (Marchantia polymorpha, Lim. 第九圖版) ニ於ケルガ如シ、而シテ葉狀  
 體表面ノ菱形區劃更ニ大ナルモノアリ是レ蓋シ本種ノ一品 (Form) ト見做スベキモノナルベ  
 シ  
 雌雄ノ生殖器ハ本邦中部ニ於テハ初夏ノ候ニ發育シ子囊體ハ三月下旬ヨリ四月初旬ノ頃ニ  
 成熟ス  
 該屬中本種ノ外更ニ一種アリひめしこげト云フ本邦及ビ支那ニ産ス

(圖解)  
 1 雌雄器體ノ植物體ノ熱熱個ノ上雄器體ノ被膜斷面ハ示ス  
 2 雌雄器體ノ植物體ノ熱熱個ノ上雄器體ノ被膜斷面ハ示ス  
 3 雌雄器體ノ植物體ノ熱熱個ノ上雄器體ノ被膜斷面ハ示ス  
 4 雌雄器體ノ植物體ノ熱熱個ノ上雄器體ノ被膜斷面ハ示ス  
 5 雌雄器體ノ植物體ノ熱熱個ノ上雄器體ノ被膜斷面ハ示ス  
 6 雌雄器體ノ植物體ノ熱熱個ノ上雄器體ノ被膜斷面ハ示ス  
 7 雌雄器體ノ植物體ノ熱熱個ノ上雄器體ノ被膜斷面ハ示ス  
 8 雌雄器體ノ植物體ノ熱熱個ノ上雄器體ノ被膜斷面ハ示ス  
 9 雌雄器體ノ植物體ノ熱熱個ノ上雄器體ノ被膜斷面ハ示ス  
 10 雌雄器體ノ植物體ノ熱熱個ノ上雄器體ノ被膜斷面ハ示ス  
 11 雌雄器體ノ植物體ノ熱熱個ノ上雄器體ノ被膜斷面ハ示ス

(明治三十二年九月十三日)

○第二十一圖版

Plate XXI.

理學博士 松村 任三 著

By J. Matsumura.

ぢやばすぢやばすけ

*Pogonatum Otaruense*, Besch. (in Ann. Sc. Nat. XVII. p. 352.)

(屬所) 蘚類 MUSCI. 土馬騾科 POLYTRICHEAE.

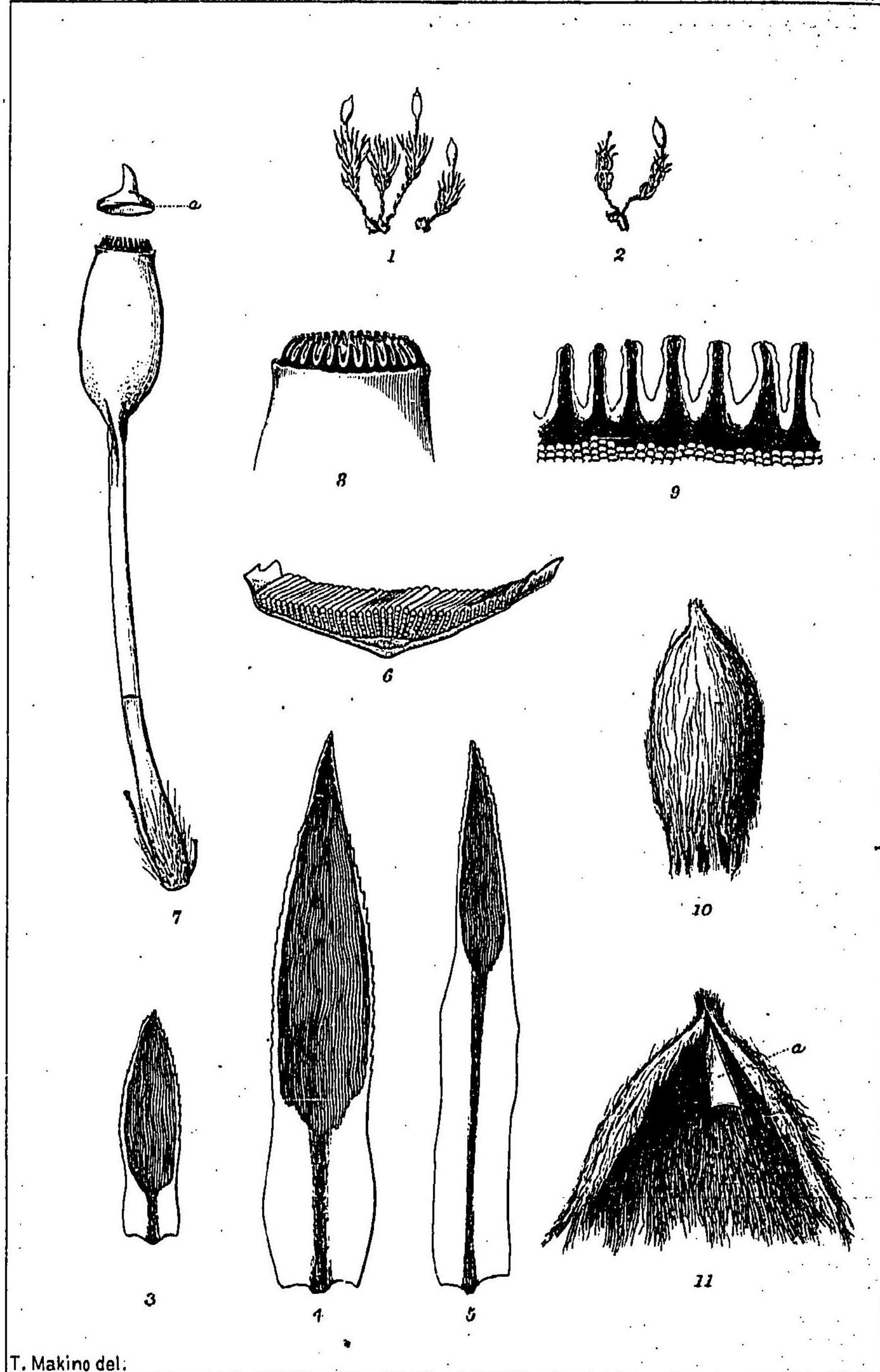
此苔ハ雌雄異株ニシテ叢生スレモ密ナラズ葉ハ略長楕圓披針狀ニシテ銳頭邊緣ニ細鋸齒アリ表面ニ許多ノ薄板アリ其數凡ソ四十許中央ニ一條ノ脈アリ平滑ナリ苔萌ハ楕圓形ニシテ表面ニ粟粒アリ

此苔ハ佛國ノ宣教師「フオリ」氏西曆一千八百八十六年十二月廿八日北海道小樽ニ於テ採集シタルヲ以テ「ベシユレール」氏之ニ「オタル」エンセン種名ヲ命ゼシナリ

茲ニ圖セルモノハ野州日光裏見ノ瀧附近ニ於テ採集セルモノニシテ全草ノ大サ僅ニ十三ミリメ許アリ頗ル矮小ナルヲ以テ「ぢやばすぢやばすけ」ノ名ヲ命ゼリ

(圖解)

1ハ水中ニ浸シテ葉ヲ展開セルモノ○2ハ乾燥ノ状態ニシテ葉背内ニ卷リ○3ハ葉ヲ除去シテ中葉○5ハ上葉○6ハ葉ヲ横斷シテ其上面ニ薄板ヲ密生スル狀ヲ示ス○7ハ葉ヲ除去シテ



T. Makino del.

*Pogonatum otaruense*, Besch.

オタルウシマ

示帽  
 ステ  
 線苔  
 樹ノ  
 麻大  
 シ示  
 テス  
 示雌  
 ヌ本  
 ○サ  
 リル  
 縁ガ  
 齒ノ  
 ニ此  
 本ニ  
 麻大  
 ミ織  
 ヲ器  
 示三  
 ヌ個  
 ○許  
 10ヲ  
 存ス  
 ルヲ  
 見ル  
 ○11  
 ハ毛  
 ナリ  
 割キ  
 ○8  
 ハ不  
 整形  
 ノノ

○第二十二圖版

Plate XXII.

連環博士 三好 學 著

By M. Miyoshi.

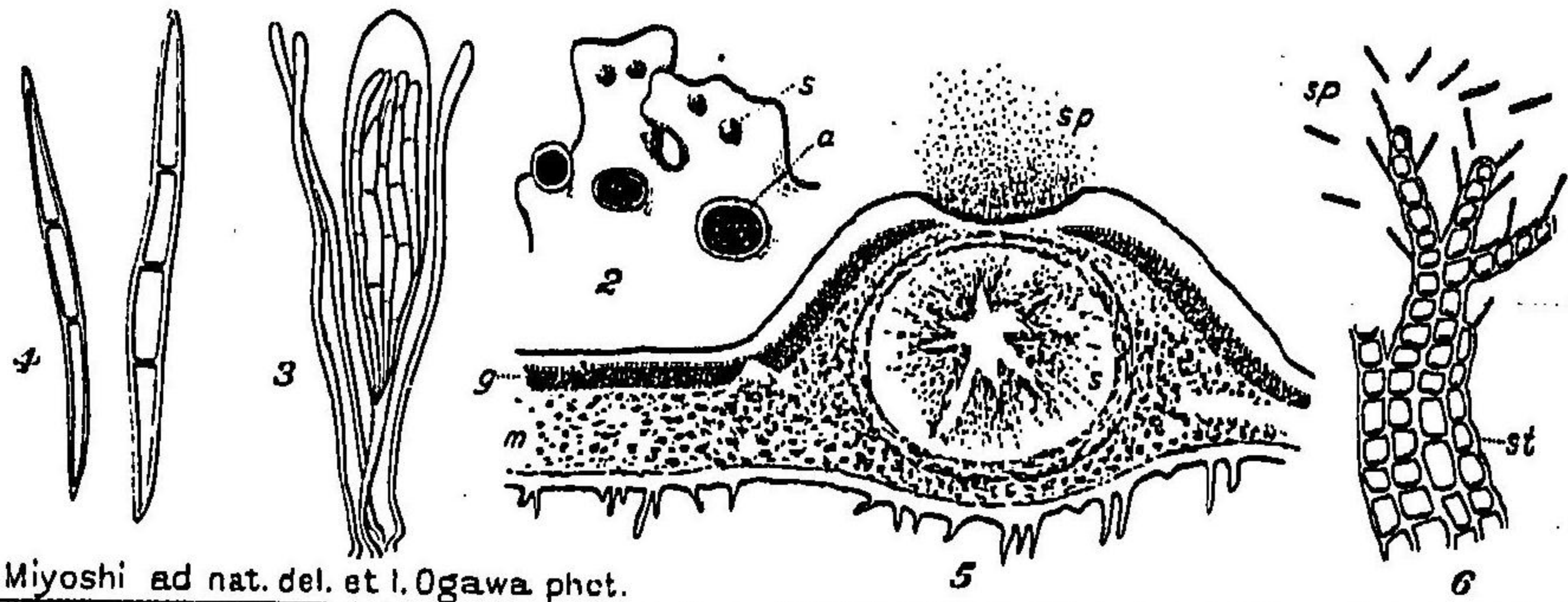
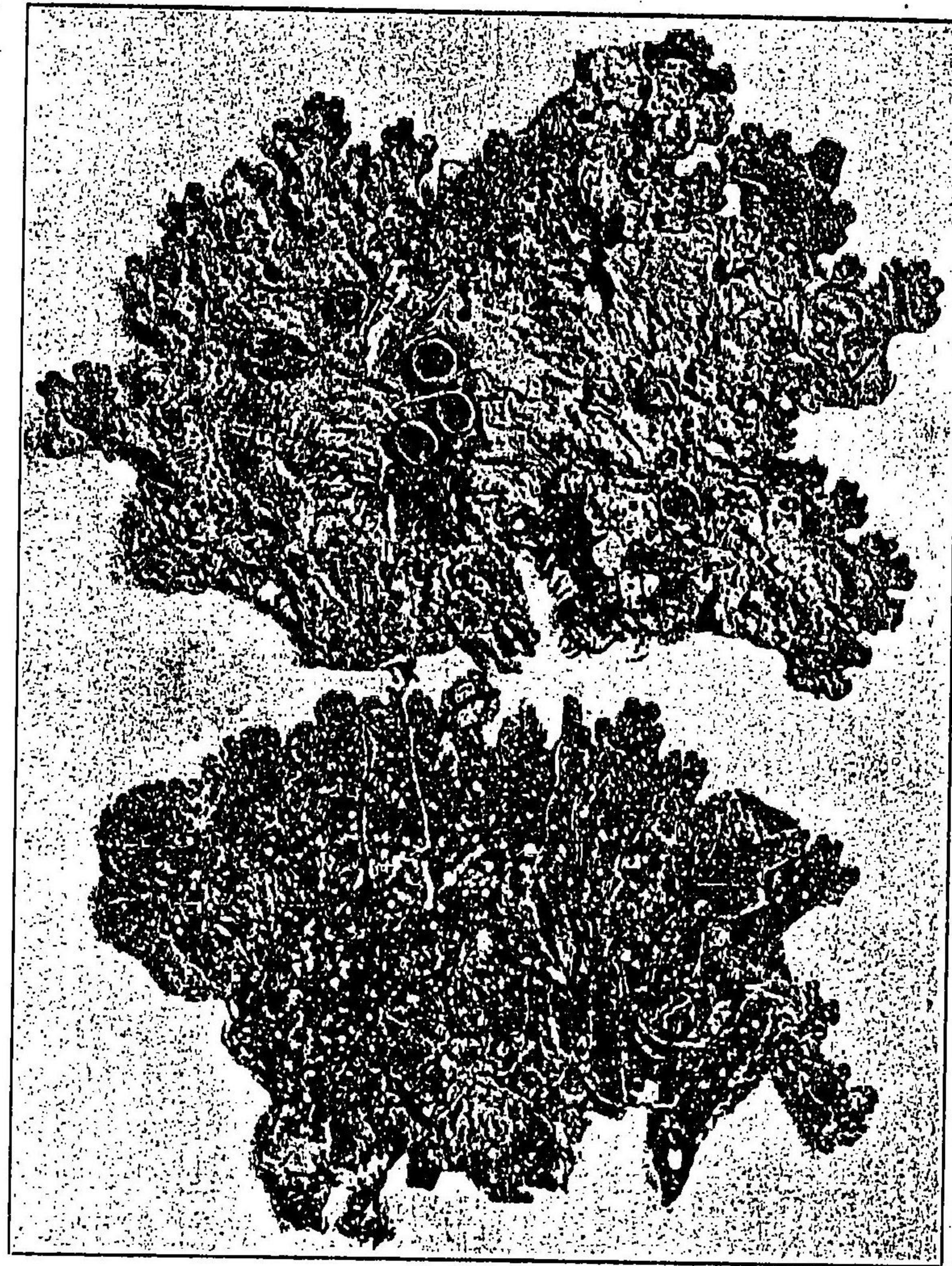
よろひこけ

*Sicta Miyoshiana*, Mill. Arg. (Lich. Beitr. XXXIV. No. 1596.)

(屬所) 地衣類 *LICHENES.* 梅樹地衣科 *PARMELIACE.*

全體葉狀、扁平、長幅共ニ二十仙迷以上ニ及ン、強硬革質、邊緣ハ出入分裂シテ幾多ノ枝片ヲ成ス、各枝片ハ邊緣波狀、先端凹入幅一仙迷、長サ四仙迷ニ達ス、表面帶綠褐色、滑澤、屢微皺ヲ具フ、裏面ハ細毛密生、葉狀體ノ中央部ニ於テハ暗黒色ナレドモ、邊緣部ニテハ淡褐色ヲ呈ス、數多ノ白色歪點(Cyphella)アリ、葉狀體ノ裏面全部ニ散布ス、

子器ハ葉狀體ノ表面ニ散布シ、特ニ枝片部ノ凹入セルトコロニ多シ、盤狀ニシテ邊緣ヲ有シ、斜ニ基底部ニ着生ス、盤徑六密迷ニ及ビ、赤褐色、線狀體ハ單一、子囊ハ棍棒狀、胞子八、無色、紡錘狀、四胞ニ分カタル、長徑九、ミユ、短徑六、ミユ、雄器ハ枝片體ノ周邊ニ多ク散布シ、小疣狀ヲ成シ、頂端ニ暗黒色ノ小孔ヲ有ス、雄子ハ針狀、支柱體ノ角隅ニ着生ス、



M. Miyoshi ad nat. del. et I. Ogawa phot.

*Sticta Miyoshiana*, Müll. Arg.

該地衣ハ葉狀體ノ裏面ニ數多ノ白色孟點ヲ有スルニヨリ最モ著ルシ其他葉狀體ノ表面ノ平滑ニシテ區劃ナキコト及ビ雄器ノ著大ナルコトニヨリ一見かぶとどけ(第二圖版)ト區別シ得ベシ。

本邦中央部及ビ東北諸高山ノ樹皮ニ着生ス、本圖ニ示スモノハ日光字光徳ニ於テ採集セル標品ナリ、

(圖解) 1 實物寫眞(實物大) 2 葉狀體ノ一部(實物大) 3 雄器ノ一部分(實物大) 4 雄器ノ一部分(實物大) 5 雄器ノ一部分(實物大) 6 雄器ノ一部分(實物大)

(明治三十二年七月廿日)

○第二十三圖版  
Plate XXIII.

理學博士 岡村金太郎著  
By K. Okamura.

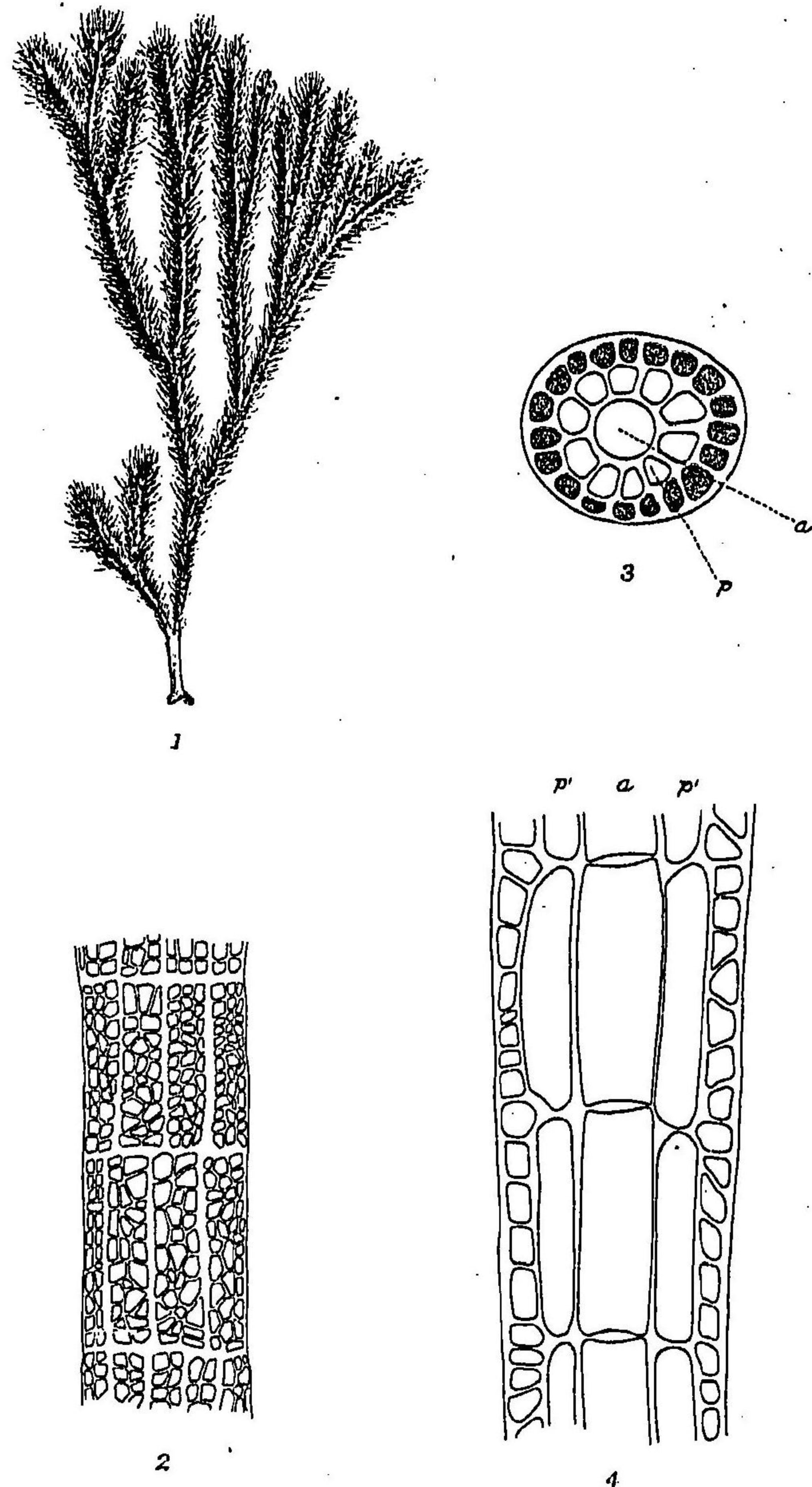
まぐり (異名)かいにんまう

*Digenea simplex*, Ag. (Sp. Alg. II. p. 845; Hauck Meeresalg. p. 215, fig. 93.)

(名異) *Digenea Matseni*, Kuetz Phyc. gener. tab. 50. II; Id. Sp. Alg. p. 841.)

(屬所) 藻類 ALGÆ. 紅藻門 RHODOPHYCEÆ. 「ローヤラ」科 RHODOMELACEÆ.

(形状) 體ハ圓柱狀ニシテ不規則ニ又狀ニ分岐シ高サ五乃至二五センチ、莖ノ太サ二乃至三センチニシテ上部僅ニ細シ根ハ圓形ノ吸盤狀ヲナス體ハ全面ニ硬キ毛ノ如キ小枝ヲ密生シ只下部ノミ裸出ス、四分胞子ハ小枝ノ上部ニ僅カ集リ生シ球狀ニシテ三角錐様ニ分裂ス、囊果モ亦小枝ノ頂部ニ二三集リ生シ卵圓形ナリ、體ハ硬クシテ紙ニ附着セズ、色ハ紫紅色又ハ綠色ナリ  
(造構) 體ノ造構ハ小枝ヲ以テ能ク知ルヲ得ヘシ、小枝ハ中央ニ一條ノ中軸(第三、四圖)アリテ其周圍ニ數條ノ同心管(第三、四圖)アリテ中軸ト同長ナリ、皮層細胞一層アリテ之ヲ蔽フ其配置ノ狀第二圖ニ於ケルガ如シ、莖ノ造構モ之ト同様ナレモ同心管ノ外部ヲ蔽フ所ノ皮層細胞甚



K. Okamura del.

*Digenea simplex*, Ag.

多ク數層ヲナスヲ以テ造構明ナラザル如キノミ  
 (產地琉球諸島一尋以内ノ岩石珊瑚等ニ生ズト云フ又土佐柏島牧野氏ノ言ニヨル日向島ノ浦  
 島ニモ産ス  
 (分布) 大西洋ノ熱帶部地中海及ビアドリアチック海印度洋紅海西印度北米熱帶部  
 此種ハ小枝ノ密ニ生ズルヲ以テ容易ニ知ルヲ得ベシ本邦古來ノ俗トシテ初生ノ兒ニまくり  
 ト稱スル煎藥ヲ服サシメ以テ殺蟲劑トナスまくりハ此植物ト大黃甘草等ヲ加味シタルモノ  
 ナリト云フ

(圖解) 1 全形(自然大) 2 小枝ノ表面ノ様子 3 小枝ノ横  
 断面 4 中軸 5 周心管 6 同上ノ縱断面 7 同上



(明治三十二年七月十九日)

○第二十四圖版  
Plate XXIV.

理學士 白井 光太郎 著  
By M. Shirai.

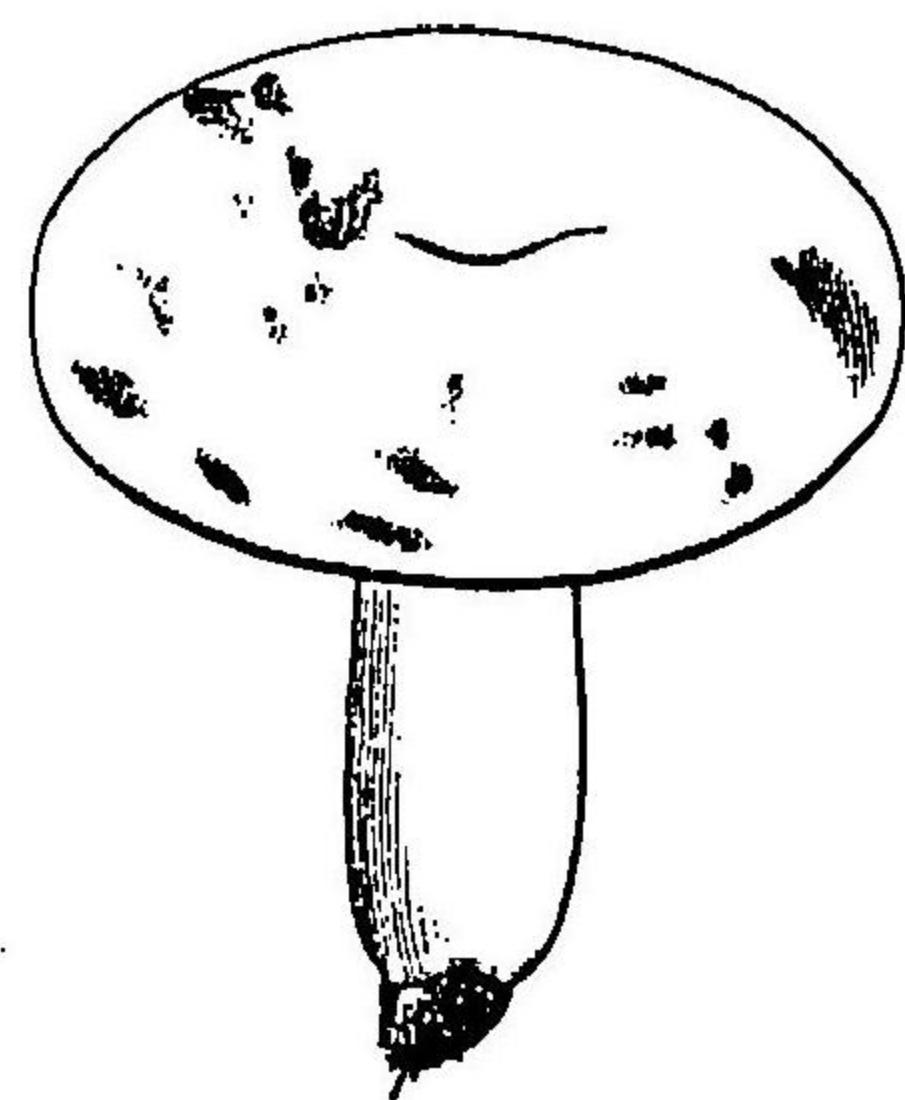
はつたけ

*Lactarius hatsudake*, N. Tanaka (in Bot. Mag., Tokyo, IV. 1890, p. 393, tab. XV.)

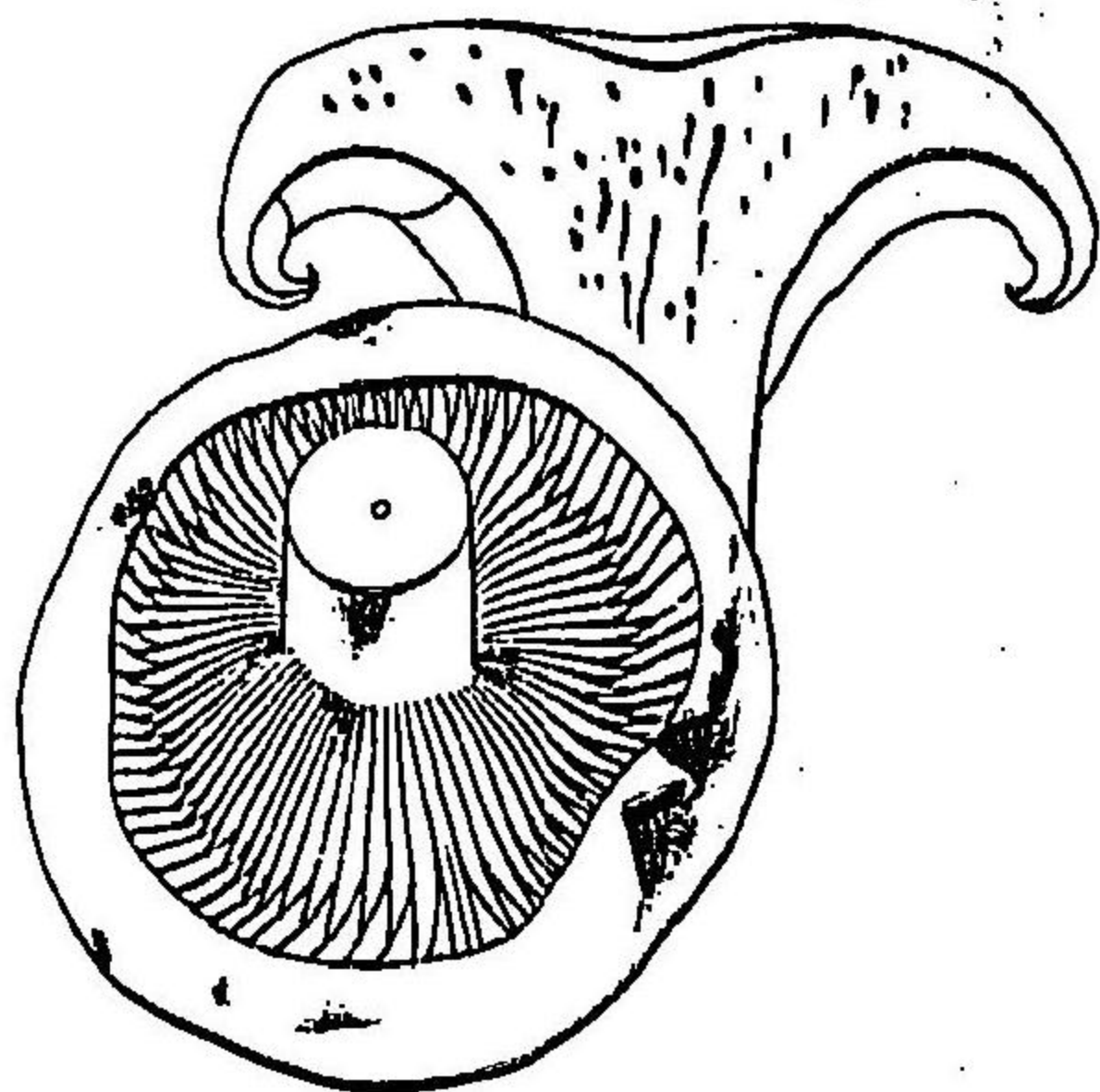
(圖解) 菌類 FUNGI. 褶菌科 AGARICINEAE.

此菌ハ初夏諸菌ニ先ツテ生ズルガ故ニ初菌ノ名アリ通例松樹林下枯葉地ニ布クノ處ニ發生スレモ間又立木ナキ郊原ノ芝原ニ生ズルコトアリ是前年曾テ松樹アリテ尙ホ其餘氣ノ存スルニ因レリ蓋蠶繭ノ諸部ニ少シニテモ疵ヅク時ハ忽チ銅綠色ノ斑紋ヲ作シテ變色ス舊時ノ本草家ハ之ヲ雲南通志ノ青頭菌ニ充テ、此ヲ其漢名トセリ諸州多クアレモ山城大和尼張近江等殊ニ多ク就中山城ノ者ハ之ヲ京初菌ト稱シ最モ其名アリ一種わかはつたけト稱スルハ相似テ蓋ノ色純赭色ニシテ前種ノ淡紅褐色ナルニ異ル但シ同屬ノ別種ナリ此他尙きはつたけをばつ等ノ種名アレモ未ダ其何種ニ屬スルヤヲ詳ニセズ

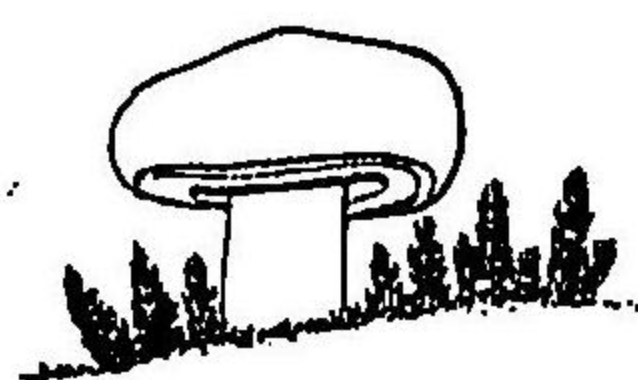
(圖解) 1 結實體ノ上部ヲ連ス(自然大) 2 後者ハ結實體ノ縱斷面ニシテ前者ハ仰置セル蓋ナリ 3 4 稚嫩ナル結實體(自然大) 5 子實層ノ一部(三百倍)



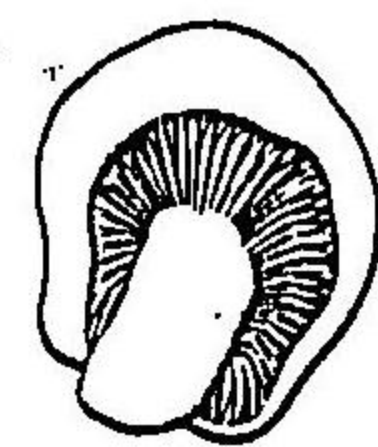
1



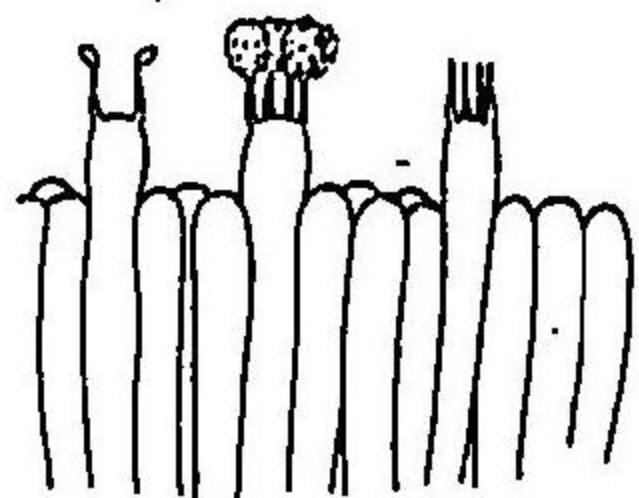
2



3



4



5

x300

M. Shirai del.

Lactarius Hatsudake, Tanaka.

(明治三十二年七月十四日)

○第二十五圖版  
Plate XXV.

理學士 安田篤著

By A. Yasuda.

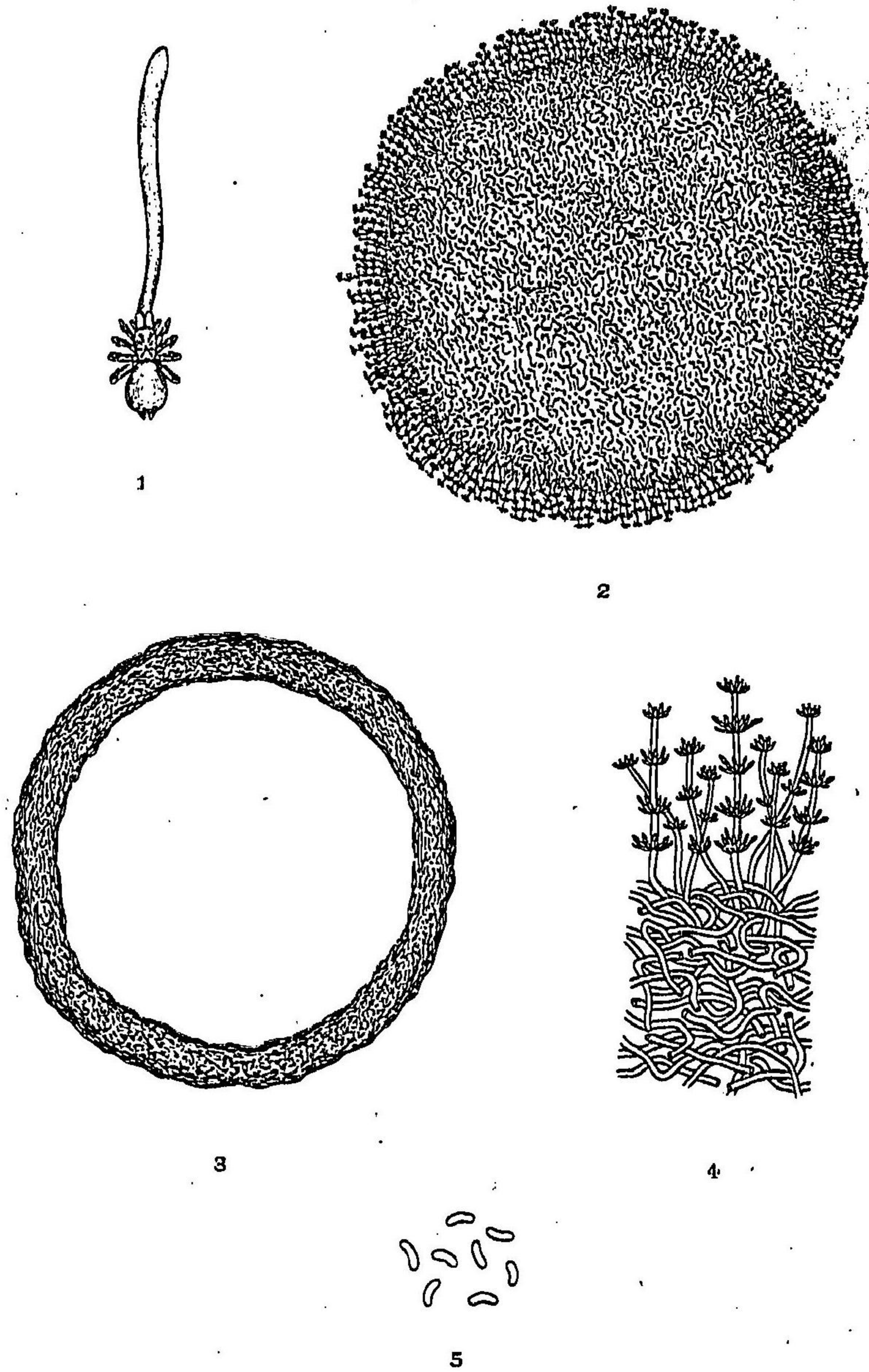
くもたけ

*Isaria arachnophila*, Ditm. (in Sturm Deutschl. Fl. tab. 55.)

(屬所) 菌類 FUNGI. 囊菌門 ASCOMYCETES. くもたけ科 GYMNOASCACEAE.

所謂冬蟲夏草ノ一種ニシテ、<sup>クモタケ</sup>蟻(Atypus)ニ寄生ス、蟻蟻ハ地中ニ深ク管狀ノ巢ヲ營ム者ナルガ、其地面ニ開ケル巢孔ヨリ一個ノ子實體ヲ突出ス、其長キ者ハ地上ニ出ヅルコト一センチメートル、而シテ地下ニアリテ外ニ顯ハレザル部分ハ更ニ長ク、二、五乃至四センチメートルアリ、蓋シ巢孔ノ深サニ比例スルノ致ス所ナリ、故ニ菌體并ニ宿主ヲ損傷スルコトナク、完全ニ之ヲ得ント欲セバ、勢ヒ深掘ノ勞ヲ辭スルヲ得ズ、

子實體(Sporium)ハ蟻蟻ノ頭部ヨリ突出スル者ニシテ、根棒狀ヲ呈シ、單獨ニシテ枝ヲ分出スルコト無シ、基底白ク、頂端少シク赤紫色ヲ帶ブ、此部ハ即チ子囊層ニシテ、天鰐絨ノ觀ヲ呈シ、乾燥セル粉樣ノ「コニチア」ヲ藏ク、今頂端ニ近キ部分ノ横斷面ヲ作り、之ヲ顯微鏡下ニ窺ヘバ、周圍ニハ



A. Yasuda del.

*Isaria arachnophila*, Ditm.

絨毛狀ノ子絲アリテ其數節ニ珠數狀ヲ爲セル數多ノ「コニヂ」アヲ荷ヒ恰モ樹枝ノ如キ形狀ヲ  
 呈ス胞子ハ甚ダ脱落シ易ク其形ハ畧ボ圓柱狀ナリ子實體ノ内部ハ實シテ菌絲密結ス又子實  
 體ノ基底ニ近キ白色ノ部分ヲ横斷スレバ子囊層無ク内部ハ大ナル空洞トナリ周圍ニ於テハ  
 菌絲相聚マリテ密結シ以テ環輪ヲ作ルヲ見ル  
 此菌ノ宿主ニ及ボス影響ハ如何ト云フニ其胞子先ツ生活セル蠶蟻ノ體ニ落ツレバ茲ニ萌發  
 シ菌絲ノ漸ク發育スルヤ蠶蟻ハ疾病ヲ醸シテ遂ニ死ス是ニ於テ菌絲ハ屍體ノ内外至ル處ニ  
 充分ノ發達ヲ爲シテ蔓延シ白キ綿様ノ被覆物ヲ作ル菌絲成熟スレバ即チ之ヨリ子實體ヲ出  
 ス  
 予ハ之ヲ明治二十七年七月上旬東京下谷中根岸ニ於テ採取セリ  
 (圖解) 1 全圖(自然大) 2 子實體ノ頂端ニ近キ部分ノ横斷面 3 子實體ノ  
 基底ニ近キ部分ノ横斷面 4 子實體ノ「コニヂ」アヲ荷ヘルモノ 5 子實體ノ

明治三十二年九月十八日

○第二十六圖版

Plate XXVI.

理學博士 三好 學 著

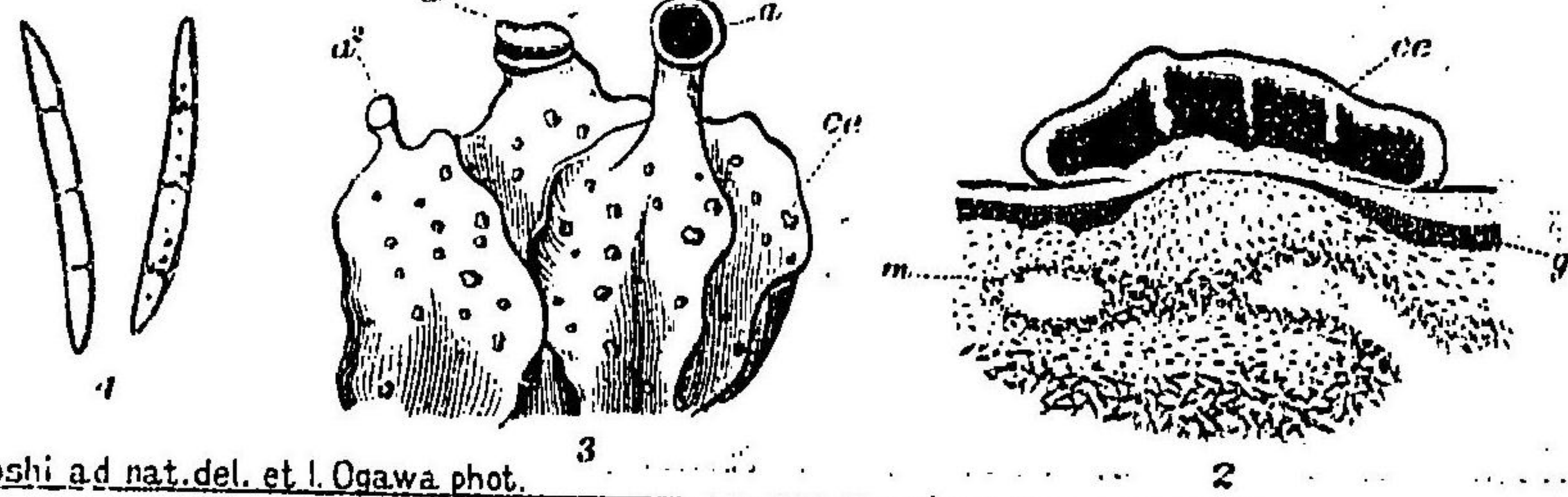
By M. Miyoshi.

ひろつめつけ

*Peltidea aphthosa*, Ach. (Meth. p. 287.)

(屬所) 地衣類 *LICHENS.* 爪苔科 *PELTIGEREE.*

全體葉狀扁薄、紙質、幾多ノ長片ニ分裂シ、各片長サ十仙迷ニ達シ、幅五仙迷ニ及ブ、表面滑澤、扁平、  
帶縁或ハ帶青褐色、裏面白色或ハ淡褐色、暗黒色ノ長假根ヲ出ダシ、基底ニ着生ス、葉狀體ノ表面  
ニハ數多ノ頭狀體(*Cephaloidea*)散布シ、大サ直徑〇五乃至一五密迷ニ及ブ、色澤葉狀體ト同ジ、子  
器ハ枝片ノ頂端部ニ扁着シ、柄條様ノ部分ニヨリ枝片體ニ連接ス、圓形或ハ橢圓形、直徑七密迷  
ニ及ブ、赤褐色、乾燥スレバ兩側ノ邊縁下方ニ捲曲ス、子囊ハ稍紡錘狀ヲ呈シ、中ニ八子ヲ容ル、胞  
子ハ無色、紡錘形、四胞ニ分カタル、長徑五十四、ミユ、短徑五、ミユ、ニ達ス、  
本地衣ハ葉狀體枝片ノ廣濶ニシテ且屢、小頭體ヲ有スルニヨリ著ルシ、本邦高山樹陰ニ産シ、好  
デ朽木或ハ蘚上ニ着生ス、



M. Miyoshi ad nat. del. et I. Ogawa phot.

*Peltidea aphthosa*, Ach.

本圖ニ示スモノハ信州御岳山喬木帯ニ於テ採集セルモノナリ。  
 (圖解) 1. 實物縮寫(凡ソ三分ノ二ニ糖質) 2. 葉狀體枝片ノ一部(實物大) 3. 頭狀體ヲ切斷セル子器(三十八倍) 4. 頭狀體ノ器(五百四十倍)。







○第二十八圖版  
Plate XXVIII.

理學士 安田篤著  
By A. Yasuda.

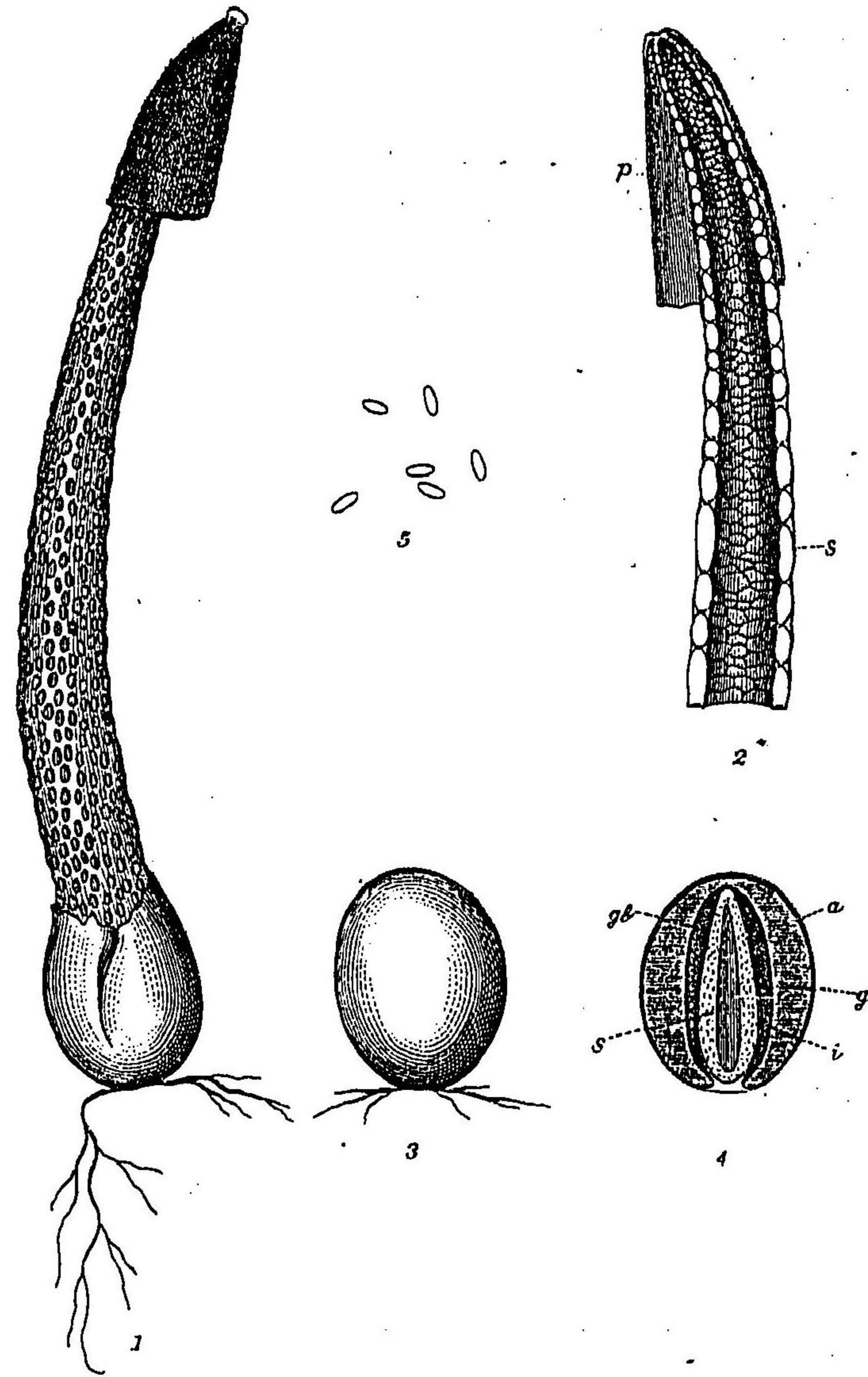
きつねのゑもきふて

*Ithyphallus rugulosus*, Ed. Fisch. (in Ann. Jard. bot. Buitenz. 1886, VI. p. 35, tab. V.

f. 3234.)

(屬所) 菌類 FUNGI. 基菌門 BASIDIOMYCETES. すぼんたけ科 PHALLACEAE.

結實體ハ十四乃至十六仙迷ノ高サヲ有シ、頭部ニ鐘狀ノ蓋ヲ戴ク、蓋ノ高サ三乃至五五仙迷直徑其最モ廣キ處一五仙迷アリ、造子器(Gleba)ハ蓋ノ表面ニアリテ、微細ナル皺紋ヲ示シ、すぼんたけノ如ク、網狀ノ室ヲ形成スルコト無シ、蓋ノ全體ハ朱色ヲ帯ビ、許多ノ胞子ヲ藏ス、胞子ハ橢圓體ニシテ、長徑二ム、短徑〇八ムアリ、柄ハ中空海綿様ニシテ、蓋ノ頂ニ遠シ、下方ニ至ルニ從ヒ、漸ク太サヲ増ス、其直徑上部ニテハ僅カニ〇三乃至〇四仙迷ニ過ギザレドモ、基脚ニ於テハ、一三仙迷ニ達セリ、柄ノ上部ハ淡朱色ニシテ、半バ以下ハ全ク白色トナル、柄ノ基脚ハ白色ノ莖ヲ以テ被ハル、ガ、此莖ハ即チ外皮(Peridium)ナリ、



A. Yasuda del.

*Ithyphallus rugulosus*, Ed. Fisch.

まつわのるかきよで

此菌ノ發生ヲ見ルニ、結實體ハ其初メ卵圓形ニシテ白色ヲ呈シ、柔クシテ彈力アルコト、恰モ龜卵ニ似タリ、大サハ通常長徑二五仙迷、短徑二仙迷アリ、之ヲ縱斷スレバ、中央部ニ於テ淡紅色ヲ呈スル者ハ、短縮シツ、アル柄ニシテ、其左右ニ暗綠色ヲ帶ビタル團塊ノ見ユルハ、即チ孢子ノ造子器ニ藏メラル、者ナリ、孢子群ノ周圍ハ、薄膜ヲ隔テ、厚キ寒天質層ニ境シ、其外ハ白色ノ皮トナル、此白色ノ皮ト寒天質層トハ、外皮ノ外層ヲ示ス者ニシテ、孢子群ノ周圍ニアル薄膜ハ、其内層ヲ示ス者ナリ、卵體發達スレバ、外皮ハ破裂シ、柄ハ鐘狀ノ蓋ヲ載セテ、上方ニ抽出ス、本邦各地陰濕ノ場所ニ産ス、本圖ニ示ス者ハ、明治三十二年、七月二十五日、宮城縣下、藏王山麓、青根ヨリ、遠刈田ニ至ル間ニ於テ採集セル者ナリ

(圖解) 1 全圖(少シク縮小シテ寫シタルモノ) 2 同上ノ中央縱斷面(自然大) p 外皮ノ外層 3 若キ外層ノ最外層(自然大) 4 同上ノ中央縱斷面(自然大) a 外皮ノ内層 b 寒天質層 c 造子器ノ蓋(原大千倍)

(明治三十二年十月二十三日)

○第二十九圖版  
Plate XXIX.

理學士 服部廣太郎著  
By H. Hattori.

ほしがたけいさう (新種)

*Asterionella gracillima*, Heib. (Consp. p. 68.)

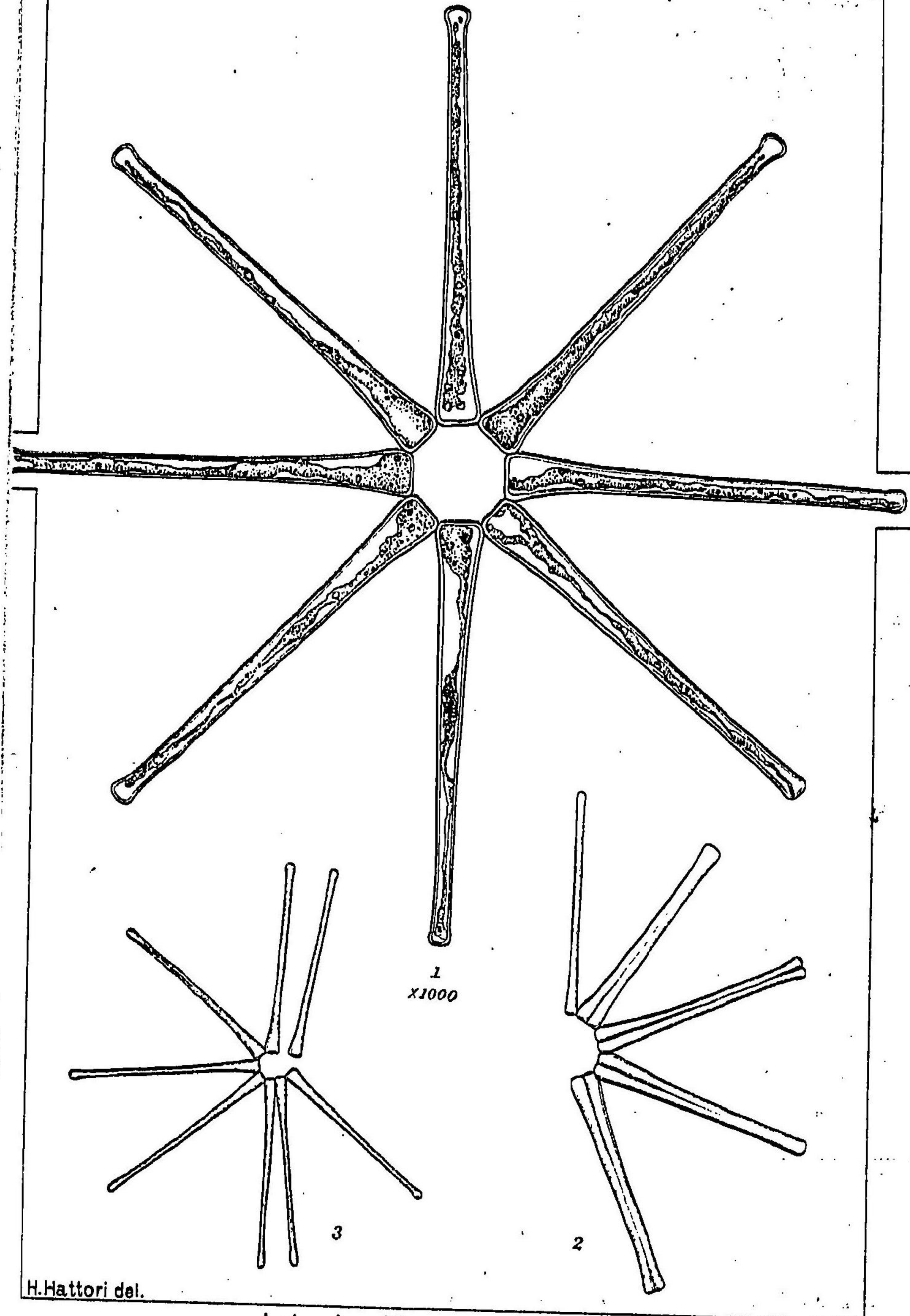
(名異) *Asterionella formosa* var. *gracillima*, Grun. (in V. H. Syn. p. 155.) — *Diatoma gracillimum*,  
Hantzsch. (in Rabenh. Alg. n. 1104 cum icone, Krypt. Fl. v. Sachsen p. 32.)

(屬所) 硅藻類 BACILLARIALES (DIATOMEE), 「フラシマリマ」族 FRAGILIARIOIDEAE,  
「フラシマリマ」科 FRAGILIARIEAE.

硅殼 (Frustule) は細長ニシテ長サ五〇乃至一二五 $\mu$ ニ達シ、側面ハ線狀ヲナシ前面ハ偏平ニシ  
テ頭端僅ニ膨大シ略ボ小頭狀ヲ呈シ基部ハ著シク開張ス。

通常八個相聚リ硅殼ノ基部ノ側邊ニテ互ニ相連接シ以テ星狀群ヲ形成ス、因テ之ヲほしがた  
けいさう(星形硅藻)ト命名セリ。

本種ハ廣ク温帯寒帯ノ淡水ノ湖沼ニ浮游セル硅藻ニシテ、我邦ニテハ日光中禪寺湖及ビ湯ノ



H. Hattori del.

*Asterionella gracillima*, Heib.

湖中ニ産ス、茲ニ圖セシハ該湖ヨリ採集セシ者ナリ、  
 (圖解) 1 星狀群ノ表面圖(千倍) 2 各個體ノ分離セル者(星狀群)  
 形成セントスル者(麻大) 3 星狀群ノ分離セル者(星狀群)

(明治三十二年十月三十一日)

○第三十圖版

Plate XXX.

理學博士 岡村金太郎著

By K. Okamura.

たまみる

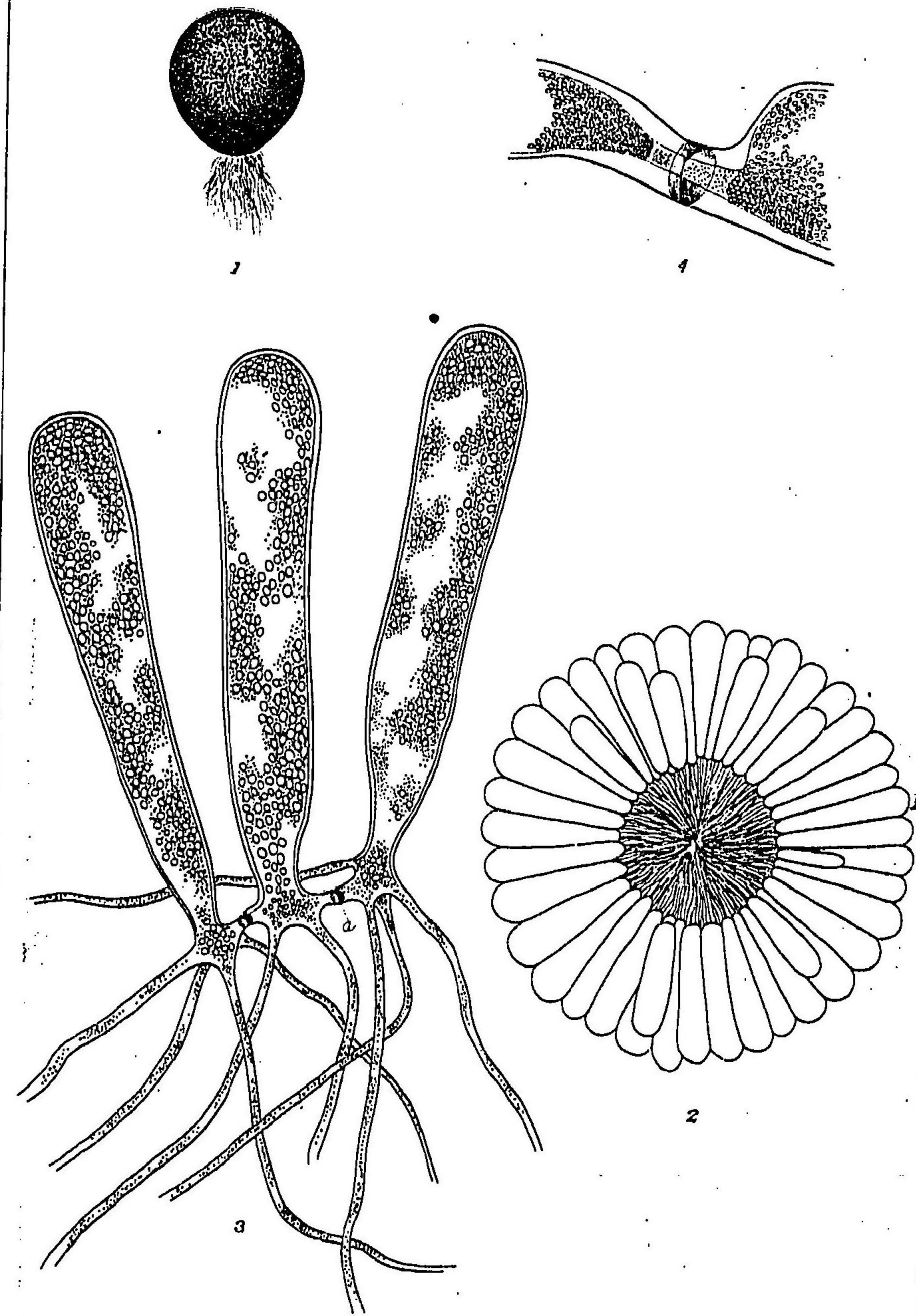
*Codium mamillosum*, Harv. (Phyc. Austr. tab. 41; J. Ag. Till Alg. Syst. VIII. p. 39;

De Toni Syll. Alg. I. p. 491; Okam Alg. Jap. Exsic. Fasc. I, no. 49 岡村日本

海藻標品第一帙第四十九)

(藻類) *ALGÆ*. 綠藻門 *CHLOROPHYCEÆ*. みる科 *SPONGODIACEÆ*

(形状)體ハ球狀ニシテ下部ノ一點ヨリ束出スル絲ヲ以テ岩石其他ノモノニ附着ス、内部ハ中空ナレトモ放射狀ニ集リタル絲ヲ以テ充塞セラル、囊細胞體ノ表面ヲナスモノハ長橢圓形様棍棒狀ニシテ鈍頭、明ニ肉眼ヲ以テ之ヲ見ルコトヲ得、其長サ直徑ノ凡ソ五倍ナリ、色ハ濃綠色、(造構)みる屬ノ植物ハ元來一個ノ細胞ニシテ、其細胞處々囊狀ニ膨大シ、此モノ相集リテ體ノ表面ヲナシ、其他ハ皆細キ絲ノ如クシテ夥シク分岐錯綜シ、各部ニ隔膜ナク、彼此相連絡ス、只囊細胞ノ下部ノ細クナリテ絲狀部トナル處ニハ稍隔膜ノ如キ觀ヲ呈スルモノアリ、之ヲ偽隔ト稱



K. Okamura del.

*Codium mamillosum*, Harv.

ス第三圖(子葉ハ養細胞ノ側部ニ生ズ  
 (産地)駿州江ノ浦、豆州下田、相模原州日向等ヨリ得タリ一尋以下ノ岩石ニ生ズ  
 (分布)ニッポルランド「西部」オースタラリア、  
 (圖解) 1 全形(自然大) 2 縦斷 3 周斷 4 大圖ノ養細胞

(明治三十二年十二月六日)

○第三十一圖版

Plate XXXI.

理學博士 三好 學 著

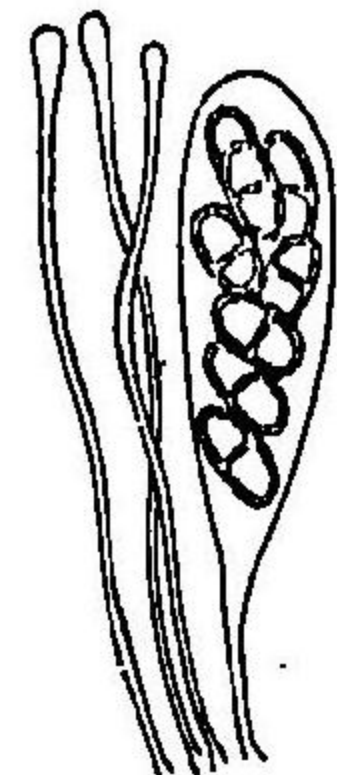
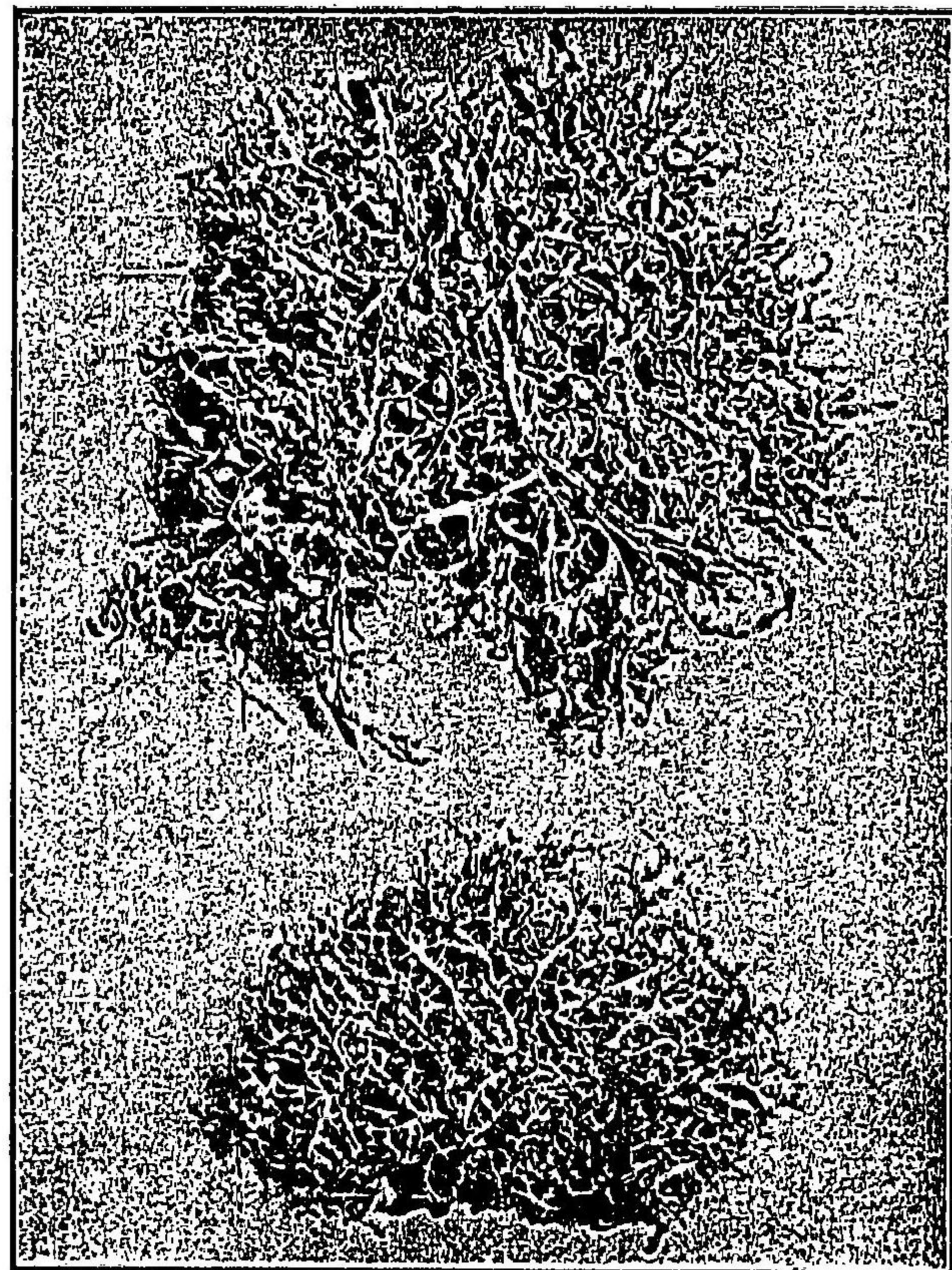
By M. Miyoshi.

からたちごけ

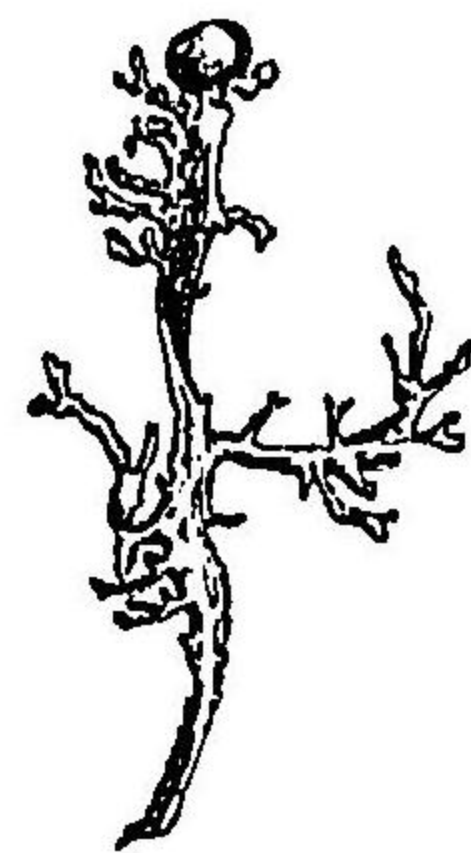
*Ramalina infata*, Müll. Arg. var. *gracilis* Müll. Arg. (Lich. Miyos. no. 35.)

(屬所) 地衣類 LICHENES. 苔珊瑚科 RAMALINACEAE.

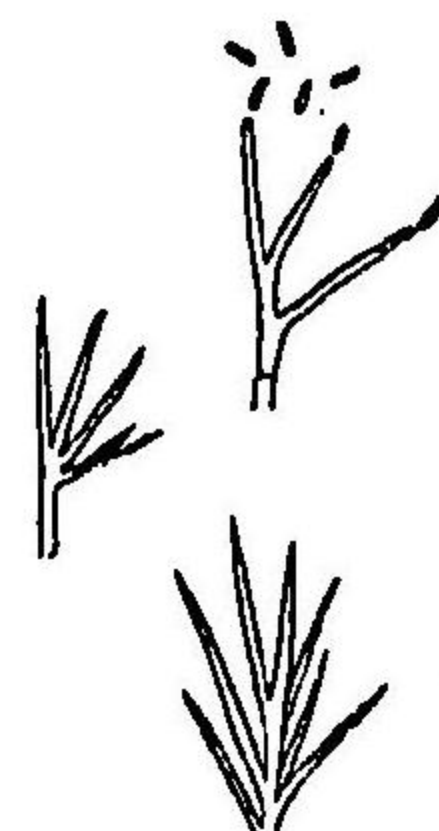
全體木狀、直立、帶黃綠色、基根部ニテ樹梢ニ着生ス、數多ノ枝條ニ分岐シ、荆棘狀ヲナス、枝條全長四仙迷以上ニ達シ、扁平ニシテ幅三密迷ヲ超過スルコトアリ、表面ニ細キ縱溝アリ、又邊緣ヨリ細條ヲ分出ス、子器ハ枝條ノ頂端部ニ着ク、盤狀、徑四密迷以上ニ達ス、殆ンド無柄線狀體ハ單一頂端棍棒狀ヲナス、子囊ハ長橢圓狀、八子ヲ容ル、胞子ハ橢圓形、無色、兩胞ニ分カル、長徑十「ミユ」短徑六「ミユ」、雄器ハ木狀體ノ表面ニ散布シ、未熟ノ頃ハ外面ヨリ檢出シ得ザルモ、熟スルニ及ベバ木狀體ト同色ノ小疣狀トナリ、現ハル子器殼ハ球狀、支柱體ハ纖細ニシテ分岐シ、細微ノ雄子ヲ着ク、  
本地衣ハ我邦各地ノ深山ノ樹梢ニ着生シ、普通ノ種類ナリ、其形態ノ荆棘狀ヲ成セルニヨリ一



1



2



3

M. Miyoshi ad nat. del. et. I. Ogawa phot.

*Ramalina inflata*, Müll. Arg. var. *gracilis*, Müll. Arg.

見シテ認識セラル、  
 本圖ニ示スモノハ下野國日光山湯本ニテ採集セルモノナリ、  
 (圖解) 1 實物寫眞(實物大) 2 木狀體ノ一部并ニ孢子器ヲ示ス(實物大ヨリ四倍) 3 實物寫眞(實物大) 4 雄子(五百四十倍) 5 木狀體ノ一部并ニ孢子器ヲ示ス(實物大ヨリ四倍)



○第三十二圖版

總編輯 松村 任三 著

Plate XXXII.

By J. Matsumura.

アツバノヤネノコ

*Pogonatum grandifolium*, Mitt. (in Trans. Linn. Soc. III. p. 192; Besch. in Ann. Sei.

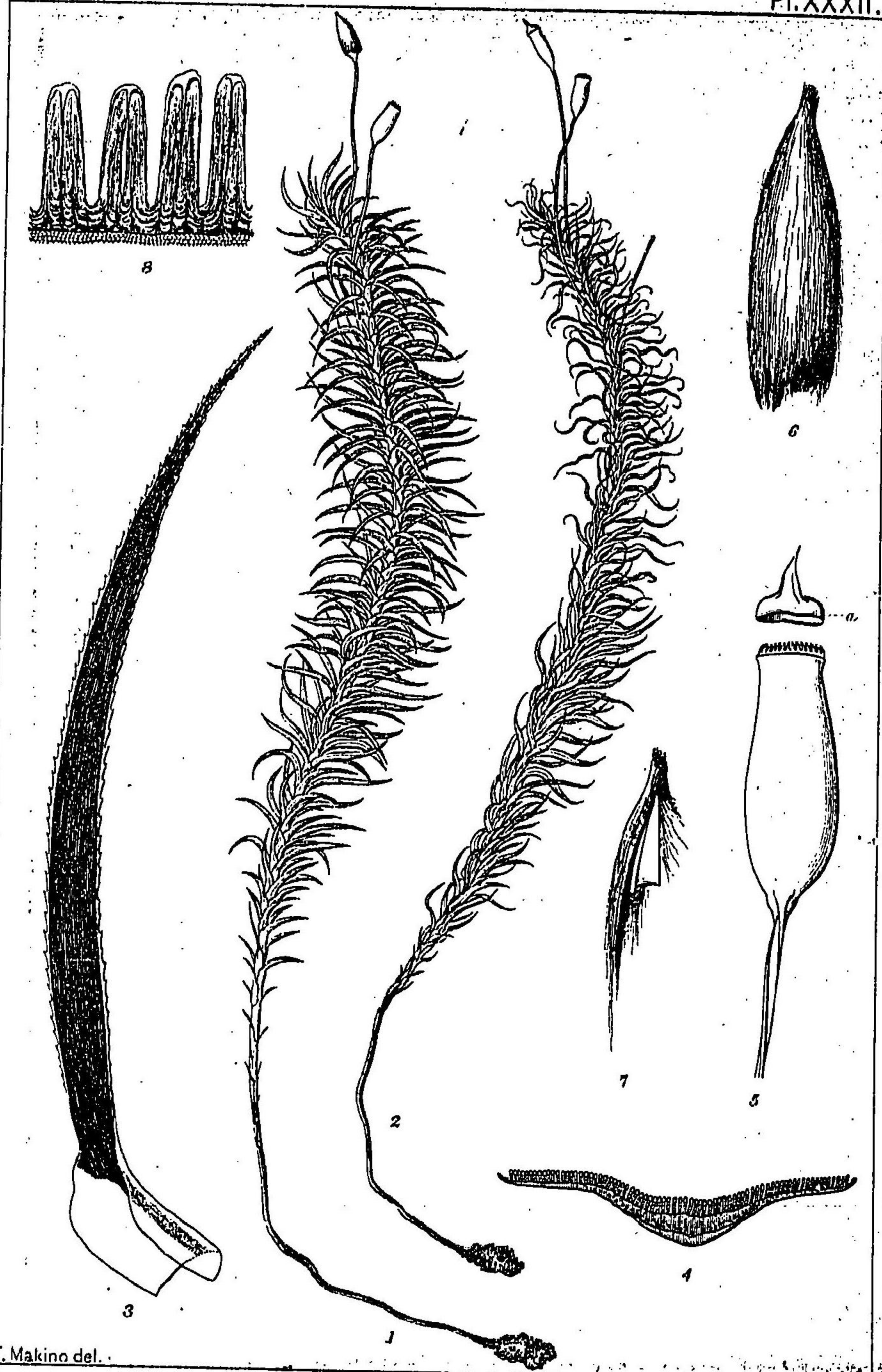
Nat. XVII. p. 355.)

(新採) *Polytrichum grandifolium*, Lindb. (Contrib. Fl. Cryptogam. Asia boreali-orient. p. 264; Broth. in Hedw. XXXVIII. p. 224)

(新採) 縹葉 *MUSOI* 十國縹葉 *POLYTRICHHEZE*.

*Dioicum*, caule simplici elongato usque 21cm. longo; foliis e basi teniore amplexicauli lineari-lanceolatis acutissimis supra basin serratis, lamellis numerosissimis; bracteis perichæti 3-4, quam folia angustioribus acutioribusque; seta 3cm. longa; theca erecta oblonga basi subconstricta, operculo acute rostrato, calyptra thecam totam obtegente pallide fulva.

Hab. in monte Ishizuchi, prov. Shikoku (R. Yatabe); in monte Nikko, prov. Shimotsuke (ipse).



T. Makino del.

*Pogonatum grandifolium*, Mitt.

本邦産 *Pogonatum* ノ屬中最喬大ノ品ナリ高キモノハ高サ六七寸ニ及ブ故ニ草トシテ呼ビタカサキニ  
 對シテせいたかすぎこけノ名ヲ命ゼリ雌雄異株ニシテ莖ハ分岐セズ葉ハ甚長ク密生シ乾キ  
 テ赤クシテ線形ニシテ頭尖銳邊縁ニ小齒牙アリ表面ニ薄板密生ス總苞ヲ成セル葉ハ三個乃至  
 四個ニシテ常葉ヨリモ狭ク銳ナリ苔類ハ長橢圓ニシテ稜ナク直立シ面ニ小粟粒アリ柄短シ  
 緣齒ハ三十二個赤褐色長橢圓形ニシテ頭鈍シ  
 矢田部博士ハ之ヲ伊豫石鏡山ニ採リ余ハ之ヲ日光白根山下ニ採レリ

(圖解) 1 ハ水ニ浸シタル全圖 2 ハ乾キタル全圖 3 ハ中央ノ葉ヲ大シテ示ス 4 ハ莖上ノ毛  
 7 ハ莖上ノ毛ニシテ此上面ニ薄板密生ノ狀ヲ示ス 5 6 7 8 ハ苔類ノ一部分ヲ示ス(共ニ放大)

(明治三十二年七月二十日)

○第三十三圖版  
Plate XXXIII.

理學博士 岡村金太郎 著  
By K. Okamura.

セウシホのり (異名) をつめのかしら (紀州) にらむ

*Scytosiphon lomentarius*, J. Ag. (Sp. Alg. I. p. 126; Hauck Meeresalg. p. 396, f. 163;

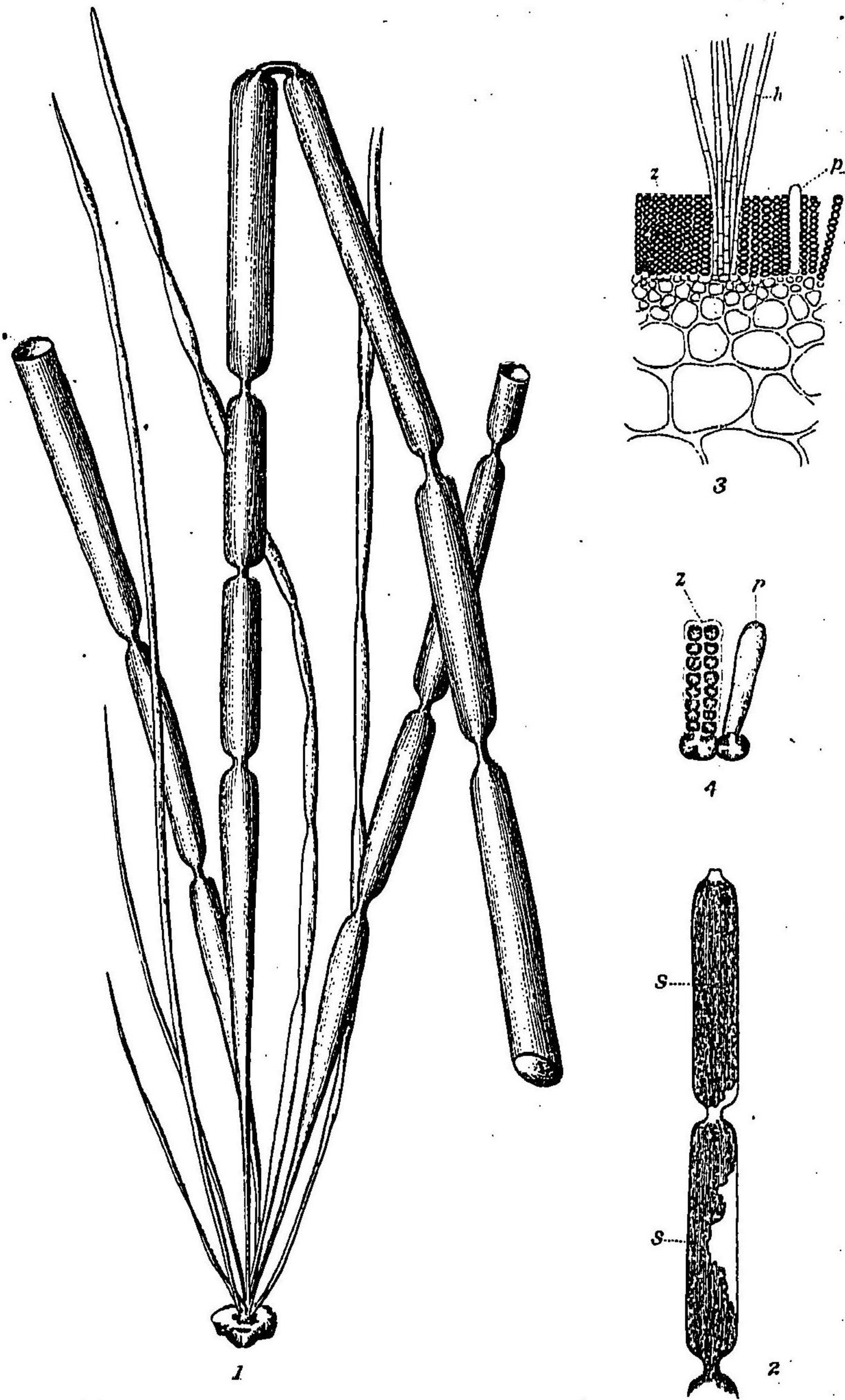
De Toni Syll. Alg. III. p. 485.)

(名異) *Clorda lomentaria*, Harv. (Phyc. Brit. tab. 285.) *Clorda Filum* var. *lomentaria*, Kuetz. (Sp. Alg. p. 548.)

(屬所) 藻類 ALGAE. 褐色藻門 PHAEOPHYCEAE.

ふくらのり科 ENCOELIACEAE.

(形状體ハ圓柱狀ニシテ中空、單條、下部著シテ細ク、上部稍細シ、體ノ下端小吸盤狀ヲナシテ多數  
岩石上ニ叢生ス、初ハ全ク關節ノ如キ約レナシト雖モ、漸ク長ヌルニ從テ處々關節ノ如ク約レ、  
節間ノ距離不同ナリ、長サ一〇—二〇「セ、メ」ヨリ三〇「セ、メ」ニ達シ、往々六〇「セ、メ」餘ナルモアリ、太  
サ一—五「ミ、メ」稀ニ一〇「ミ、メ」ニ達ス、膜質褐色又ハ綠色ナリ、紙ニ附着ス。



K. Okamura del.

Scytosiphon lomentarius, Ag.

かやものひ

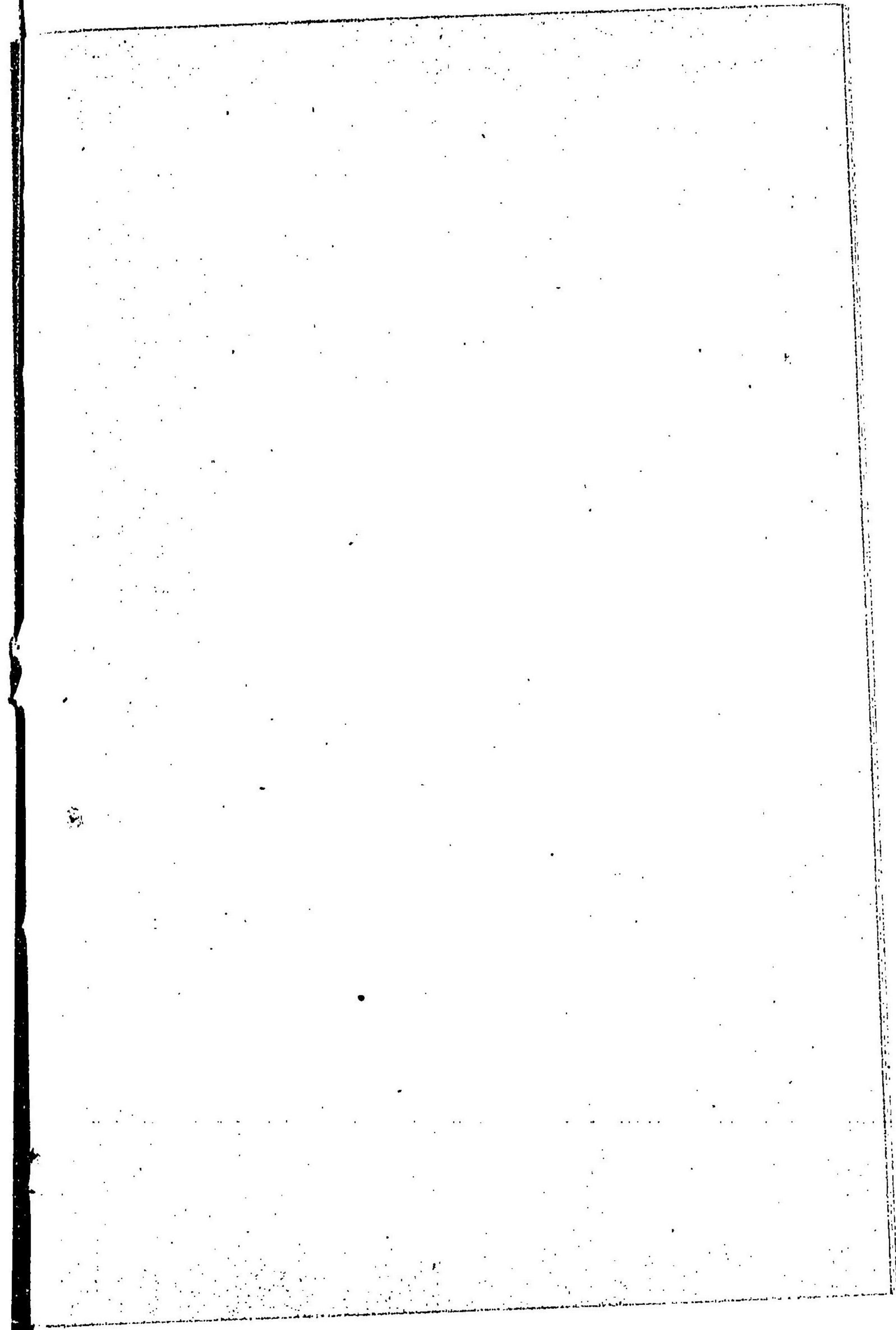
(造構ハ二層ヨリ成ル内層ハ大ナル長橢圓狀ノ細胞ノ數層ヨリ成リ外部ニ近ツクニ從テ漸次小ツク皮層ハ僅ニ小細胞ヲ以テ成ル子囊群(Sporangia)ハ體ノ表面ニ初メ雲狀ニ生シ後全面ニ亘ル單子囊ハ未詳複子囊ハ圓柱狀ニシテ單列ノ室ヨリ成ル。パラフエシスハ圓柱狀又ハ稍棍棒狀ノ單細胞ニシテ僅ニ存シ或ハ之ヲ關ク單列ノ毛茸ハ處々ニ叢生ス)

(産地隨處沿岸ノ岩石ニ生ズ)

(分布)太西洋地中海及アドリアチク海、バルチック海、太平洋、亞米利加熱帶部

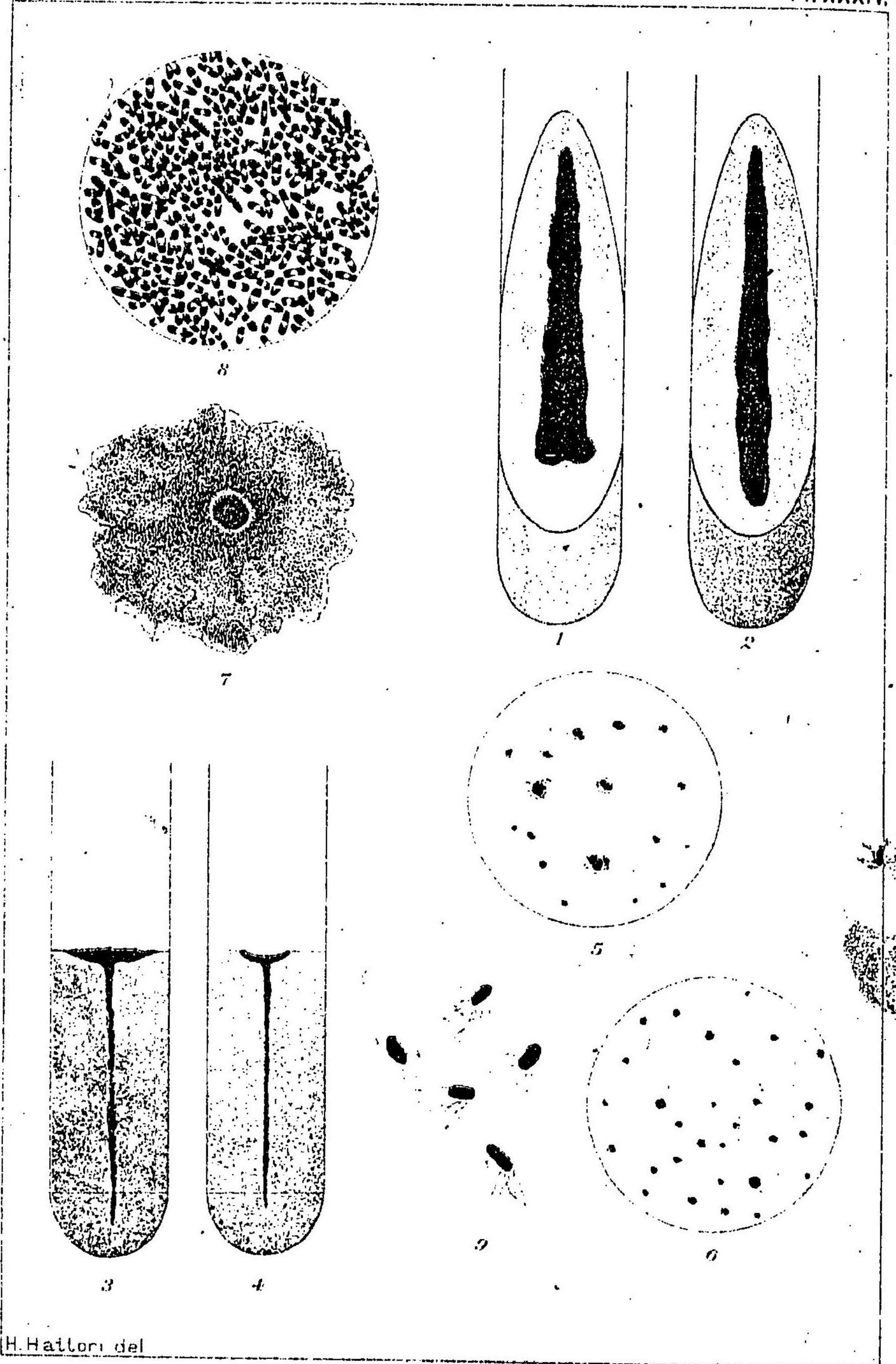
此種ハ元來寒地ノ産ナレモ殆ド全世界ニ普ク、太西洋ハグリーンランドヨリ熱帶地方迄産ス、本邦ニテハ處ニヨリ食物トスル處アレトモ僅ニ一地方ニ限レリ

(圖解) 1 全形(自然大) 2 子囊群(3) 3 子囊群ノ處ヲ横斷シテ體ノ造構ト子囊(4) 5 子囊群ノ處ヲ横斷シテ體ノ造構ト子囊(4) 同上ノ一部ヲ放大ス(2) (3) 同上



欠

MISSING



H. Haller del

*Bacillus typhi*, Gaffky.

(明治三十二年九月十八日)

○第三十五圖版

Plate XXXV.

三宅 驥一 著

By K. Miyake.

かきしのしげ (新種)

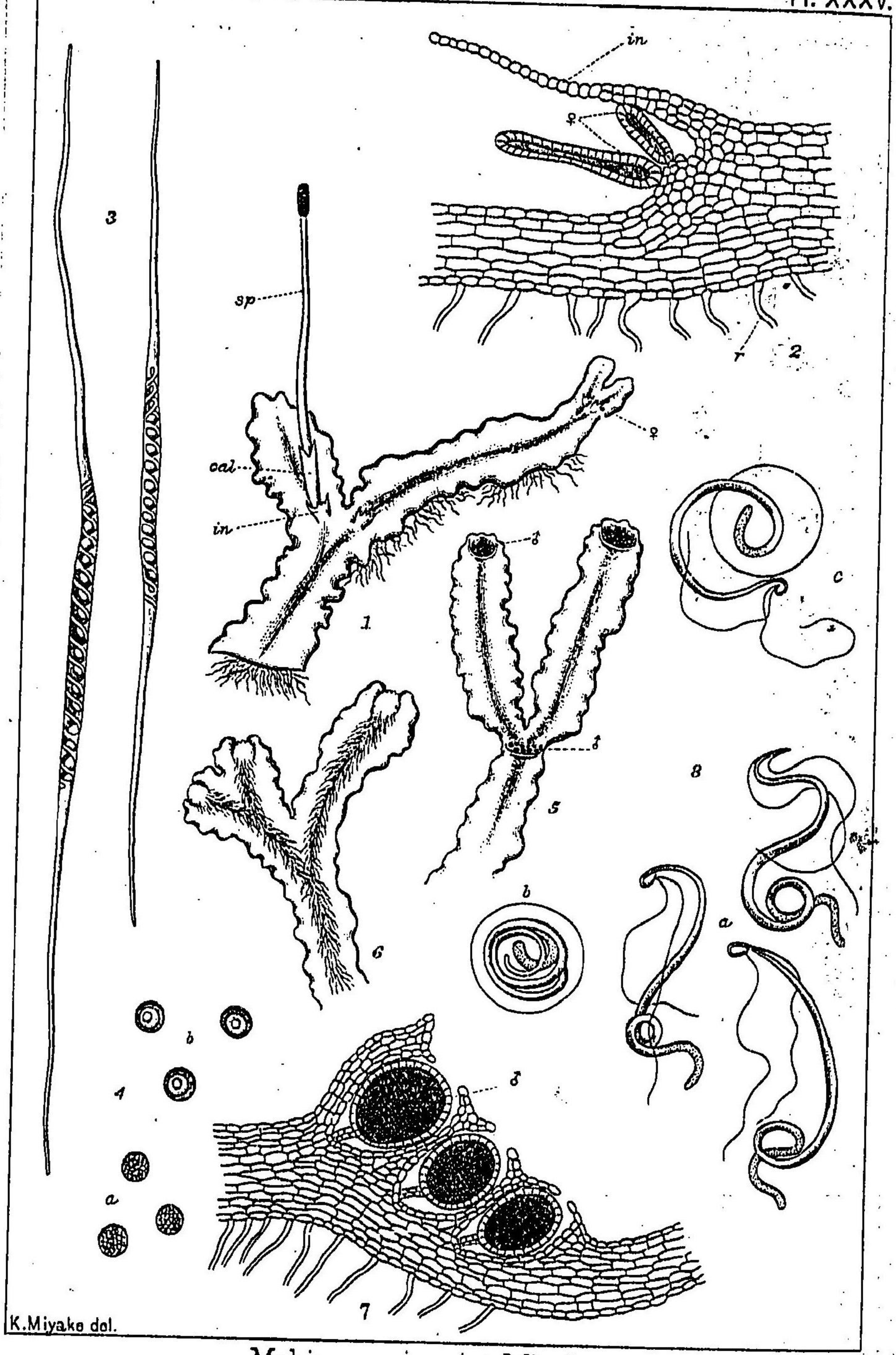
*Makinoa crispata*, Miyake (in Bot. Mag., Tokyo, XIII, 1899, p. 23, tab. III.)

(名異) *Peziza crispata*, Steph. (in Bull. Herb. Boiss. V. 1897, p. 103.)

(屬所) 苔類 HEPATICAE. 鱗苔科 JUNGERMANNIACEAE.

植物體ハ扁平ニシテ兩又ニ分岐ス(dichotomous)雌雄異株ニシテ表面ノ先端部ニ生殖器ヲ生ズ  
雌器ハ數多相集リテ一塊群ヲナシ其上ハ鋸齒狀ニ切レタル包膜(Involucre)ヲ以テ掩ハル雄器  
モ同ジク表面先端部半圓形ノ後壁ヲ有スル凹處ニ群ヲナシテ存ス子囊ハ長橢圓形ニシテ暗  
褐色ナリ而シテ長キ柄ヲ有ス柄本ヲ擁セル内被膜(Calypta)ハ多少圓筒狀ヲナシテ高ク包膜  
ノ上ニ突出ス(彈子ハ長クシテ兩端尖リ二個ノ螺旋紋ヲ一側ニ於テ互ニ融合ス胞子ハ略球形  
ニシテ外壁ニ斑紋アリ而シテ内部ニ葉綠素ヲ含有ス  
此植物ハ數年前「フーリ」氏之ヲ秋田縣ニ採集シテ獨逸ノ苔類専門家「ステフハニー」氏ニ送リシ





K. Miyake del.

Makinoa crispata, Miyake.  
生きたおけ

ニメ氏ハ之ニ *Pellia crispata* ノ名ヲ與ヘタリ後牧野富太郎氏之ヲ房州清澄山ニ採リ余其生品ヲ得テ調査セシニ *Pellia* 屬トハ大ニ異ナリタル點ヲ發見シタルヲ以テ此ニ別ニ一新屬ヲ創定シテ乃チ其種ヲ之ニ屬セシメタリ余ハ紀念ノ爲メ牧野氏ノ姓氏ニ資リ此新屬ニ名クルニ *Makinoa* ナル名稱ヲ以テシタリ

其後ニ至テ余ハ之ヲ武州高尾山及ビ城州京都等ノ地ニ採集シ又土佐ノ井上虎馬氏ノ好意ニヨリテ同地ニモ亦之ヲ産ヌルコトヲ知ルヲ得タリ

此ノ如ク其産地ノ各方ニ認メラルヽヨリシテ之ヲ考フレバ此植物ハ蓋シ本邦ニ在テ比較的ニ廣キ分布ヲ有スルモノナルベキヲ知ルニ難カラズ

雌雄ノ生殖器ハ四五月ノ候ニ成熟ス而シテ其精蟲ハ既知ノ苔類ニ在テ殊ニ最大ナルモノニ屬シ他ノモノ能ク之ニ及ブナシ子囊體ハ四月ノ頃成熟ス

(圖解) 1 雌木ノ器ヲ包テ以テ包圍セラルル者ニ十ニ倍シテ示シタル者ハ中部ノ老ニ去リ出テタル者ニ示ス(九倍) 2 植物大百倍ニ示ス(自然大) 3 雄木ノ器ヲ包テ以テ包圍セラルル者ニ十ニ倍シテ示シタル者ハ中部ノ老ニ去リ出テタル者ニ示ス(九倍) 4 内被膜(自然大) 5 雌木ノ器ヲ包テ以テ包圍セラルル者ニ十ニ倍シテ示シタル者ハ中部ノ老ニ去リ出テタル者ニ示ス(九倍) 6 雄木ノ器ヲ包テ以テ包圍セラルル者ニ十ニ倍シテ示シタル者ハ中部ノ老ニ去リ出テタル者ニ示ス(九倍) 7 雄木ノ器ヲ包テ以テ包圍セラルル者ニ十ニ倍シテ示シタル者ハ中部ノ老ニ去リ出テタル者ニ示ス(九倍) 8 雄木ノ器ヲ包テ以テ包圍セラルル者ニ十ニ倍シテ示シタル者ハ中部ノ老ニ去リ出テタル者ニ示ス(九倍)

○第三十六圖版

Plate XXXVI.

選譯博士 松村任三 著

By J. Matsumura.

ちしませすぎんけ

*Pogonatum alpinum*, Brid. var.

(屬所) 蘚類 MUSCI. 土馬騾科 POLYTRICHEAE.

苔大ナルモノ七センチ、小ナルモノ僅ニ四五センチニシテ多少枝ヲ分ツ葉ハ乾キテ立チ僅カニ振レル傾キアリ其形線のニシテ頭極メテ尖銳基部ハ幅廣クシテ薄ク而シテ莖ヲ抱シ乾キテ兩縁内ニ卷キ上面ニ薄板密生メ朔ハ廣楕圓形ニシテ直立シ表面平滑ナリ縁齒褐色ニシテ稍不規則ノ狀アリ蓋ニ嘴アリ稍曲ル笠ヲ被フノ毛ハ褐色ニシテ全朔ヲ没スルニ至ラズ

此標品ハ千八百九十五年北原多作氏ガ北海道千島ニ於テ採集セルモノナリ而シテ第二十七圖版(みやますぎごけ)ニ圖セルモノト稍異ナルノ觀アリト雖ドモ蓋シ必竟産地ノ異ニ由レルモノニシテ *Pogonatum alpinum*. 以外ナラザルベシ由テ姑ク此ニ其一變種トナシ

海外ノ苔學者未ダ *Pogonatum alpinum*. ノ本邦ニ産ムルモノヲ録セズ Mitten 氏 Trans. Linn. Soc. Lond.



(明治三十二年十二月六日)

○第三十七圖版

Plate XXXVII.

理學博士 三好 學 著

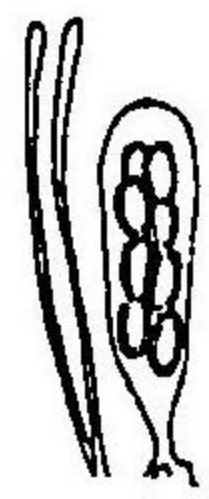
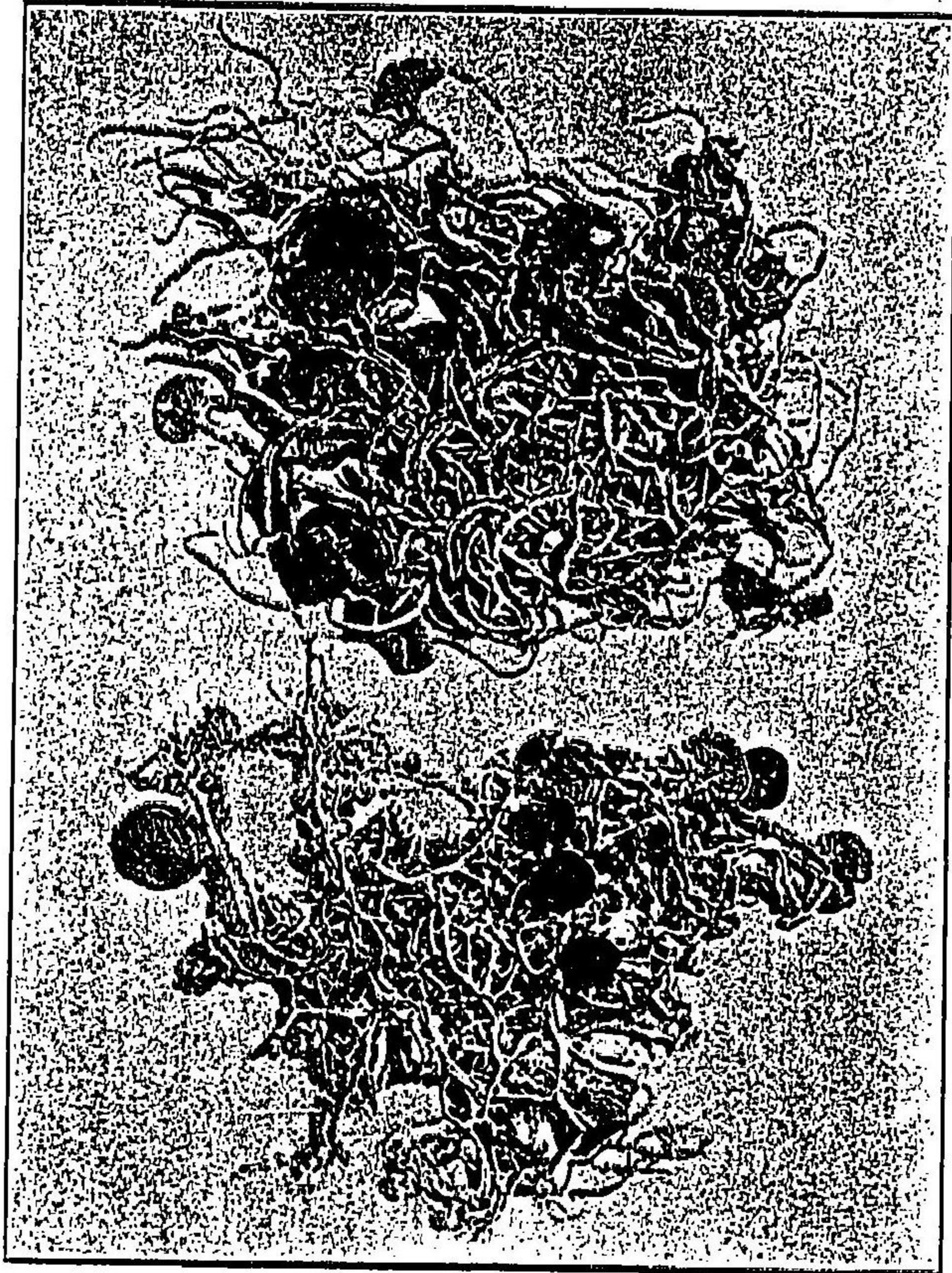
By M. Miyoshi.

やまひのり

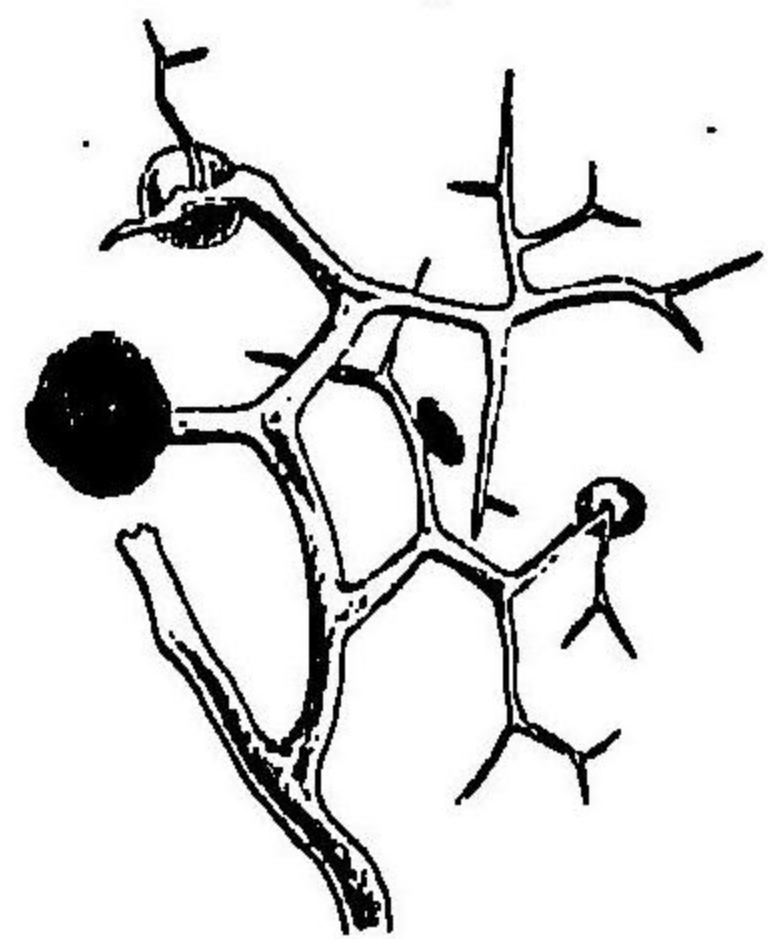
*Evernia mesomorpha*, Nyl. f. *esorediosa*, Müll. Arg. (Lich. Miyos. no. 34.)

(圖所) 地衣類 LICHENES. 苔珊瑚科 RAMALINEAE.

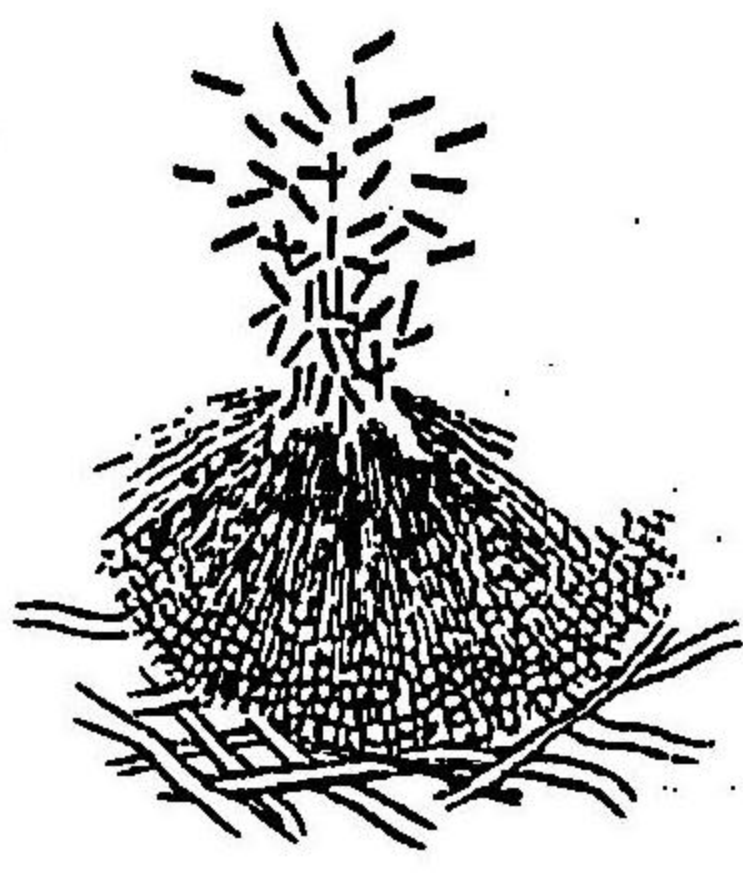
全體木狀直立、帶綠黃色、高サ八仙迷ニ達ス、處々ヨリ枝條ヲ又出ス、枝片ハ殆ンド扁平ニシテ幅三密迷ヲ超ユ、表面滑澤ナラザルモ甚シク粗糙ナラズ、其質柔軟ナリ、子器ハ殆ンド枝條ノ頂端ニアリ、扁平盤狀、直徑二仙迷ニ及ブ、暗褐色、線狀體ハ單一ニシテ短カク、胞子ハ八個、橢圓形、長徑六「ミユ」短徑三「ミユ」、單胞、無色、雄器ハ全ク木狀體ノ質内ニ沈在シ外面ニ現ハレズ、顯微鏡下ニ窺ヘバ、唯點狀ノ小口ヲ認ムルニ過ギズ、雄器殼ハ繸形、稍褐色ヲ帶ブ、支柱體ハ殼心ニ集生シ、小桿狀ノ雄子ヲ密生ス、本地表ハ我邦各地深山ノ樹上ニ着生ス、其帶綠黃色ノ木狀體褐色ノ子器並ニ木狀體ノ枝條ノ又出法ニヨリテ著ハル、



4



2



3

M. Miyoshi ad nat. del. et I. Ogawa phot.

*Evernia mesomorpha*, Nyl. f. *esorediosa*, Müll. Arg.

やまひこのり

○第三十七圖版

PLATE XXXVII.

Evernia mesomorpha

*Evernia mesomorpha* (Nyl.) Müll. Arg. f. *esorediosa* Müll. Arg.

山崎宗玄 (Miyoshi) 氏撮影 (Photographed by M. Miyoshi)

本圖ハ示スモノ其下野國日光山湯本ニテ採集セルモノナリ、  
 (圖解) 1 實物寫眞(實物大) 2 枝條ノ一部(實物大) 3 雄子器切斷面(五百四十倍)  
 4 雌子器切斷面(五百四十倍)

○第三十八圖版

理學博士 岡村金太郎 著

Plate XXXVIII.

By K. Okamura.

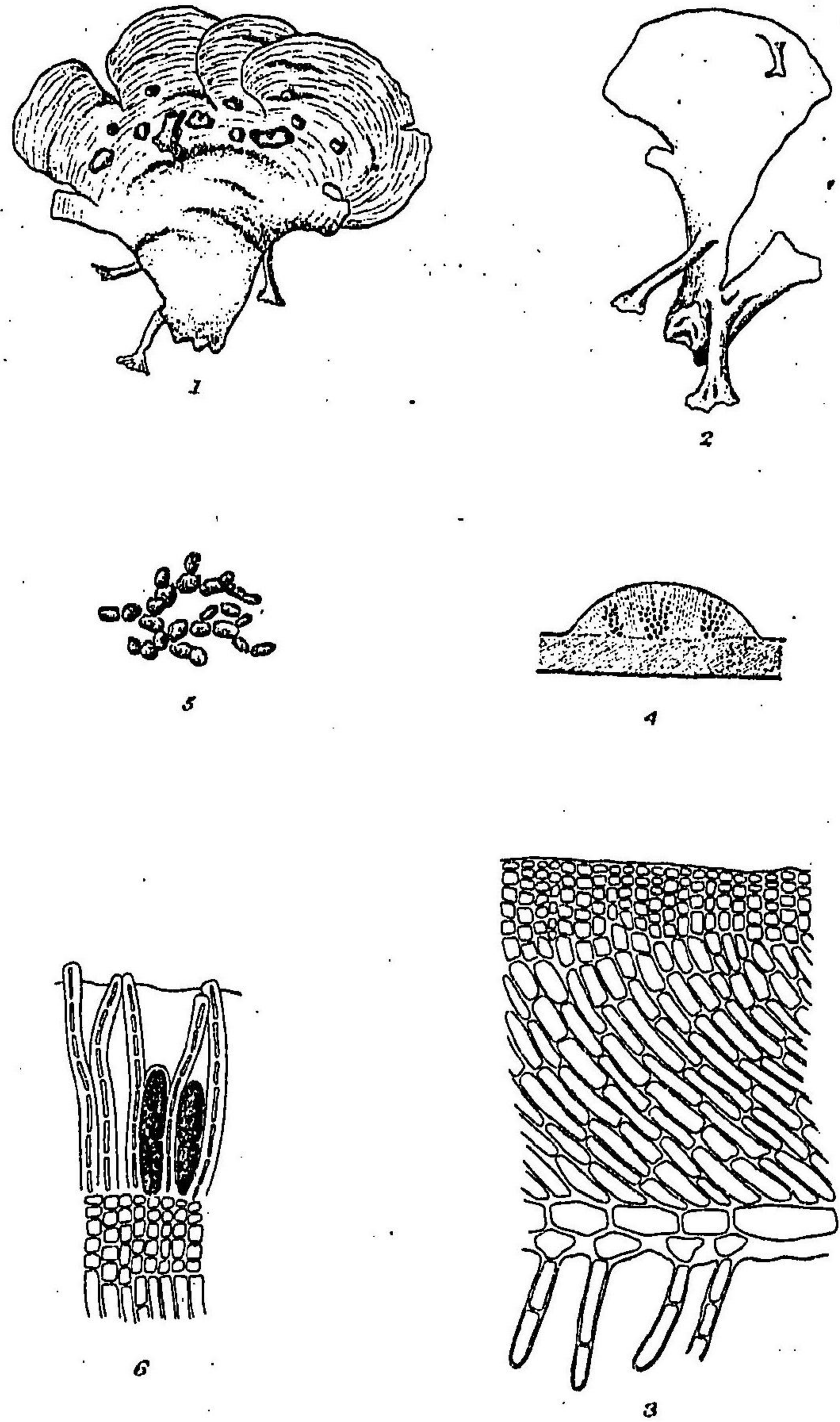
えいぎいはのかは 新種

*Peyssonnelia caulifera*, Okam. (Contr. to the Knowl. of the Mar. Alg. of Jap. p. 8, Pl.

III. fig. 26-30.)

(新)藻類 ALGAE. 紅藻門 RHODOPHYCEAE. いはのかは科 SQUAMARIACEAE.

體ハ開扇狀又ハ腎臟形ニシテ全縁若クハ同様ノ形セル裂片ヲ有シ裂片ハ少シク相重疊ス。體ノ長サ及ビ幅ハ三乃至四センチニシテ裏面ハ淡黄白色ノ短毛ヲ以テ蔽ハレ且ツ太キ圓柱狀ノ柄ヲ以テ他體ニ附着ス。此柄ハ長キ根毛ノ密集錯綜シタルモノニシテ體ハ之ガ爲ニ全裏面ヲ以テ固着スルコトナク全ク游離ス。是レえつきノ名ヲ命ジタル所以ニシテ又同屬ノ他ノ種類ト區別スルニ足ル。縁邊ハ全縁ニシテ表面ハ平滑圓狀ノ横線アリ。縁邊ハ體ノ生鮮ナル時ハ扁平ニ開張スレドモ其乾クニ至リテハ表面ノ方ニ反轉ス。實群 (Sortes) ハ表面ニ生ジ輪廓不規則ニシテ少シク隆起セル遊點ノ如キ部分ヲナス。莖果ノ仁ハ一列ニ不規則ニ分岐セル塊ヨリ



K. Okamura del.

*Peyssonnelia caulifera*, Okam.

その根の如き

○ 第 三 十 八 圖 版

PLATE XXXVIII.

PEYSSONNELIA CAULIFERA (Okam.)

藻類 紅藻綱 紅藻目 紅藻科 紅藻屬

成リ單條ニシテ二列ノ細胞ヨリ成レテ皮膚ノ絲組織ノ間ニ數多アリ、四分胞子ハ長形ニシテ  
 十字様ニ分裂シ同土ノ如キ皮膚ノ絲ノ間ニ群集ス、質ハ厚キ膜質ニシテ殆ド石灰質ヲ含ムコ  
 トチシ縦ニ裂ケ易シ、紙ニ附着セズ、色ハ深赭色ナリ  
 構造ニ體ハ三層ヨリ成レテ下層ハ二層ノ細胞ヨリ成リ一列ニ列リテ放射狀ニ發出シ之ヨリ單  
 列ノ毛狀根ヲ生ズ中層ハ下層ノ細胞ヨリ下層ノ放射線ニ沿フテ斜上スル長方形ノ細胞ヨリ  
 成リ上層即チ皮膚ハ正方形ノ皮細胞ヨリ成ル  
 産地、日向ノ沿岸ヨリ房州相州邊迄産ス、潮線間ノ岩石又ハ他ノ大ナル海藻ノ根ニ附着ス  
 (圖解) 1 果實ヲ有スル體ヲ表面ヨリ見タルモノ(自然大) 2 體ノ裏面ヨリ見テ柄ノ如キ根ヲ示ス  
 ノ斷面(自然大) 3 放射線ニ沿フテ切りタル體ノ斷面(二百四十倍) 4 莖葉群ノ縱斷(原大) 5 仁(二  
 百四十倍) 6 莖ノ一部分(二百四十倍)

(明治三十三年一月二十七日)

○第三十九圖版

Plate XXXIX.

理學士 柴田桂太著

By K. Shibata.

かひもんの新種

*Polysphondylium violaceum*, Brefeld (Unters. a. d. Gesamtgeb. d. Mykol., Heft VI.

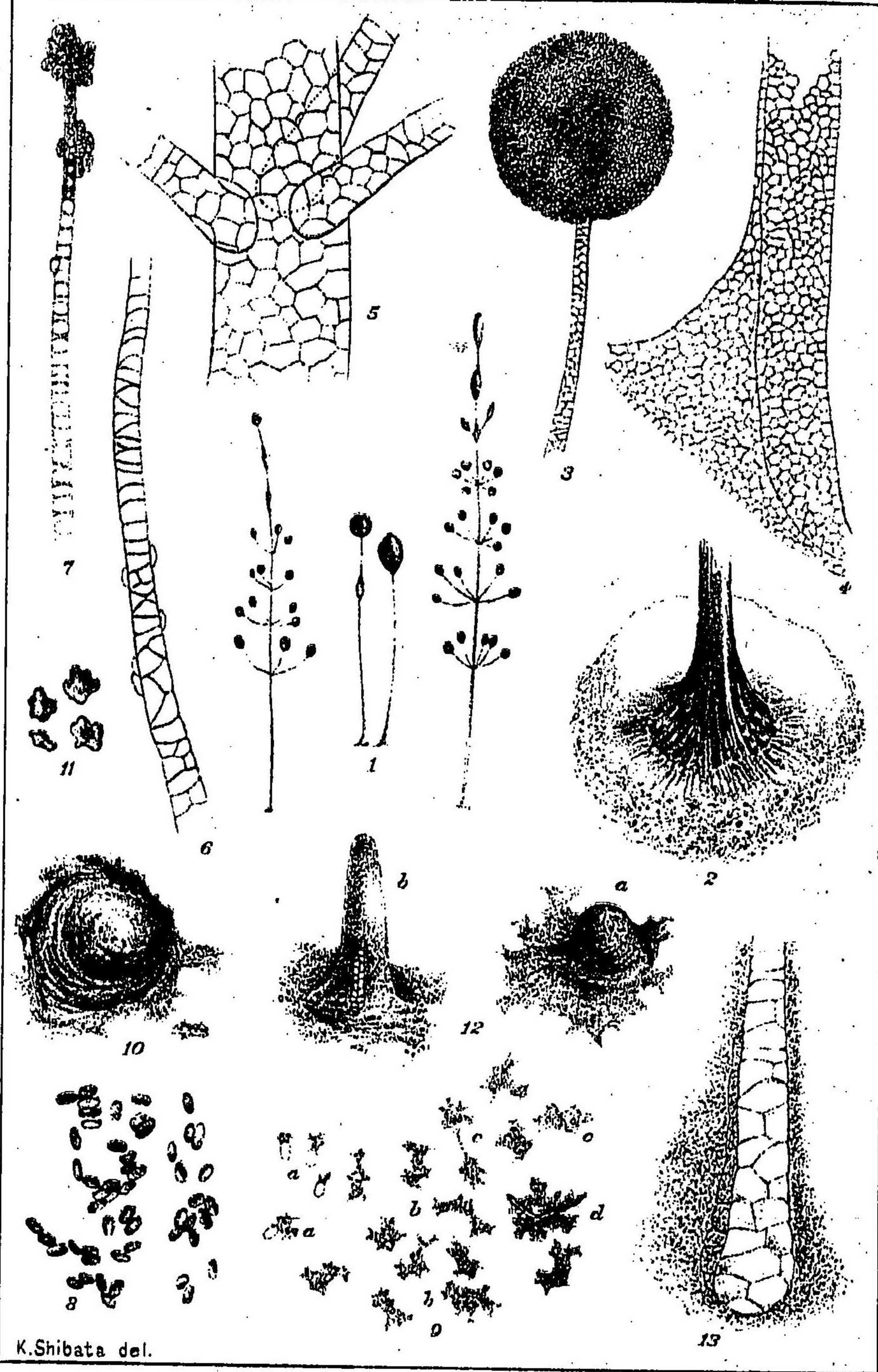
pp. 1-34, Taf. I-II.)

(屬) 變形菌類 NYXOMYCETES. 下等變形菌門 ACRASIE. かひもんの

科 DICTYOSTELIACEÆ.

果柄(Sporophor)ハ繊細ニシテ高サ一仙迷許枝アリ數次輪生ス、每輪三乃至六枝微シク莖紫色ヲ帶ビ網様ノ構造ヲ有ス、孢子團塊(Sorus)ハ球形濃紫色ニシテ被膜ヲ缺如シ、果柄ノ頂點及其各枝ノ末端ニ着シ、孢子ハ橢圓形ニシテ長サ凡ハ幅凡四ハトス、  
孢子萌發シテ「アミーバ」ヲ生ズ、假變形體(Pseudoplasmodium)ハ白色ニシテ大小一ナラズ、蓋無數ノ「アミーバ」單ニ相集簇接着シテ成レルモノニシテ、夫ノ真正變形體ニ於ケルガ如キ「アミーバ」體ノ融合ヲ見ルコトナシ、假變形體ハ暫時固有ノ運動ヲ營ムノ後、其中心部ニ凸隆ヲ生ジ漸





K. Shibata del.

Polysphondylium violaceum, Brefeld.

たらしきかびらどき

○第三十九圖版

Polysphondylium violaceum, Brefeld.

Polysphondylium violaceum, Brefeld.

次伸長ス、其中軸ヲナス、アミーバハ各被膜ヲ蒙リ以テ果柄ノ基格ヲ作ル、自餘ノアミーバ之  
 ノニ沿テ樂上シ、其末端ニ至リ胞子ニ變ズ、  
 一個ノ假變形體ハ唯一ノ果體ヲ生ズルモノニシテ、其一生代ハ凡一週日ニシテ完了ス、  
 本種ハブレノエルト氏ガ始テ伊太利ニ於テ馬糞上ニ發見セルモノニシテ、今日猶一屬一種  
 ニ限レリ、本圖ニ掲グルモノハ予ガ明治三十二年十月中東京ニ於テ馬糞上ニ得タルモノナリ、  
 果體簇生ノ状態ハ一見カビ類ニ彷彿タリ、是レ和名ノ由リテ來ル所ナリ、

(圖解) 1、全形(凡ソ七倍) 2、新シキ果柄ノ基部(百五十倍) 3、全上先端胞子團塊(百五十倍) 4、成  
 倍セル全上胞子(四倍) 5、基部網織(二倍) 6、新シキ果柄ノ基部(百五十倍) 7、全上先端胞子團塊(百五十倍)  
 倍セル全上胞子(四倍) 8、基部網織(二倍) 9、新シキ果柄ノ基部(百五十倍) 10、全上先端胞子團塊(百五十倍)  
 倍セル全上胞子(四倍) 11、基部網織(二倍) 12、新シキ果柄ノ基部(百五十倍) 13、全上先端胞子團塊(百五十倍)  
 倍セル全上胞子(四倍) 14、基部網織(二倍) 15、新シキ果柄ノ基部(百五十倍) 16、全上先端胞子團塊(百五十倍)  
 倍セル全上胞子(四倍) 17、基部網織(二倍) 18、新シキ果柄ノ基部(百五十倍) 19、全上先端胞子團塊(百五十倍)

示ス(四百倍)

○第四十圖版

Plate XL

理學士 安田 篤 著

By A. Yasuda.

あぐらび (菌名) のみ

*Hirneola polytricha*, Fries (Fung. Natal. p. 26.)

(名異) *Exidia polytricha*, Mont. (in Bot. Voy. Ind. Or., Crypt. p. 154.) — *Auricularia polytricha*, Sacc.

Misc. I. p. 12.) — *Exidia purpurascens*, Jungh. (Java p. 25, f. 13.)

(屬所) 菌類 FUNGI 基菌門 BASIDIOMYCETES. あぐらび科 AURICULARIACEAE.

子實體ハ耳狀ヲ成ヌヲ以テ著ルシ、大サハ大小種々アリテ一様ナラズ、表面ニハ脈襞アリ、體質ハ寒天様ニシテ半透明ナリ、乾燥スレバ軟骨様トナル菌體ノ内面ハ暗褐色ヲ呈シテ、平滑ナルモ、外面ハ灰褐色ニシテ、柔軟ナル短毛ヲ密生ス、

子囊府ハ、子實體ノ上面即チ内面ニ在リ、基絲 (Basidia) ハ特有ニシテ、普通ノ蕈類ニ於テハ、其先端ヨリ四個ノ擔子柄 (Sterigma) ヲ出スト、雖本菌ニ在テハ、基絲ハ横ニ數個ノ隔壁ヲ有シテ相關節シ、關節ノ多數ハ、上部ヨリ一個ノ長キ擔子柄ヲ出ス、擔子柄ハ、其頂端ニ一個ノ腎臟狀胞子ヲ



(明治三十三年八月十日)

○第四十一圖版

理學博士 松村任三 著

Plate XXI.

By J. Matsumura.

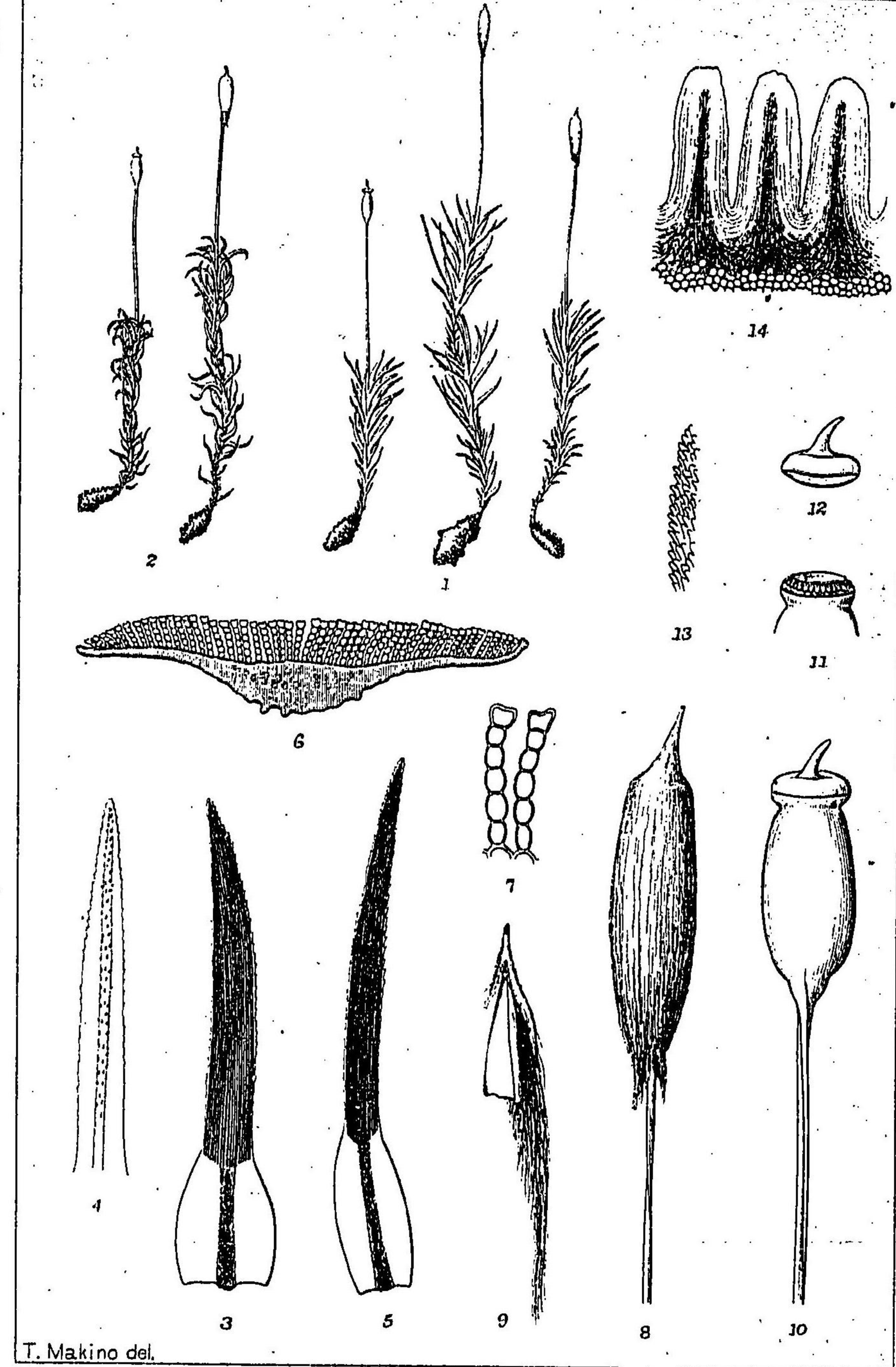
ひめすぎらけ

*Pogonatum akitense*, Besch. (in Ann. Sc. Nat. Sept. ser. vol. XVII, p. 354.)

(屬所) 蘚類 MUSCI 土馬駿科 POLYTRICHEAE.

苔ノ長大ナルモノハ高サ三寸五分許ニ達スルモノアリ雌雄異株ニシテ地上ニ叢生ス葉ハ莖ニ密生シテ乾ケバ前方ニ向テ卷キ込ムノ傾キアリ葉縁ハ兩方ニ齒狀アリ背脈ニモ齒刺アリ面ニ薄板凡ソ四十個ヲ密生ス此種ノ顯著ナルハ此薄板ヲ形成スル所ノ頂端ノ細胞ガ凹形ヲ呈スルニアリトス苔莖ハ帶卵筒狀ニシテ面ハ粟粒狀ヲナシ其本ニ少シ膨レ其頭ハクビレ蓋ニ小嘴アリ縁齒ニ異狀ナシ蓋ヲ被フノ毛ハ帶褐色ナリ

此苔ハ佛國ノ宣教師フワオリ氏ガ千八百八十五年秋田縣ニ於テ採集セシ標品ニ因ミテ「アキテンセ」ノ名アリ此苔ノ産地ハ蓋シ秋田ニノミ限レルニアラス隨所之アルヲ見ルナリ余ノ所藏品ハ相州箱根ノ産最長大ナリ



T. Makino del.

Pogonatum akitense, Besch.  
 ひめぎぎみけ

(圖解)

○毛ニロ1  
 示18個ノハ  
 スハ全サ○活  
 ○新然示6ヶ  
 14面除スハル  
 ハノ去○葉狀  
 葉シ8ヶ態  
 ノ粒ヲ背横自  
 縁狀切斷然  
 齒ナノニシ大  
 ナル形密ヲ○  
 V 7狀毛薄  
 ナナ板ハ  
 示被ノ乾  
 スフ此縁  
 ○ル上ノ  
 11ノ面狀  
 ハ狀ニ態  
 密自  
 頭口生然  
 口ハス大  
 リ密ル○  
 蓋毛狀  
 ナチチ  
 除一示5  
 去部スハ  
 除毛葉  
 ナ去ノニ  
 示シナシ  
 シテリテ  
 ○莖○其  
 12ノ7縁  
 ハ形ハ背  
 蓋ヲ漸基  
 ノ示板脚  
 1スノ等  
 ナ○載ナ  
 示10斷示  
 ス密面ス

(明治三十三年八月十日)

○第四十二圖版

理學博士 三好 學 著

Plate XLII.

By M. Miyoshi.

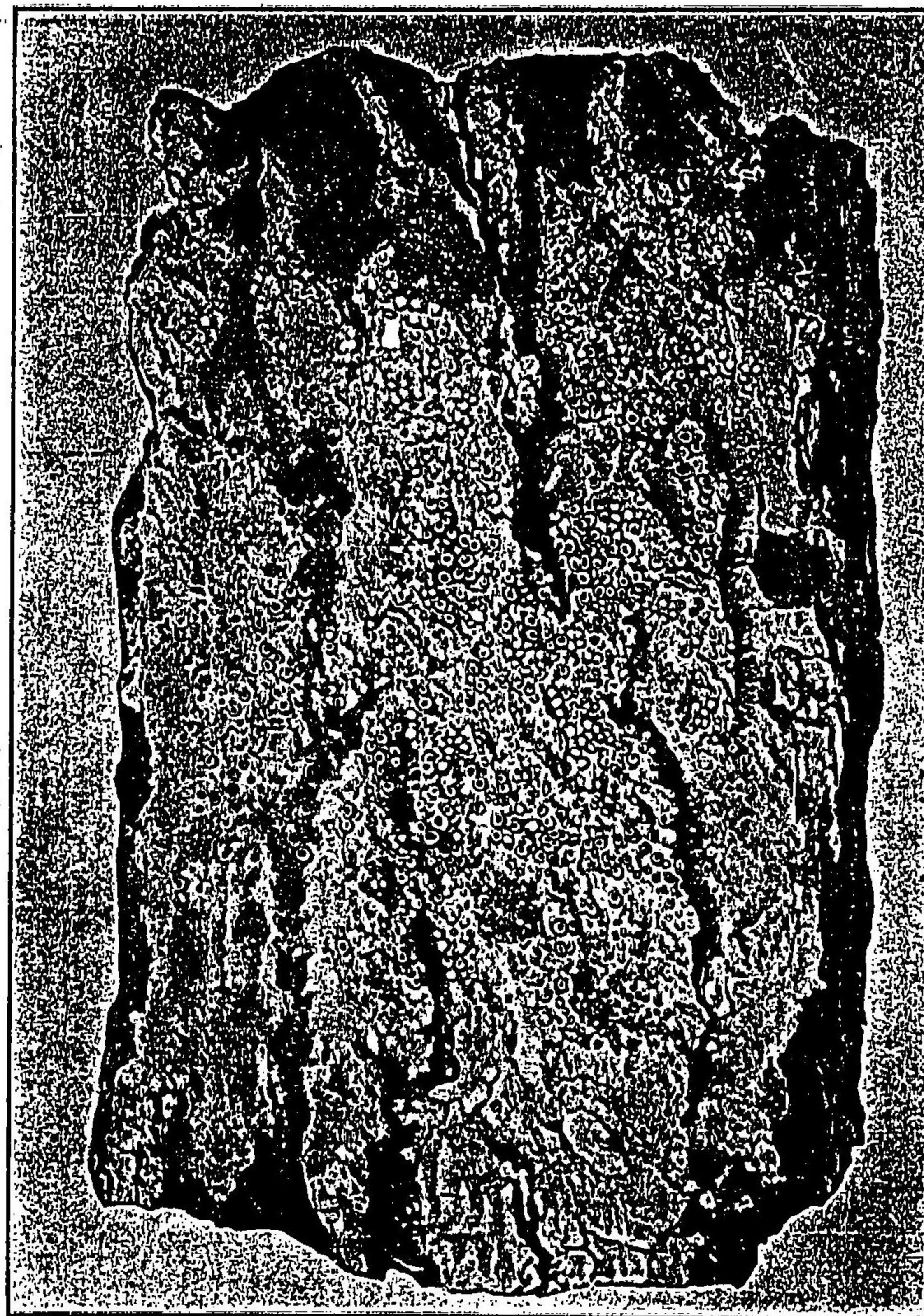
しもふりこけ

*Lemadophila coronata*, Mill. Arg. (Lich. Yatab., no. 8.)

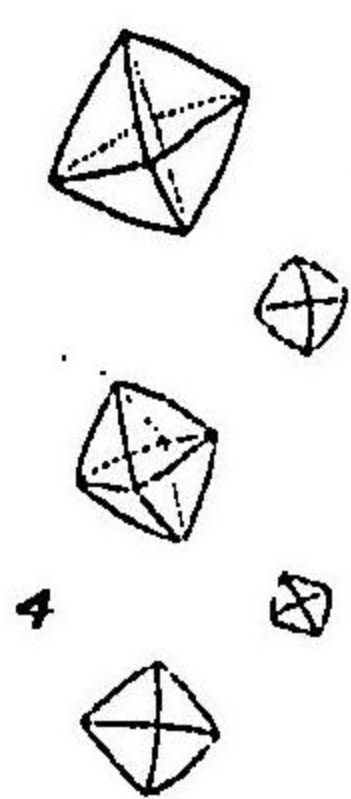
(屬所) 地衣類 LICHENES. 仙人苔科 BAFOAMYCEAE.

地衣體粉狀、樹皮ニ密着シ幅員頗大ナルコアリ、殆ンド白色ナレドモ時トシテハ淡灰色若クハ淡綠色ヲ帶ズ、顯微鏡下ノ所觀、特ニ皮層部ノ區別ナキモ縁顆層ハ判然認識シ得ベシ、子器ハ無柄、數多表面ニ密着シ、當初ハ盃狀ナルモ後子囊層ノ開展ニヨリ上面扁平トナル、大サ一乃至二五密迷、褐色、判然タル白色邊緣アリ、子囊ハ八子ヲ容ル、胞子ハ單胞、無色、蠅蟲狀、兩端狹細ナリ、螺旋狀ノ團塊トナリ、子囊内ニ在リ、長サ七〇—一〇〇、ミユ、幅三—六、ミユ、下子囊層ハ柔組織狀ヲ呈ス、

本地衣ノ體內ニハ糖酸石灰ノ八面體結晶ヲ含有ス、本圖ニ示スモノハ下野國日光山湯木白根山麓ノ樹林内ニ於テ採集セルモノナリ、



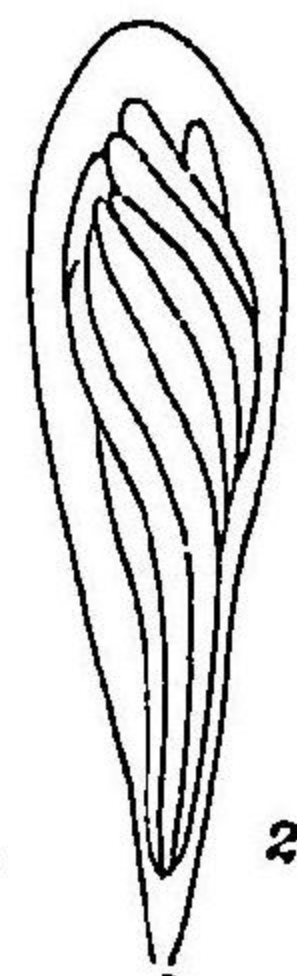
1



4



3



2

M. Miyoshi ad nat. del. et I. Ogawa phot.

*Icmadophila coronata*, Müll. Arg.

しもふりざけ

(圖解) 1 實物 (五百四十倍) 2 石灰石 (五百四十倍) 3 大體 (四百三十倍) 4 微體 (四百三十倍) 胞

(明治三十三年八月十日)

○第四十三圖版

理學士 大野直枝 著

Plate XLIII.

By N. Ono.

おんのみちりも (新種)

*Pleurotenium nodulosum*, De Bary (Conjugatae p. 75.)

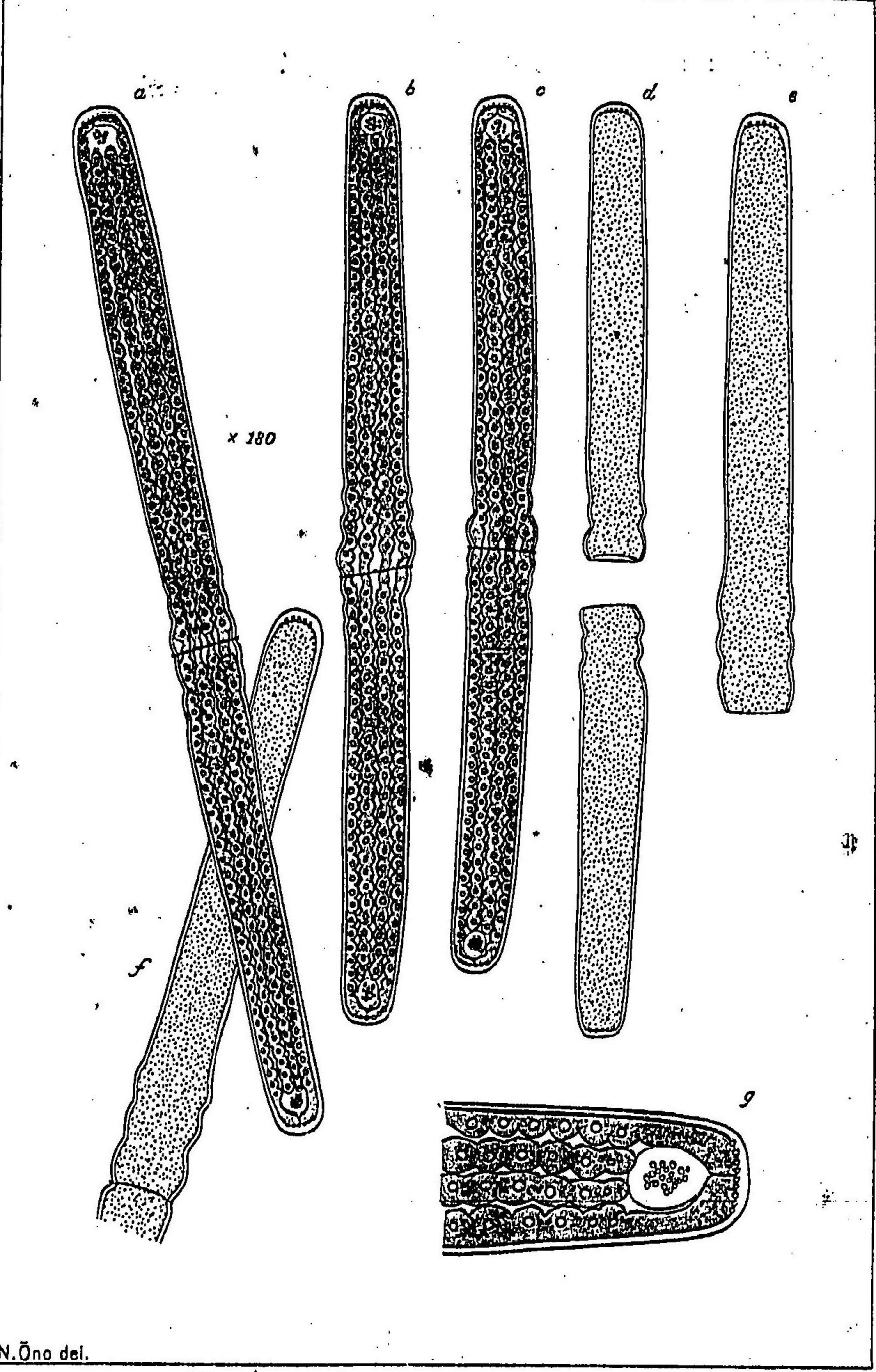
(名異) *Closterium crenulatum*, Ehrenb. (Verb. 1843, p. 123.) — *Docidium nodulosum*, Bréb. (Ralls

Brit. Desm. p. 155.) — *Pleurotenium crenulatum*, Rabenh. (Fl. Eur. Alg. III. p. 142.) — *Docidium crenulatum*, Wolle (Des. U. S. p. 47.) — *Closterium Trabecula*, Bailey (in Amer. Jour. 1841, p. 302.)

(屬所) 藻類 *ALGAE*. 接合藻類 *CONJUGATAE*. 糸りも科 *DESMIDIACEAE*.

植物體ハ細長圓柱狀ニシテ直ナリ横徑 $\phi$ —5 $\mu$ ニシテ長サハ其八倍乃至二十倍ニ及ビ肉眼ヲ以テ各個ヲ分別シ得ベシ中央部ニ緊縊アリテ兩半ニ分タル各半ハ多少棍棒狀ヲナシ中央ニ近キ部ニテハ波狀ノ皺襞ヲ生ジ尖端ハ幅廣ク截切セラル細胞内ニハ長軸ニ并行シテ走レル數條ノ帶狀葉綠體アリテ各一縦列ノ「ピレノイド」ヲ具フ尖端部ニ近ク空胞アリテ中ニ炭酸石灰ノ小結晶數個ヲ藏ム膜ハ無色ニシテ全面小點ヲ平布ス尖端部ニ近ク齒牙狀ノ凸起ノ横





N. Ōno del.

*Pleurotaenium nodulosum*, De Bary.

列アリ

本植物ハ瀝水中ニ産ス本圖ニ示ス者ハ昨秋小石川植物園内水鉢中ニ群生シタルモノニ係ル  
 (圖解) 植物體ヲ示ス體長ニ沿ヒテ走レル縁帯ハ葉綠體其中ニ存スル炭酸石灰ノ小粒ヲ示ス  
 中空ナル鞘ヲ示ス

(明治三十三年八月十日)

○第四十四圖版  
Plate XLIV.

理學博士 岡村金太郎著

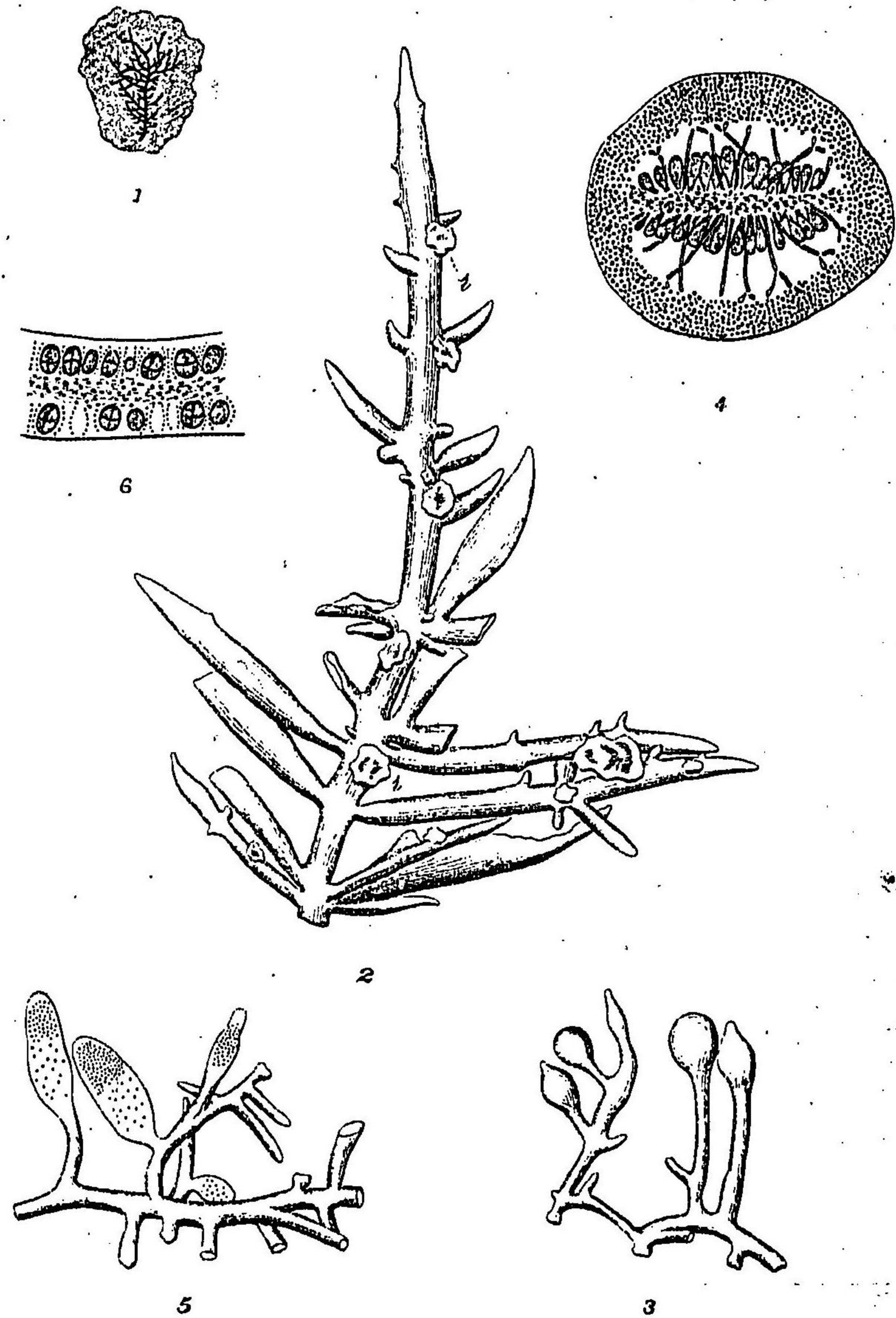
By K. Okamura.

はひてんぐさ (新種)

*Gelidium repens* Okam. (Contr. to the Knowl. of the Mar. Alg. Japan. III, p. 7. Pl. I, fig. 5-8. — Okam. Alg. Jap. Exsic. Fasc. I, No. 5. 岡村日本海藻標品第一  
帙第五)

(屬所) 藻類 ALGÆ. 紅藻門 RHODOPHYCEÆ. てんぐさ科 GELIDIACEÆ.

形狀、體ハ細ク絲狀ニシテ多少扁壓、匍匐シ短キ根ノ如キ突起ヲ以テ岩石ニ固着ス、始メハ全ク固着スレトモ漸ク分枝シ錯綜スルニ至レバ或枝ハ游離シ直上ス體ノ蔓延スル區域ハ「セム」ヨリ往々十「セム」程ノ直徑ヲ有スルニ至ル、枝ハ羽狀ナレトモ稍不規則ニシテ體ノ兩側ヨリ出ルノミナラズ往々五六條一ヶ所ヨリ出ルコトアリ  
枝ノ細キモノハ稍圓柱狀ヲナシ三〇〇乃至三五〇ルノ直徑ヲ有シ往々扁壓トナリ又披針狀ニ開張ス果實ハ小枝ノ頂部ニ生ズ



K. Okamura del.

*Gelidium repens*, Okam.  
はじてんぐさ

○ 第四十圖 海苔類

*Gelidium repens*, Okam.

海苔類 (海苔)

(海苔)

*Gelidium repens*, Okam.

海苔類 (海苔)

*Gelidium repens*, Okam.

海苔類 (海苔)

(産地) 相模房州上総高潮  
 (圖解) 1. 全形(自然大) 2. 球ノ一部(三倍) 3. 枝ノ横断面(三倍) 4. 球ノ一部(三倍) 5. 球ノ一部(三倍) 6. 球ノ一部(三倍)

莖果ハ小ニシテ球狀頂端鈍圓又ハ少シク尖リ、二室ヨリ成リ、胞子ハ中隔ノ壁ニ生ズ、四分胞子  
 ハ扁平ニ開張セル長橢圓形ス、小枝ノ兩面ニ葉生シ、球狀ニシテ十字様ニ分裂ス、質ハ軟骨様  
 ニシラ色ハ紫紅色ナリ、  
 造構體ハ二層ヨリ成リ、内層ハ小サキ多角形ノ細胞柔組織ヲナシ、別ニ無色透明ニシテ硝子様  
 ノ光澤アル絲狀細胞アリテ柔細胞間ヲ填充ス、皮層ハ僅層ノ小細胞ヨリ成ル、枝端ノ成長點附  
 近ニハ僅ニ中軸ヲ認ムベシト雖モ老成部ニハ明ナラザルニ至ル、

(明治三十三年八月十日)

○第四十五圖版

Plate XLV.

理學士 草野俊助 著

By S. Kusano.

しらぢくうしほかひ

(新種)

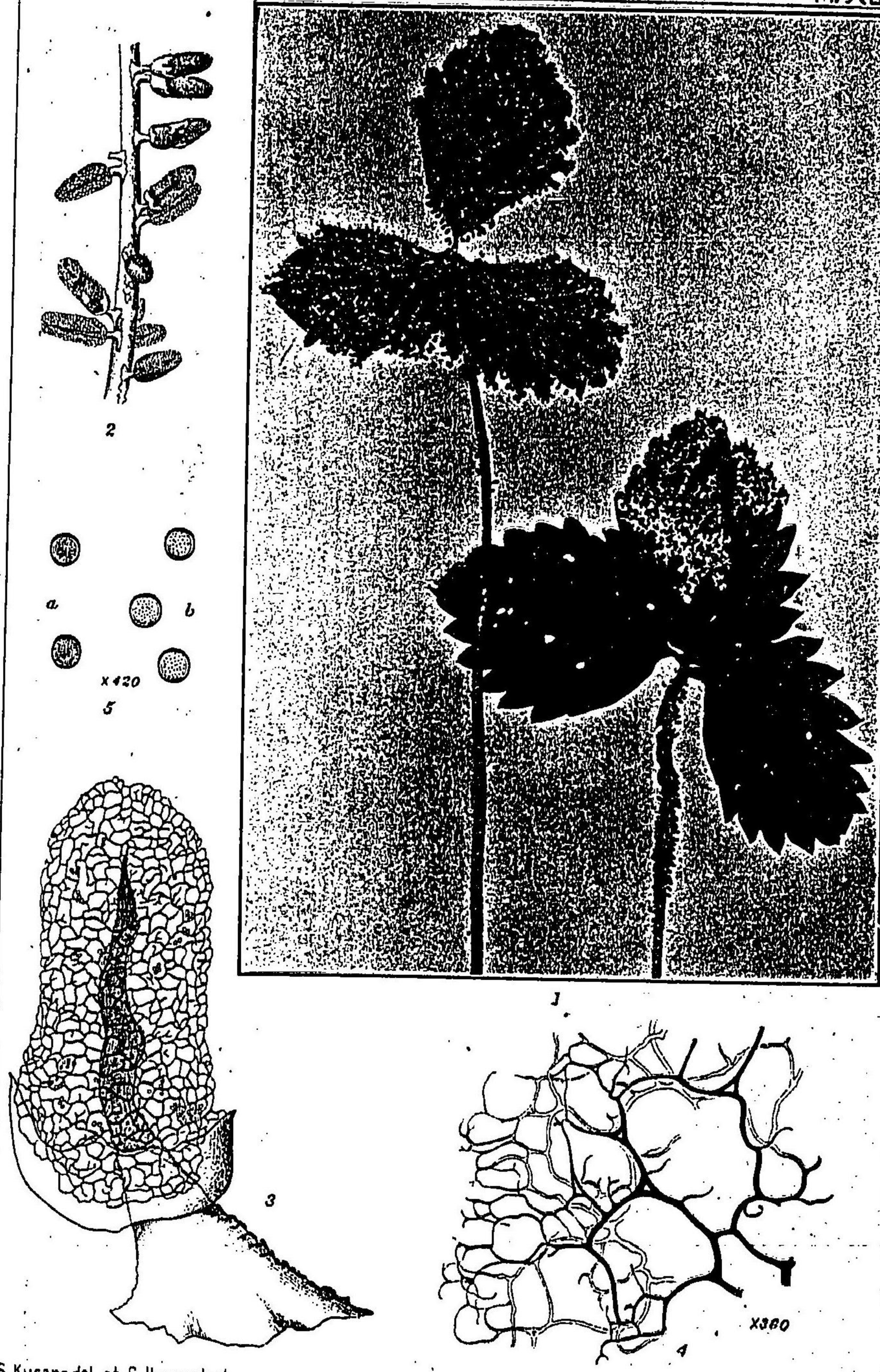
*Diachaea leucopoda*, Post (Mon., p. 190, fig. 158.)

(名異) *Delgans*, Fries (Syst. Myc., iii, 156, 1825.)

(圖所) 變形菌類 MYXOMYCETES, 眞變形菌門 MYXOGASTERES, スプリア科

SPUNARIACEAE

變形體ハ白色ヲ呈シ、芽胞囊ハ圓筒狀ニシテ稍長卵形ヲナス、其長サ一ミメ、黒色ニシテ光輝アリ、囊壁ハ透明ノ膜質ニシテ剝離シ易シ、柄ハ白色ニシテ短ク、基部太ク、表面ハ白色ノ石灰顆粒ヲ以テ蔽ハル、柄ハ延ビテ芽胞囊ニ入り、柱狀體トナリ、先端ニ至ルニ從ヒテ細ク、或ハ芽胞囊ノ中途ニ終リ、或ハ其頂端ニ達ス、細毛管體ハ、分枝互ニ癒合シテ網狀ヲナシ、暗紫色ヲ呈スト雖モ、其末端ニ至リテハ往々無色ナリ、假葉狀體ハ、白色ニシテ能ク發達ス、芽胞ハ、暗紫色表面ニ細刺ヲ附ス徑七乃至九「ミニ」。



S. Kusano del. et S. Ikano phot.

*Diachea leucopoda*, (Rost.)

しろちくろつぽかび

該植物ハ夏時濕潤シ候多ク枯葉ニ發生スレドモ變形體ハ往々生葉上ニ匍匐シテ爰ニ結實ス  
 ルヲ見ル普通ノ種ニシテ世界各國之ヲ産ス  
 本圖ハ客年農科大學圃園内おらんだいちと葉上ニ發生シタルモノナリ  
 (圖解) 1. 全植物體ノ概観 2. 葉上ニ發生シタル變形體ノ概観 3. 葉上ニ發生シタル變形體ノ細胞壁ノ構造 4. 葉上ニ發生シタル變形體ノ細胞壁ノ構造 5. 葉上ニ發生シタル變形體ノ細胞壁ノ構造

○ 農科大學圃園内  
 Diachea leucopoda (Rost.)  
 しろちくろつぽかび

○第四十六圖版

Plate XLVI.

理學士 白井光太郎著

By N. Shirai.

しひたけ 大和本草(椎茸)

*Cortinellus Shitake* (Schrot.) P. Henn. (Engler's Bot. Jahrbuch. Bd. 28, 1900, p. 270)

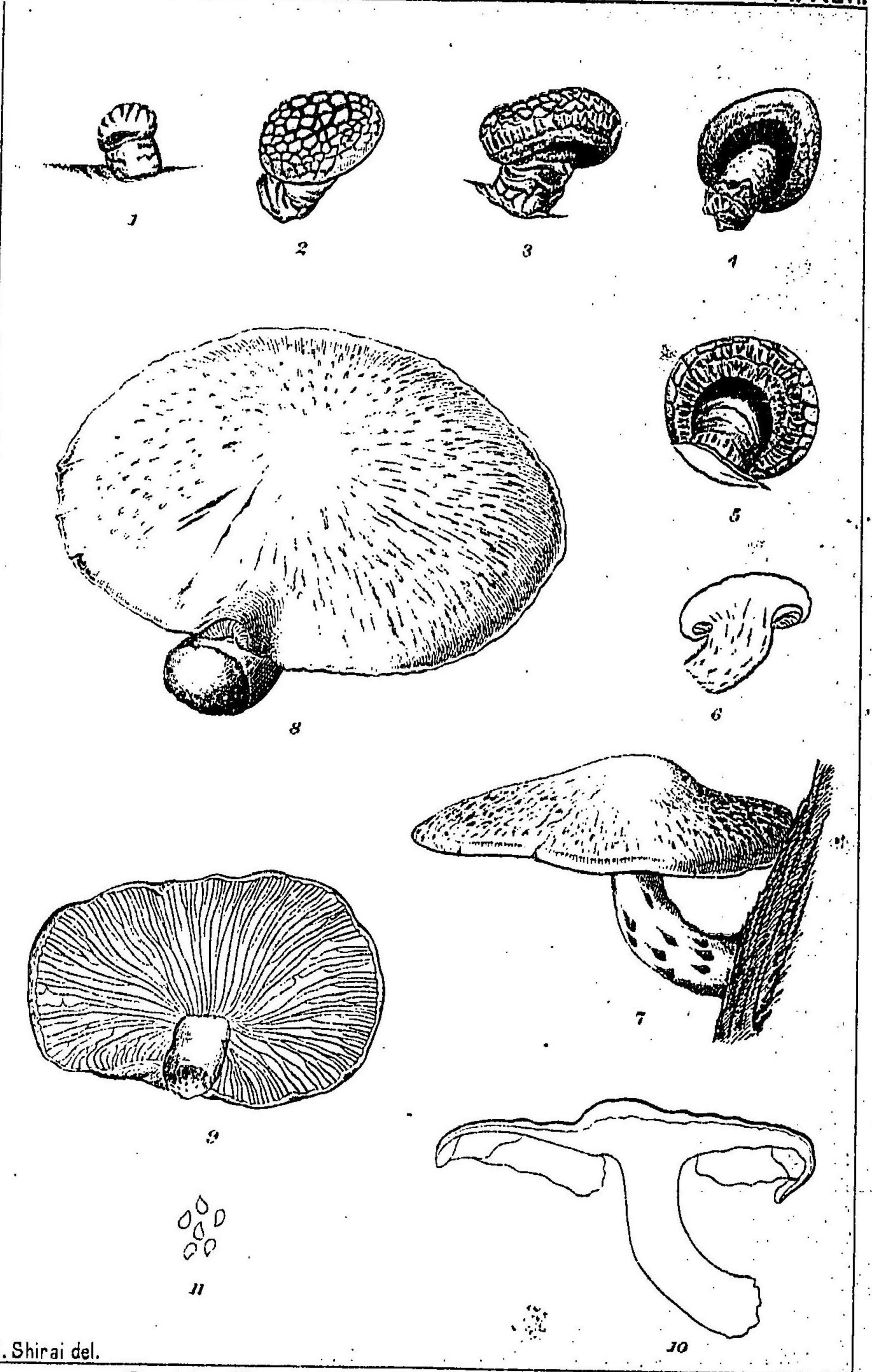
(名異) *Collybia Shiratake* Schrot. (Gartenflora 1886, p. 105)

(屬所) 菌類 FUNGI. 櫛菌科 AGARICACEAE.

結實體肥蓋瘦莖菌肉緻密微シク韌カアリ蓋ノ外面紫黑色若シクハ黒褐色ニシテ初生ハ膜鱗多シ長ズルニ及ビ剝脱ス莖白色中實外面纖維毛ヲ叢生スルモノアリ又殆ト平滑ナルアリ一定セズ補白色ニシテ莖ニ付カズ芽胞無色透明形卵圓形大サ五「ミクロ」ニ達ス

莖大ナル者十「センチ」ニ至ルモノアリ莖長三乃至六七「センチ」太サ一乃至一「五センチ」蓋ノ未ダ開カザルキ下面ニ襟アリ蛛網ノ如シ後滅裂其跡ヲ留メザルニ至ル

しひたけハ我邦食用菌中松茸ニ亞クノ佳品ニシテ其産出消費ノ分量ニ至リテハ諸菌ノ第一タリ内地ニ於テ多量ニ消費スルノミナラズ其年々海外ニ輸出スルノ金額十萬圓ニ超過スル



M. Shirai del.

Cortinellus Shiitake. (Schröt.) P.Hennings.

ハ可驚

此菌ハしひノ外なら、かし、くり、して等ノ枯木ニ生ズ自然生ハ少ナシ市場ニ出スハ皆作リしひ

たけナリ紀勢、彦、遠、峻、甲、豆、奥、羽、北、海、道、之、ア、リ、而、シ、紀、州、熊、野、及、日、向、産、ヲ、上、品、ト、ス

(圖解) 1. 結實體ノ全形幼稚ナル者自然大○2. 3. 4. 5. 同種成長セル者自然大○6. 7. 結實體ノ樹上ニ發生シタル狀(自然大)○8. 9. 同種ニシテ蓋ノ縁邊ニ裸チ若

キル者(自然大)○10. 胞子(四百倍)

面(自然大)○11. 胞子(四百倍)

○第四十六圖版

SHIITAKE

Cortinellus shiitake (Schröt.) P. Hennings

日本産

自然生ハ少シ

○第四十七圖版

Plate XLVII.

理學博士 三好 學 著

By M. Miyoshi.

レシマシマシ

*Lecanora albo-coerulescens* (Ach. Meth. p. 52.)

(屬新) 地衣類 *LICHENES*. 邊取苔科 *LECIDEAE*.

地衣體扁薄、岩石面ニ固着シ剝取スベカラズ、平滑、淡黄灰色假表皮層ヲ缺ク、髓絲層薄ク發生不完全ナリ、縁顆體ハ著大、

子器數多全面ニ散布シ、突出ス、不規則ナル盤狀ヲ呈シ、直徑凡ソ一密迷、扁平灰色、判然タル黑色ノ輪廓アリ、子囊層厚ク、絲狀體ハ分岐セズ、細長項端部ハ黑色ヲ帶ブ、子囊ハ棍棒狀、八子ヲ容ル、胞子ハ單胞、無色、橢圓形、長徑凡ソ八「ミュー」、短徑三「ミュー」、下子囊層ハ暗黑色、

本邦各地ノ山中ニ屢見ルトコロノ地衣ニシテ、岩石ノ表面ニ着生ス、本圖ニ示スモノハ土佐國高岡郡佐川村ノ「アムフ」ボライト岩上ニ生ゼルモノナリ、

(圖解)

1 實物寫眞(實物大) 2 子器八倍放大(表面觀圖) 3 同上(斜而觀圖) 4 子囊并ニ絲狀體(五百四十倍)





○第四十八圖版

農學士 西田藤次 著

Plate XLVIII.

By T. Nishida.

すもものふくろみかび

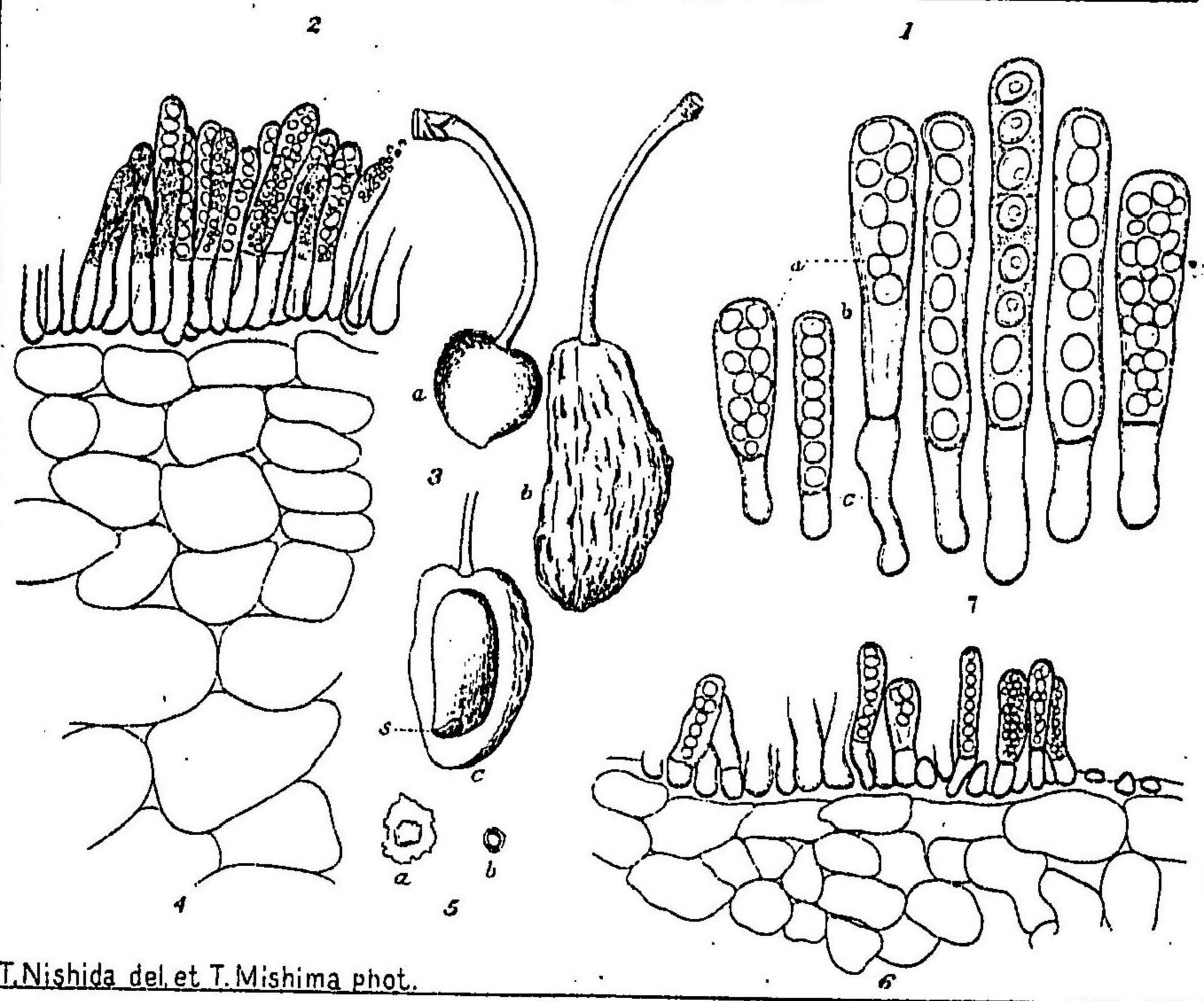
*Taphrina Pruni*, Tul. (Ann. sc. nat. V. Sér. t. 5, 1866, pag. 129.)

(名異) *Exosascus Pruni*, Fuckel. (Euum. fung. Nassovia, 1861, p. 29.)

(屬所) 菌類 FUNGI. 子囊菌門 ASCOMYCETES. 外子囊菌科 EXOASCHEÆ

此菌ハすももの若キ子房或ハ嫩梢ヲ胃シ變形セシムル寄生菌ニシテ其變形シタル果肉嫩梢及葉ノ柔軟細胞組織中ニハ菌絲縱横ニ蔓延シ上皮下ニ子實層 *Hymentium* ヲ作シ子囊 *Asci* 成熟スルニ從ヒテ上皮ヲ破リ表面ニ裸出ニ子囊ハ密ニ并列シ脚胞 *Celula basilaria* ヲ有シ細長キ圓筒狀ニシテ長サ二四乃至八〇ミル幅五乃至一五ミリアリ脚胞ハ高サ六乃至四〇ミル幅八乃至一五ミルニシテ下端膨大シ圓シ子囊 *Sporidia* ハ八個ニシテ卵形徑六乃至八ミル子囊中ニ分芽シ芽胞ヲ生ス

(圖解) 採集セルもの二個ノ變形果及健全果ノ寫眞 明治三十三年六月二十日 特國札幌郡白石村ニ於テ



T. Nishida del et T. Mishima phot.

*Taphrina Pruni*, Tul.

○ 第四十八圖版

*Taphrina Pruni*, Tul.

此部ニ於テ最モ縮シタルヲ見ル 同年六月札幌區ニテ採集(縮菌)○III三個ノ變形果(自然大)ニ  
 A 左部ノ胃サレタルモノノB全部變形セザレタルモノノC同横断面ニシテ中空ヲ示シ其底ニ  
 子實ノ痕跡(B)ヲ示ス○IV變形果一部ノ切片ヲ示ス(三百三十倍)○V變形槽及健全槽ノ  
 横断面(自然大)A變形枝B健全枝○VI病葉表面一部ノ切片ヲ示ス(三百三十倍)○VII子實  
 脚(六百倍)

○ 第四十九圖版

Plate XLIX.

理學士 安田 篤 著

By A. Yasuda.

へらたけ

*Spathularia clavata* (Schaeffer) Saccardo. (Mich. II, p. 77.)

(名異) *Elecia clavata* Schaef. (1774) 149.

(場所) 菌類 FUNGI. 囊菌門 ASCOMYCETES. かむりたけ科 GEOGLOSSACEAE.

子實體ハ籠状ヲ爲シ、高サ四乃至五仙迷ニ達ス、頭部ハ扁平ニシテ先端廣ク、一乃至一、八仙迷ノ幅ト、一密迷ノ厚サヲ有ス、柄ハ不規則ナル圓柱状ヲ呈シ中空ナリ、其直徑凡ソ三密迷ナリ、而シテ基脚ハ更ニ膨大ス、柄ト頭部トハ明ニ區劃セラレ、頭部ハかむりたけニ於ケルガ如ク、柄ノ先端ニ坐セズシテ、柄ノ上部ノ兩側マデ附着セリ、子實體ハ全ク平滑ニシテ、毫モ毛ヲ具ヘズ、淡黄色ヲ帯ビ、其質強固ナリ、

子囊層ハ頭部ノ兩面ニ在リ、子囊ハ根棒状ヲ呈シ、其長サ一〇〇乃至一一〇μ、幅一二μアリ、中ニ八個ノ孢子ヲ藏ム、孢子ハ絲状ニシテ無色ナリ、其長サハ六〇μニ達スルモ、幅ハ僅ニ二乃至